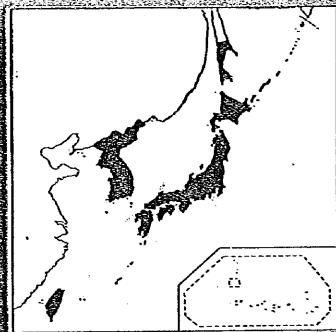


子女
理地本日新

著郎四與田西

據準目要新



目

K230.24

70a



新日本地理

西田與國圖書藏
新目要據

東 京
目黒書店發兌



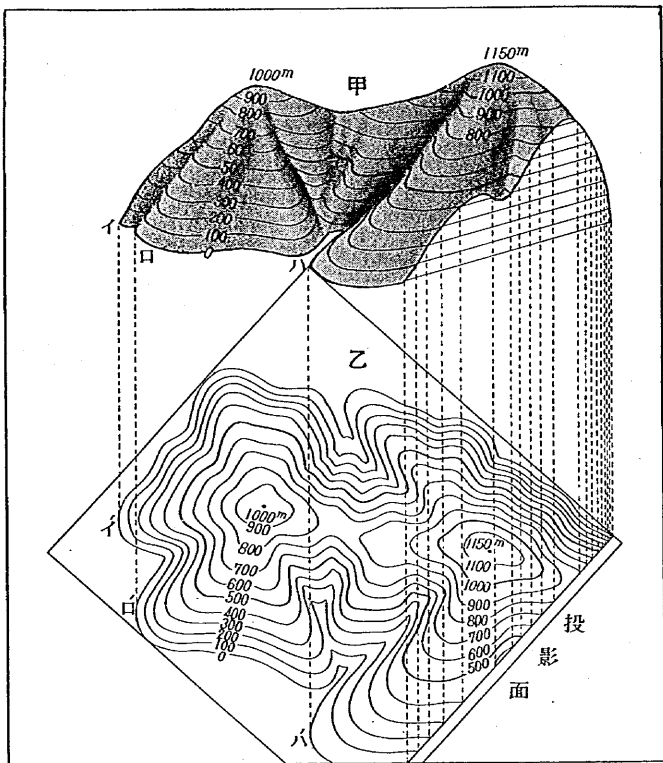
山 士 富



島 松



水 平 曲 線 の 作 方



等一分萬五一分千五萬二一分萬一の行發(測陸)部量測地陸は岡上
し示を方り造の(ルトンコ線高等)線曲平水るれらひ用に図形地の
とく描に面影投の乙を之て見らか上眞を鳥の甲。るあでのもた
次順で図甲下以れか描にうやのハロイは線岸海の米〇のハロイ
乙は線高等の等米〇〇二米〇〇一だん結を點地つ持をき高じ同
。るあでのるれさ示てつなと線曲の等米〇〇二米〇〇一はで図

富士山

富士山は我が國で最も高い火山で、又最も形のととのつた山である。高さ三七七六米。頂上には舊噴火口がある。神々しい姿は昔から詩や歌などによまれて、國民に大きい感化を與へて居る。この圖は靜岡縣大宮町の邊から北東に眺めたところで、廣々とした裾野には村や森が分布する。工場は製紙會社である。この會社はもと富士の南麓から山腹一帯の大森林の木材を原料として居つたが、今では原料がここでは得られなくなつたので、遠く北海道樺太シベリヤ・北アメリカ等から、木材・パルプを求めて製紙をして居るのである。

松島

日本三景の一として有名な宮城縣の松島は仙臺灣内の松島灣に散ばる大小數百の島々から成つて居る。一島は何れも凝灰岩といふ軟かい灰白色の岩石から成り、波や雨水の侵蝕を受けてさまざまの形をなし、その上には綠色濃い松がとり／＼の姿にはえて、清い海にその蔭をひたしてゐる。この圖は松島の海岸附近で堂は五大堂である。鹽釜と松島との間には定期船が通つてゐる。この外和船(遊覽船)を雇つて島廻りをすることも出来る。諸君はこれから此の二圖に示す様に土地自然の有様と、自然と人との關係を調べて行くのである。

緒言

本書は昭和十二年三月改正の高等女學校地理科教授要目に準據し、國民教科としての地理科の價值を高揚し、以て堅實なる日本の中堅婦人としての教養に資する様特に次の諸點を考慮して編纂した。

- 一 本書の構成は要目に従ひ、序説、地方誌總括の順序とし、地方誌に主眼を置いた。總括は割合簡明に日本の特色を纏めて開明し、以て外國地理學習への比較の基礎とした。
- 二 地方誌に於ける各地方の順序は北より南に及ぼしたが、教師の意見により各地方の順序を前後するも使用上不便なき様にした。
- 三 地理區と共に府縣區も實用上大切であるから相當に兩者の調和を計つた。
- 四 教材の選擇については從來のものよりも一層輕重を附し、所謂樣式的教授又は學習方法を行ふに便にした。即ち教材の徒らに多くして煩瑣不徹底の學習に終るよりも、寧ろ主要教材を中心として地理的能力を練るに便なる様工夫した。然し他面に於て女子向の教材として衣食住等の家事的事項及び地方風俗については充分注意を拂つた。
- 五 特色ある利用度の高い寫真地圖統計圖を多數に挿入し、之に出来るだけ平易且詳密な説明を附して本文を補足した。従つて本書は生徒學習用の參考書としても相當の材料を

- 一 提供しなごとなる。以上の點は本書の最も努力の點で生徒の學習興味を惹起し精密な觀察力と理解力を得しむるに共、教師の教授法にも便益が多いことと信ずる。
- 二 生徒の自學自習を促し其の自發的研究を盛んならしめんとする。自學主義は近時教授界の趨勢である。この點より見て、本書は前項の注意の外更に各章末に學習の中心となるべき問題を掲げた。此の問題は各教材の中心點となるべきもので教師は之を中心として教授を進むるもよく、學習法を採る教師にあつては固より生徒をして各種の問題を提出せしむるを可とするも之を以て中心問題として採用せしむることが出来るのである。
- 三 作業主義も近時教授界の主張であるから、作業に適する實習問題を本文や欄外や挿畫の説明文中に適宜安排附加し生徒の地理的能力の涵養に便にした。
- 四 各地方の人文を説くに當りては、務めて其の地文との連絡に注意する様記述し又其の文章は出来るだけ平易にした。
- 五 統計は出来るだけ最新のものにより且務めて圖化した。
- 六 小學校地理科との連絡に注意し又外國地理地理概説及び他教科との連絡にも充分の注意を拂つた。

昭和十二年九月

著者 識

女子新日本地理

目次

第一章	序説	一
第二章	樺太地方	四
第三章	北海道地方	三
第四章	奥羽地方	四
第五章	關東地方	六
第六章	中部地方	五
第七章	近畿地方	六
第八章	中國地方	六
第九章	四國地方	二七
第十章	九州地方	二六

第十一章	臺灣地方	………	三
第十二章	朝鮮地方	………	四
第十三章	關東州	………	五
第十四章	南洋群島	………	五
第十五章	總括	………	六

目次終

女子新日本地理

西田與四郎著

第一章 序 說

一位置 我が大日本帝國はアジア洲の東部極東太平洋の北西に位置し西と北の大部分は縁邊海^{オホノツクシ海日本海}を隔ててアジア大陸に接し南は大洋洲の諸島とマレー諸島に近く東は太平洋を隔てて遙に南北アメリカ洲と相對してゐる。即ち我が國は極東に位置する環太平洋の一國である。

位置の調べ方に二つの方法がある。(1)他との關係から見る場合關係的位置と(2)經緯度による場合經緯度上の位置とである。我が國の範圍を經緯度で示すと

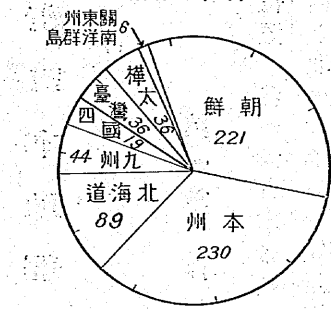
北端 北緯五〇度五五分 東端 東經一七二度一〇分

南端 北緯一度二分

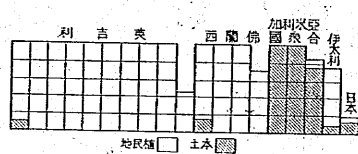
西端 東經一十九度一八分

二、面積 我が國は日本列島、朝鮮半島及び關東租借地、南洋群島委任統治地より成り、全面積凡そ六十八萬方料である。その中、本土（本州、四國、九州）は約六割を占める。之を世界の四大國（イギリス、フランス、アメリカ、日本）に比べると我が本土はイギリス、イタリアの本土より稍大で、フランスの本土より稍小であるが、我が全土は他の四國の全土よりも遙に小である。

我が國各地の面積比較（單位：千方千位）

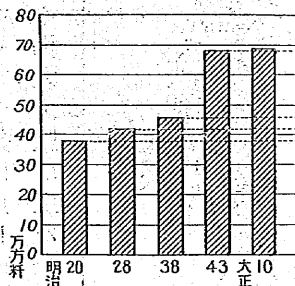


列強國の面積比較



三、區分 本土は一道三府四十三縣に分れる。本書は地理上から、本土八地方と植民地の樺太、臺灣、朝鮮并に關東州、南洋群島に分けた。

我が國近年の面積増加



國名別舊道

北陸道	若狹	越前	加賀	能登	越中	越後	佐渡	岩代	陸前	陸中	陸奥	羽前	羽後
山陽道	播磨	美作	備前	備中	備後	安藝	周防	長門					
山陰道	丹波	丹後	但馬	因幡	伯耆	出雲	石見	隱岐					
南海道	紀伊	淡路	阿波	讃岐	伊豫	土佐							
西海道	筑前	筑後	豊前	豊後	肥前	肥後	日向	大隅	薩摩	壹岐	對馬		
琉球													
北海道	渡島	後志	石狩	天鹽	北見	釧路	根室	千島					

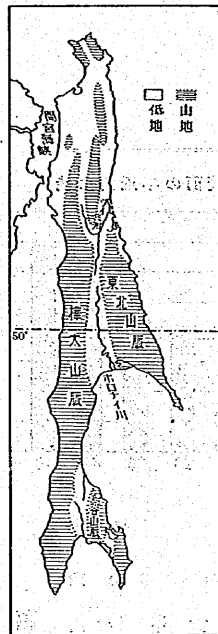
第二章 樺太地方

面積 三〇五方軒 人口 三〇萬人 人口密度(九人/方軒)

行政區劃		支廳名	所在地
本	斗	樺太廳	樺太町
大	泊	大泊村	大泊町
元	泊	元泊村	元泊町
豊	原	豊原村	豊原町
眞	岡	眞岡村	眞岡町
本	斗	本斗村	本斗町

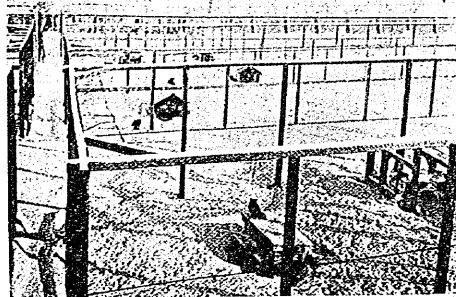
樺太は明治八年以來全部ロシア領であつたが今より三十餘年前、日露戦役の結果北緯五〇度以南は我が國の領土となつた寒地性植民地である。我が國は樺太廳の下に一市七支廳を置いて之を治めてゐる。

一、位置地形 樺太は千島を除けば、我が國最北の地方で、東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峡を隔ててアジヤ大陸に對し、北は陸境を以てロシア領に接し、南は宗谷海峡を隔てて北海道に隣る。南北に走る樺太山脈は主な分水界をなし、その東に東北鈴谷の兩山脈がある。この東西兩山脈間には、北部に幌内川南部に鈴谷川、内淵川流域の平野が廣がつてゐる。海岸は亞庭灣多來加灣の外、一般に出入が少く、



樺太の地形略圖

養狐場(大泊)



毛皮を賣るために行ふ寒地の産業で、大正四年にはじまり、年々その飼養數増加し昭和十一年には一萬頭、子狐の生産數八千餘頭となつた。大泊・豊原附近が第一で、眞岡・恵須取地方之に次ぐ。

犬様

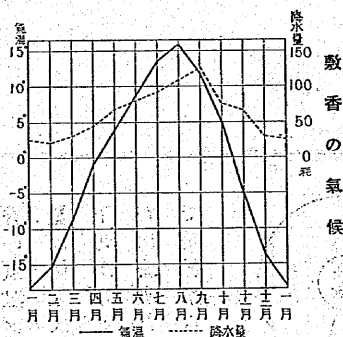


樺太は雪の量は多くはないが十一月下旬頃から四月上旬頃まで根雪があるのでその期間の陸上交通は荷馬車や自動車に橇やスキーが代る。橇は馬の外に犬が用ひられる。又北方では馴鹿にひかせる。

大泊の埠頭



大泊港内の海水は一・二月頃には厚さ二〇センチ以上となり、沖合一キロ位まで氷上に人馬の往來が出来る。岡の埠頭は岸から一キロ餘突出されたところにあつて三三三・二二二トンの汽船が各二隻同時に横付け出来る。北海道の稚内との間の連絡船は砕氷設備があるので冬でも茲に横付けされ、ここで汽車と連絡してゐる。



を量水降温氣の土郷に圖上 習實
よべ比を候氣の地兩てし入記

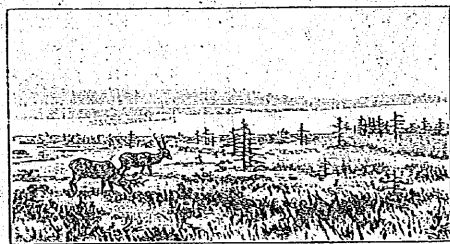
屬島も海
豹島海馬
島だけて
ある。
二氣候
樺太は我が國の最も冷涼な地方で冬は川も
海岸も概ね凍る。



海岸も概ね凍る。

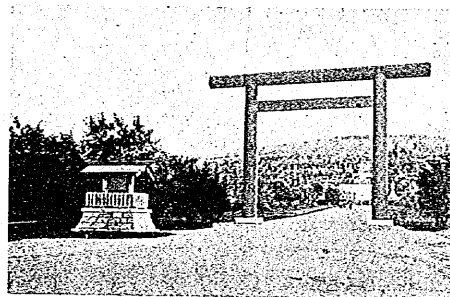
一七三頁の等温線圖で
分るやうに樺太の氣温は
一月には南北の差が甚し
いが零下一二〇度七月には之に反する約一六度。

年平均では西岸は東岸よりも暖いのは海流の關係で
ある。之は平均氣温であるが北部の數香では最高三
六度、最低零下三九度となつたこともある。上圖の數



觀景の一部の(圖形地部量測地陸)圖上は圖下 野平内概
あるあでることるのの鹿馴てえ生々點が松葉落に地苔で
いなし適に作耕でラドントは野平の此

社 神 太 樺



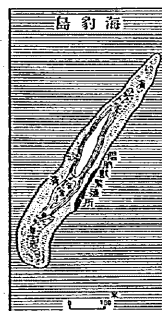
豊原市の東の郊外、スキーで名高い
旭ヶ丘の中腹にあつて境内からの眺
望がよい。明治四十四年全島鎮護の
ために建てられた官幣大社で、大國
魂命・大日貴命・少彥名命をまつる。

廳 太 樺

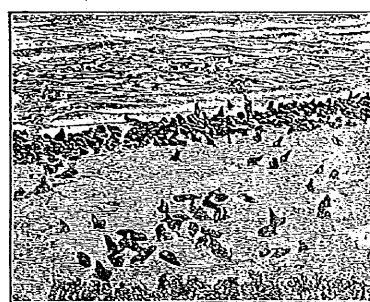


豊原は明治四十一年八
月樺太廳が大泊から茲
に移されて以來、全島の
政治文化の中心となり、
昭和十二年から市とな
つた。

島 豹 海

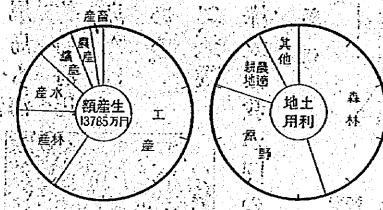


獸 胎 腿 の 島 豹 海



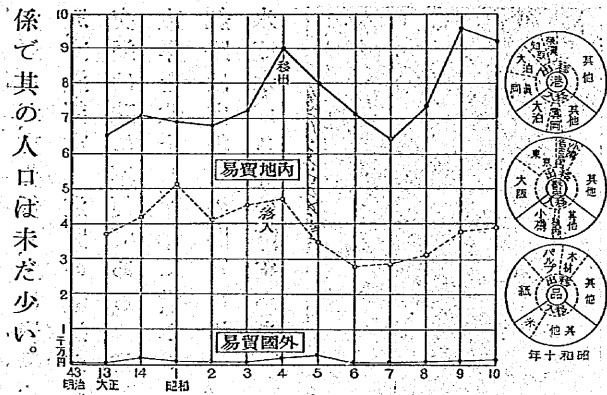
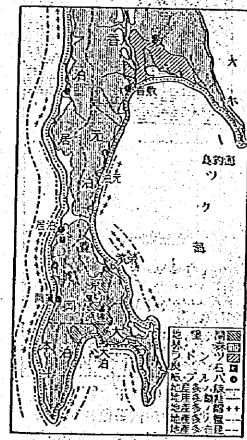
のの長
の東の
す。の
。樺
太
廳
は
監
督
者
を
や
つ
て
之
を
看
守
る
。右
の
海
豹
の
細
部
を
示
す。

香の気温グラフも平均数であるが零度以上の月は半年である。次に降水量は樺太は我が國の最少地方である。二七三ミリの降雪期間は低地では十月下旬から五月中旬頃までである。海水氷は十二月下旬から始まり四月中旬に流氷となつて運び去られる。只真岡以南の西海岸だけは暖流の關係で殆ど氷らない。



(昭和十一年) 土地利用と生産額

三産業 氣候の關係で農業は南部の低地及び海岸に少しく行はれ、米の産出なく、只麥馬鈴薯甜菜等を産する。しかし寒地性の原生林が廣く分布する。木材をのて、又豊原産し、又眞岡等に製紙及び製紙用バルブ



係で其の人口は未だ少い。土人は約二千人、南部のアイヌ族が主



アイヌ人

工業起こり敷香には人造絹絲用バルブの製造が行はれてゐる。石炭の埋藏は多いがまだあまり採掘されてゐない。水産には鯨、鮭、鱈、昆布、蟹等がある。夏季には海豹島に鰐、鰐が集まる。貿易は主に内地との間に行はれる。

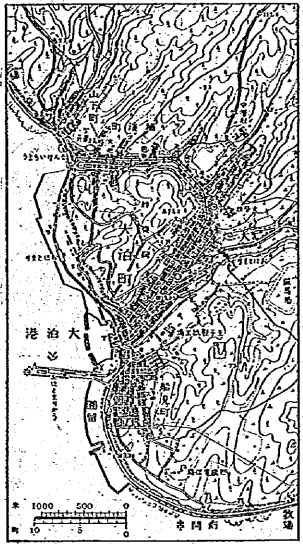
四住民 住民の大部分は内地から移

第二章 樺太地方

で幌内川流域にはオロコギリヤトク（ニクブン）等が居るが文化低く、主に漁・獵・生・活を営む。五交通都市 道路の發達が充分でない上に冬の交通は殊に不便である。鐵道は南部の低地から東岸を北上し、西岸に沿ふものとも連絡してゐる。航路は内地との間及び沿岸諸港間に通ずるが、結氷・流水・ガス等の障害がある。南岸の大泊は本島の門

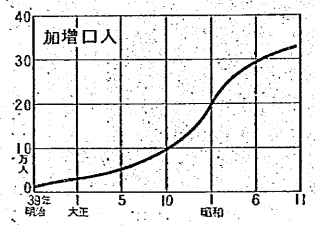
二・四は人口二萬四千人の意。以下之にならふ。

開港場 大泊・真岡



(圖形地測陸) 大泊

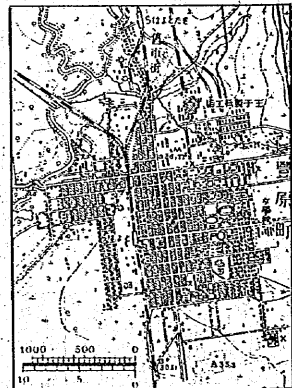
戸、西岸の眞岡は水産業の中心、本斗は不凍港である。以上の三港は何れも内地と年中貨客の連絡がある。鈴谷川流域の首都豊原市は本島



二九年限に一萬二千人から三三萬人に増加した



(圖形地測陸) 豊原



市街・校學女・場工紙製・廠太樺
れら見がどな街市新の式交直・街

開發の中心をなす。
問題 我が國の寒地性植民地としての樺太を調べよ。

第二章 樺太地方

第三章 北海道地方

北海道はもと蝦夷とよばれ、明治二年開拓使が置かれてから急に開發された地方である。北海道廳の下に十四支

廳七市があつて之を治める。

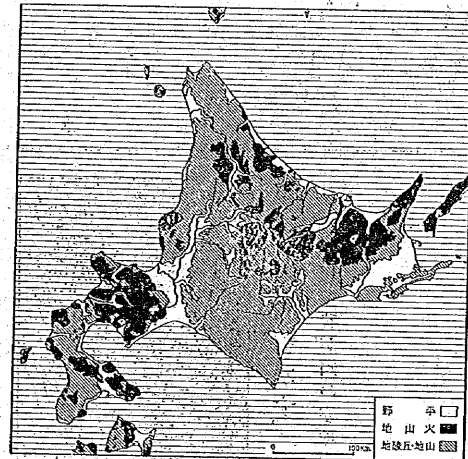
一位置 北海道本島は樺太

と本州との間に位し、千島列

島はその北東に連り、ロシア領カムチカ半島に迫つてゐる。

二地形 本島は地形上、胴體部と半島部とに二大別することが出来る。(1)胴體部は

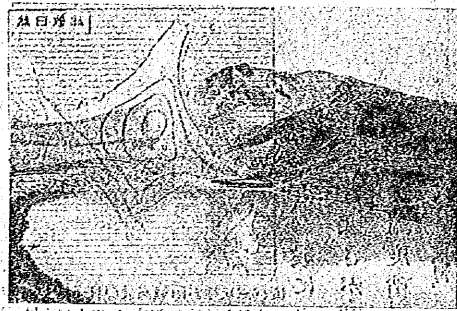
菱形をなし、蝦夷山脈は千島列島より本島に走り、千島列島より本島に



北海道の地形略圖

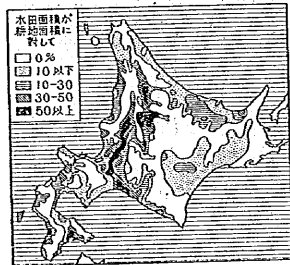
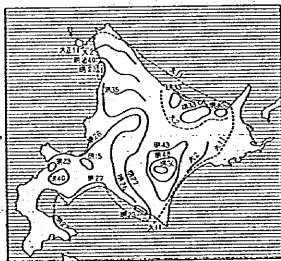
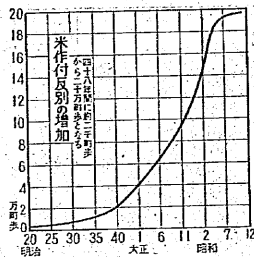
面積 八万七千七百七十九平方キロメートル
人口 七十八万九千七百七十九人
人口密度 九人/平方キロメートル

行政區劃		支廳名	支廳所在地
網走	網走市	網走	網走市
紋別	紋別市	紋別	紋別市
根室	根室市	根室	根室市
釧路	釧路市	釧路	釧路市
十勝	十勝市	十勝	十勝市
上川	上川市	上川	上川市
留萌	留萌市	留萌	留萌市
石狩	石狩市	石狩	石狩市
札幌	札幌市	札幌	札幌市
後志	後志市	後志	後志市
渡島	渡島市	渡島	渡島市



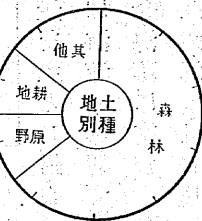
入り之と十字形に交り、その會合點の大雪山十勝岳附近は土地が高い。蝦夷山脈の東にある十勝釧路根室の諸平野は十勝川釧路川流域で概ね臺地をなす。北見の地方は大抵丘陵地で沿岸は出入少く、湖能取湖網走湖等が多い。走湖等の湯が多い。蝦夷山脈の東西兩列の山脈間には天鹽川石狩川の上流に名寄、土川、富良野の諸盆地開け正しく見られる。流には天鹽石狩の二平野がある。然に石狩川は水運の利大で下流には汽船通じ、有狩平野は地味肥沃で開拓が最も進んでゐる。この方面の沿岸も太抵は砂濱、砂丘も多いから良港がない。(2)半島部は魚尾の如

(部一の國公立國家阿)山火リブヌイムカと湖局摩

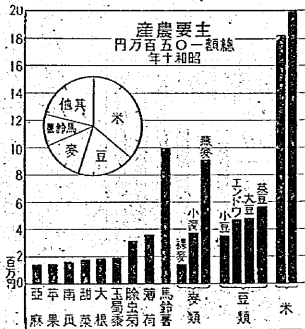
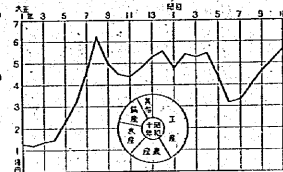


あて物産農な切大も最の國が我は米
重を究研に第大も道海北、ちかる
法方の播直を種品るす適に地冷てね
つなにうやる作に土全と殆てつよに
の國全は穫收のり富反一しかし。た
別成作米は圖上、い低に落りよ均平
次りよ部西南は圖中、し示を達發の
下、し示を代年たつが廣に部東に第
す示を度密の田米は圖

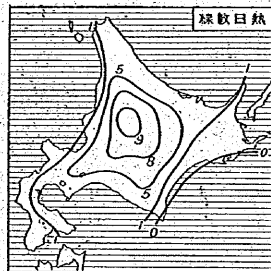
四、産業
人口の増加と
開拓の進歩に
伴ひ、産業は次第に發
達してゐる。農業は各府縣のものよりも
規模大きく、氣候の關係で、豆類



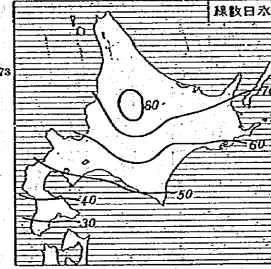
生産の總額の変遷



類
大豆
小豆
麥
燕麥
小麥
大麥
馬鈴薯
薄荷
亞麻
甜



度〇三氏攝が温氣高最の日一は字數
す示を數日の中年一たつに上以

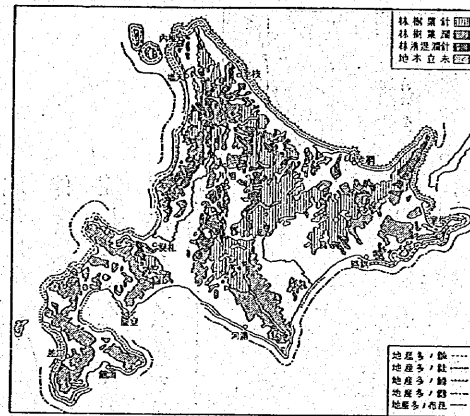


に下以點水が温氣高最の日一は字數
す示を數日の中年一たつに上以

と一般に冬長く氣温が低い。殊に十勝平野釧路根室平野上川盆地
は寒さが甚しい。東岸は寒流の影響をうけて暖流の通る西岸より
は温度稍低く、雨量も少く、内部は大陸性氣候で寒暑の差が著しい。

實習 次の數字で七頁のやうな氣温降水量比較表を作つて説明を加へよ。

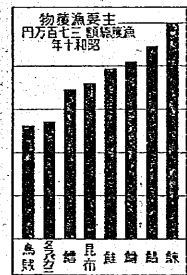
降水量	氣温	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
根室	旭川	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
釧路	釧路	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
室蘭	室蘭	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
札幌	札幌	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
旭川	旭川	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
網走	網走	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
紋別	紋別	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七
稚内	稚内	二五	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七



布分の産水と林森

田の石炭を主とし、鐵金硫黄等を産出する。
近海は海流の影響で世界屈指の大漁場を
なし、魚介海藻に富む。その中、鰯を第一とし、
鰺、柔魚、鮭、鱒、鱈、蟹、帆立貝、昆布等の産も多い。

菜等の畑作は概ね内地第一であるが米の産
額も近年増加して来た。従つて、是等の農産
物を原料としてビール、焼酎、小麥粉、砂糖、麻布
等の製造が行はれる。牧畜は原野廣き故盛
に行はれ馬を主とし、豚、牛、綿羊等に次ぐ。
新冠の牧場を始め、大きな牧場が少くない。
牛乳を原料とする煉乳、バター等の製造も起つ
て来た。森林は本島面積の過半を占め、蝦夷
松、樅、松ノラ等は建築用材、製紙等に利用せら
れる。礦産は石狩炭

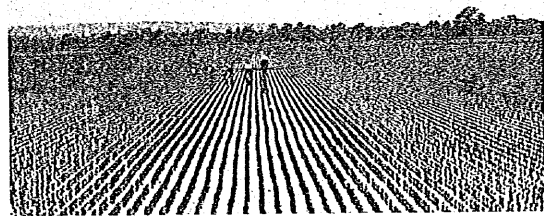


景の期初墾開



これは石狩平野の北邊、深
川附近の景で、森林地開墾
のはじめの伐木を示す。
作物はこの株の間に作り
次第に株を取り去る。

田 米



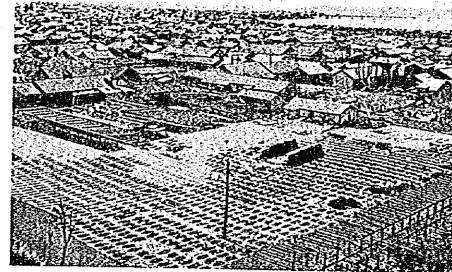
夏の高温を利用し早生種を植ゑ
るので、近時米田が多くなつた。
耕作に機械力と家畜とを利用し
規模が大きい。

畜 牧



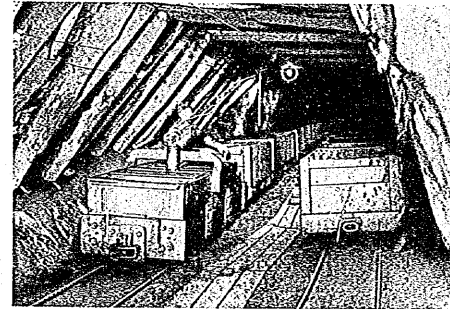
農林省所管の釧路附近の
種羊場で、綿羊を飼つてゐ
る。

港 漁 内 岩



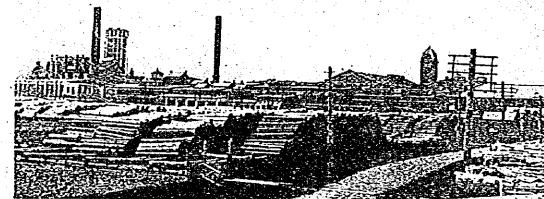
岡の手前の棚には身・鉄・鋼、ムシロには鉄の綿・柏が干してある。遠景に港内が見える。

坑 炭 張 夕



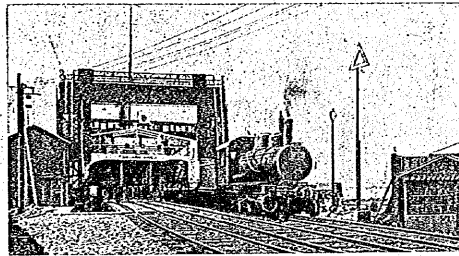
石狩炭田は今ほ内地石炭産出の二割を出すのみであるが、埋蔵量が大きいから將來有望である。岡は夕張炭坑の坑内から石炭を電気機関車で運び出すところである。

場 工 紙 製 の 牧 小 吉



之、しと木原をツマドト・ツマゾエ。るあで景全の場工の社合紙製子王のるすと紙に達てい碎し熱を木原、れ入に室木調で力械機らか池木貯をるあで

開港場・函館・小樽・室蘭・釧路・根室・留萌



青函連絡船 函館港の状況。船の下部から貨車を機関車で引出すところである。昭和十二年三月十三日。津軽汽船株式会社撮影。

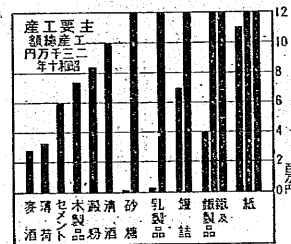
是等は乾製・燻製・鹽製・罐詰又は肥料・魚油として、本州及び滿洲支那等に送られる。

以上の如く製造工業は主に本島産の原料と動力を以てするのである。

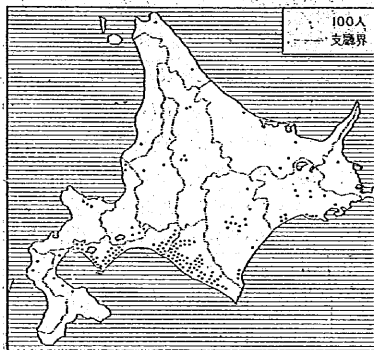
商業は道内は札幌を中心とし、輸移出入は函館・小樽が最盛である。

五交通 道路・鐵道は次第に敷設せられて開拓を促してゐる。

函館線・室蘭線・宗谷線・根室線は本島の鐵道幹線をなし、本州及び樺太の鐵道との連絡もよい。其の他西部の留萌線・日高線・東部の名寄線・右北線・網走線・釧路線の諸鐵道がある。海上交通は冬季の風雪とオホーツク海方面の早春の流水と、太平洋方面の暖季の濃霧のために時々妨げられる。主な航路は函館・小樽を起點として本島の諸港を連ね、又本州・樺太とも連絡がある。



六住民 人口は總數凡そ三百萬人その大部分は内地からの移住民で年々數萬の移住者はあるが人口の密度は甚だ小である。

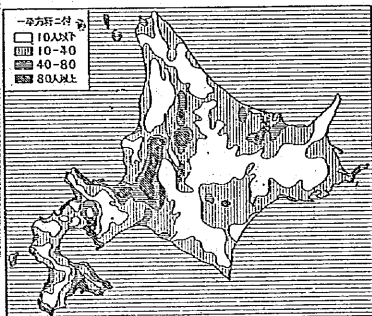
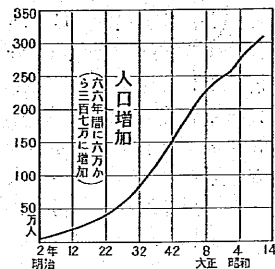


布分の人ヌイア

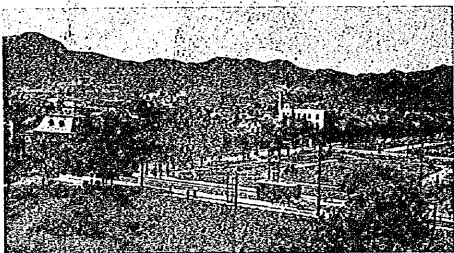


俗風の兒小 兒小と子女のヌイア
。よ見をのたし化地内の

人口密度(下圖)



街市幌札

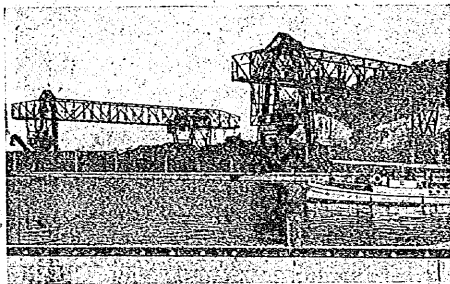


たし示を(餘米百幅通大)く貫に西東を央中の街市は岡に西南の市は山のふ向。るあてしにうやの岡公でのも。るあで由るあ

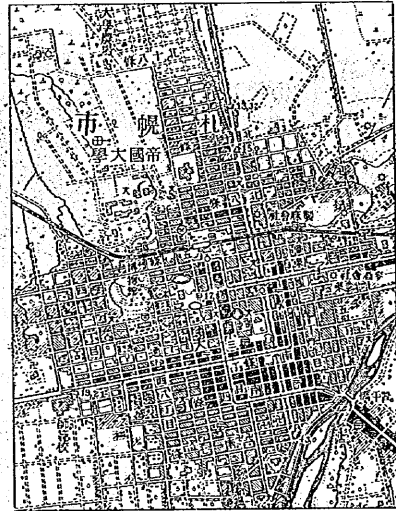
原住民 アイヌ人は日高膽振に多く、その總數約一萬六千大に内地化したが、なほ特別の風習をもつてゐる。

七處誌 半島部 胴體部 千島の三區に分けることが出来る。

(1) 半島部 函館市は本島の南門をなし、早くから開けた開港場で、水産物の取引が多い。西岸には本島最古の都市福山(松前)と、漁港江差(室蘭)がある。小樽市は石狩平野をひかへ、本島物産の積出しが多い。室蘭市は良港で、石狩炭の積出多く、又大きな製鋼所がある。

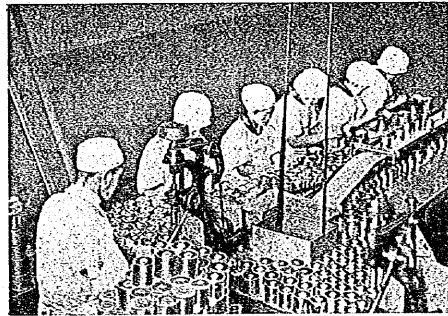


(港南室)し出積の炭石



(図形地測陸一分萬五) 街市札幌

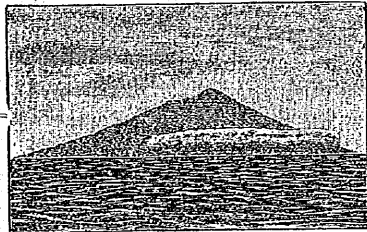
粉煉乳等の諸工場がある。岩見澤は近傍に多くの炭田を控へ、鐵道の會合點に發達した商工業都市である。上川盆地は本島のほぼ中央に位し、その中心は旭川市で第七師團司令部があ



(市札幌) 造製の乳煉

に分つ。(イ)西部の主要地は石狩平野である。その中心都市の札幌市は、道廳北海道帝國大學の所在地で、市街の建設新式に屬し、街路廣く、市區が井然としてゐる。商工業も盛んで、麥酒製麻製材製

島度頼阿



。米九三三二拔海。山高の一第道海北で島山火

り、商工業も盛んである。

北端の稚内は樺太に對する連絡港となつてゐる。(ロ)東部の十勝平野の中心、帯廣市附近には甜菜糖の工場がある。釧路根室平野の西方の門戸釧路市は開港場で、木材水産物の集散多く、東方の厚岸は昆布牡蠣等を産する。根室は東岸の開港場で、水産物の製造取引が行はれる。然し冬季は結氷するから、船は花咲港に着いてこの町と連絡する。北見平野では網走が最も著れる。

(3)千島列島 三十餘の火山島からなり、その總面積はほぼ四國地方の半分に等しく、長さは一千軒ほどに互つてゐる。地形險しく、地味やせ冬の寒さ甚しく、交通も不便なので、國後擇捉得撫幌筵・占守等四五の島の外は住民なく、住民の數も僅に二萬人にすぎない。しかし近海は鮭鱒等の魚族に富むから、夏だけ漁業に來るものがある。

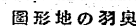
問題 新開地としての北海道を調べ、更に其の將來を考へよ。

面積 六九二方軒
人口 六八萬人
人口密度 (二方軒
二萬人)

一、位置區分　奥羽地方は、本州の北東部を占め、東北地方とも呼ばれる。古への陸奥^{ムツ}出羽^{デヘ}の地で、行政上は六縣に分たれ、地理上は東部

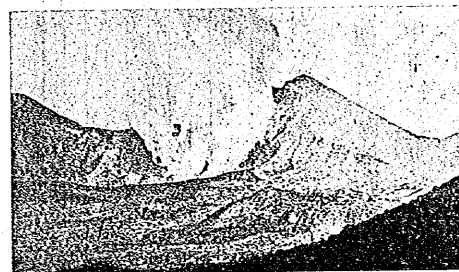
一、位置區分　奥羽地方は、本州の北東部を占め、東北地方とも呼ばれる。古への陸奥^{ムツ}出羽^{デッ}の地で、行政上は六縣に分たれ、地理上は東部^{青森}、西部^{秋田}の二區に分たれる。

二、地形　この地方には南北に走る三條の山脈がある。中央にある

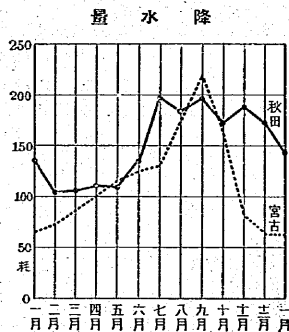
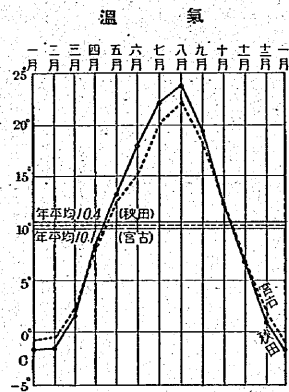


中央にある
奥羽山脈は
太平洋斜面
と日本海斜
面との分水
界をなし、那
須火山脈之
に沿うて噴
起する。太

地たれは 礫に塊岩と流泥



えびさしに北の湖代苗落で山火するす處に脈山火須那 山姥聲
め埋を谷の方北、^{マシバ}に裂爆が側北の山に急年一十二清明。る
は図下左の図上。たへ奥を害に畜人（湖止堰）り造を湖て
る。あで況状の時當裂爆は図下。す示をさだの裂爆



気候の岸雨西東らか圖二の上
よへ考を差の

横ぎつて西に流れ、北に津輕、下北の二半島があつて陸奥

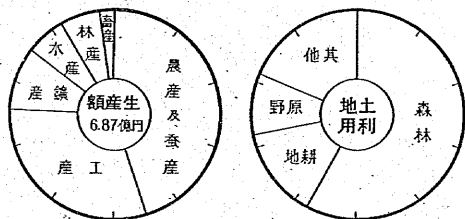
灣を抱き、東岸には牡鹿半島が突出して仙臺灣を擁し、西には男鹿半島があつて八郎潟を包む。太平洋岸の中部にはリアス式の小灣が多いが北上山脈がすぐ海岸にせまつて後背地の發達が少いから、盛んな商港はない。

三、氣候 位置の關係上、本州中氣溫が最も低い。殊に東岸には親潮が流れるため夏季時に低溫となり、農作物に冷害を與へる。冬季は寒さはげしく、日本海斜面は對馬海流と北西風とのために積雪多く

浪も荒いから交通をさまたげる。

四、産業 氣候寒冷、交通不便のため、本州中人文の開發最も遅れ、人口密度も少く、産業の進歩も著しくない。山地、原野、多く耕地が割合に少いから、農産物は少いが、東部諸縣の原野には牧畜よく行はれ、又鑛業、林業も各地に盛

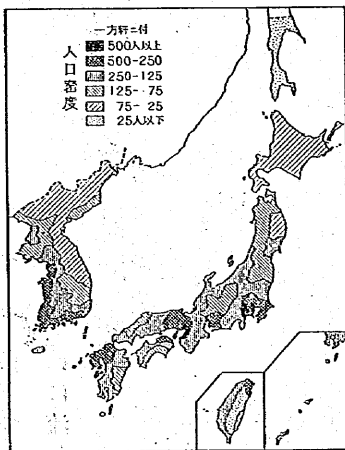
額產生と用利地土
(年十和昭)



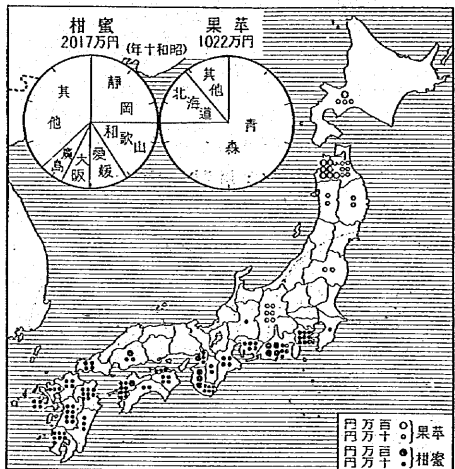
んであ

主な農産物は、米、大豆、馬鈴薯、苹果、米は西部二縣

と宮城縣に多く産し、最上川の下流庄内地方の産は主に酒田

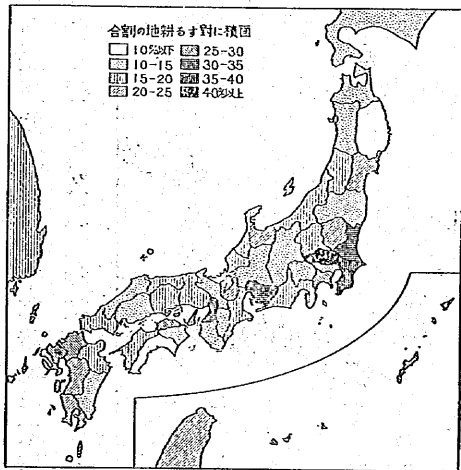


から移出される。寒地に適する苹果は青森縣に産額最も多く馬鈴薯も各地から産する。牧畜は馬の飼養を主とし、白河

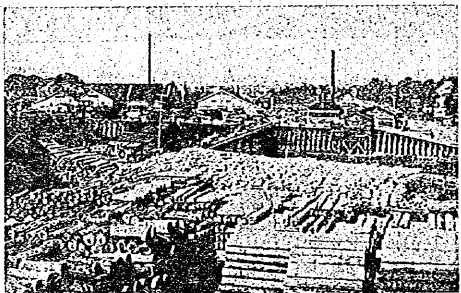


(地内) 布分の柑蜜と果苹

馬・等 岡縣 縣盛
市・の 手
が名 馬市
高い。米代川の流域には杉の大森林があつて、能代港をはじめ秋田・大館等には製材の業が盛んである。礦産物には秋田縣の銅銀釜石縣手附近の鐵常磐炭田の福島縣平・秋田・田・縣秋田

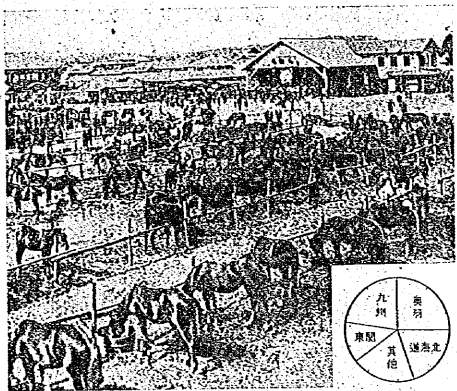


蟹 産業分布圖
をつくれ。



で港代能い近に口の川代米 場工の社倉材木田秋
きおを店本に代能も社會のこ、でん盛が業材製は
。るす營業もを送運陸海林植外の材製

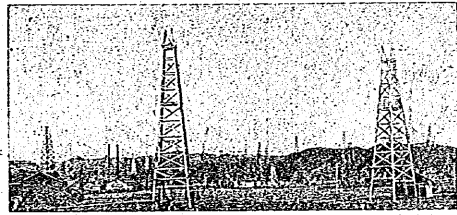
等が名高い。養蠶は阿武隈川の流域と米澤附近とによく行はれ、郡山・福島・の製絲川俣縣島



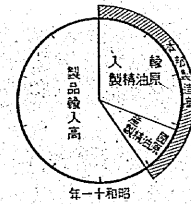
縣山形の絲織等がある。

漁業は太平洋方面の方が盛んで鰯・鯨等がとれる。水産製造は宮城縣に稍盛んである。

てついと胸部南し産を馬良らか昔は近附岡盛 市馬の岡盛
月九らか月六年毎は市馬。るあで景の場市馬は岡。い高名
岡の下右。る種を價の馬で中の物建のこ、れは行々時に中
。す示を合割の別方地の(年十和昭)数頭の馬の地内は

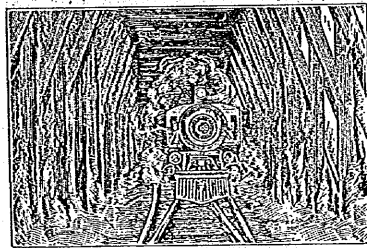


開港場 青森・釜石・鹽釜・船川



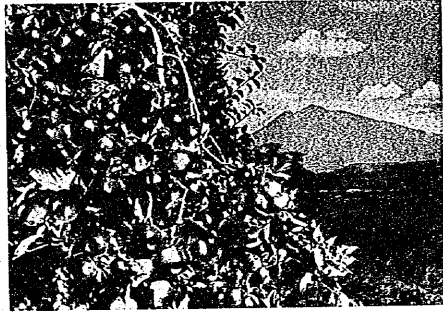
方北の市田秋（同上）田油川鹽
るす算合を田油の近附るにあ
を分半約の高田産油原國が我と
（ほ）井鑽は構い高の中阿。す田
ひ用にきとる遠を（どあきぬり
和略は圖下るあでのもたれら
るす費消で國が我て於に年一十
輕・油機械・油重・油發揮）油石
か等度印領關・國衆合カリメアを品製は割六約の（油造・油
こるす造製らかと油原産國と油原入輸は他の其し入輸ら
す示をと

五交通 鐵道は南北に通ずるものが早
く發達し、東北奥羽常磐羽越の諸縦貫線
が最も重要である。しかし東西兩側を
連絡する花輪横黒仙山磐越の諸横斷線
も次第に開通した。沿岸は一般に良港
に乏しく、北海道への連絡港としての青
森と仙臺市
の門戸鹽釜
とが主な港
である。

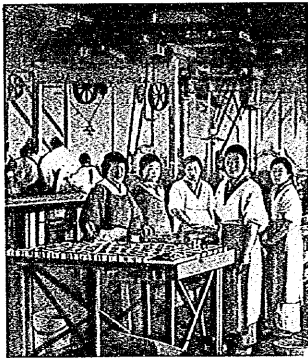


で方地い多の雪積 ルネントけよ雪
どな板や材木をルネントき如の圖は
。く防らか害雪を路線り作で

六處誌 青森縣 (1) 東部平野は牧馬が
盛んである。馬淵川の下流に臨む八戸
市の鮫港は漁港である。陸奥灣の北
東隅には大湊の海軍要港があつて津輕



右圖は弘前市附近の苹果園から、
北西にある岩木火山を望んだと
ころである。岩木山は島海火山
脈に屬する消火山である。



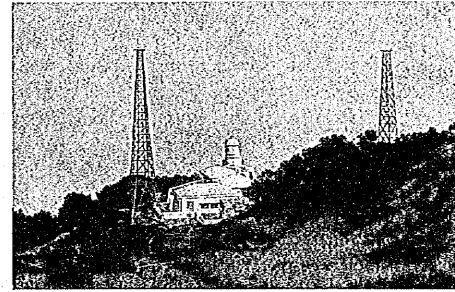
↑ 苹果園と岩木山
罐詰工場



右圖はモンベを滑用してゐる状況で
ある。モンベは一種の股引で、主に
労働するときに滑用する。

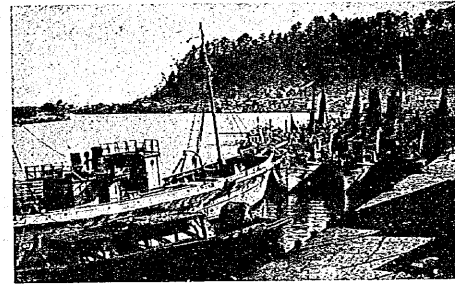
上圖は青森市内にある鮭の罐詰工場
の内部である。原料の鮭はカムチャツ
カ方面から来る。

金華山燈臺



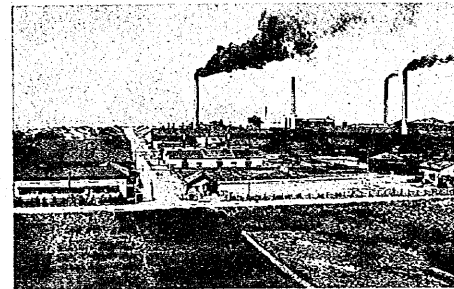
金華山は牡鹿半島の先端にある島で、この燈臺は奥羽地方東海岸の大切な航路の目標になつてゐる。

石巻港



石巻は北上川口に近い港で、昔は米の積出が盛であつたが、今は漁港である。圖は河岸に漁船が集つてゐるところで、後の山は日和山である。

土崎港の製油所

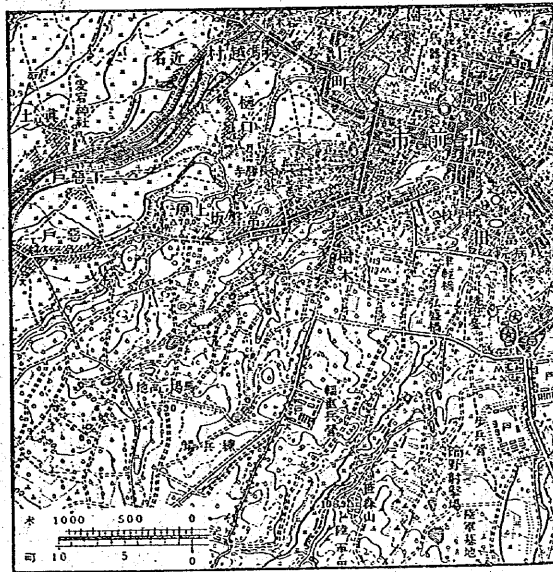


土崎港は雄物川口にある港である。秋田縣内の油田の原油を概ねここに集めて精製する。

問題 津輕海峡は國防上どんな價値があるか。

海峽を守る。(2)西部の青森市は陸奥灣に臨み、水陸交通の要地に當り、鮭の罐詰製造及び製材が盛んである。津輕半島の山地からは羅漢、柏平野からは米、苹果の産多く、平野の中心都市の弘前市には第八師團司令部がある。

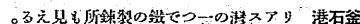
(地形地圖) 弘前市附近



實習 苹果園を鉛筆で色をよせ。

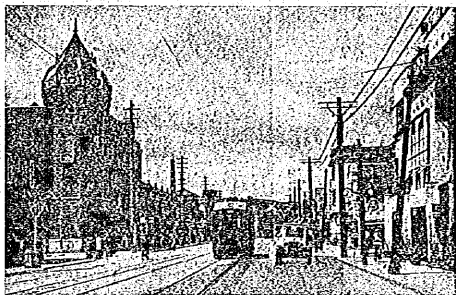
岩手縣 本縣の面積は全國の府縣中最も大であるが、山地原野多く、人口の密度は最も小さい。(1)リアス式の東海岸には釜石市、宮古大

船渡等の小鑛地があつて水産業の中心をなし、釜石には鐵の製鍊所がある。鐵道は北上山脈を横ぎつて是等の港と北上川の河谷平野とを連絡する。但釜石花巻間の仙八峠は未成(2)中部の北上川の谷はこの縣の主要地で盛岡花巻^{一七}、關水澤等の小都市が並んでゐる。盛岡市は馬市と鐵^{六九}



み花輪線横黒線はこの山地を横断する。
宮城縣 (1) 仙臺平野は米の大産地である。
平野の南部にある仙臺市は奥羽第一の大都市で東北帝國大學第二師團司令部等がある
北東の鹽竈シホガマは仙臺の外港で日本三景の一の松島を控へる。
△石巻市は北上川口にある漁港である。(2) 西部山地には温泉多く鬼首オニカサメの間歇温泉が最も名高い。(3) 東部山地南端の金華山附近は漁業が盛んである。

△口繪



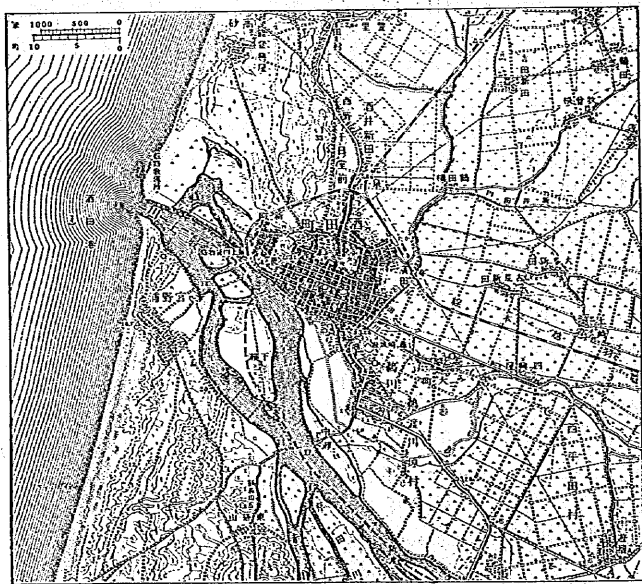
。たつあで町下城の石萬二十六^{テダ}尺達伊ひ沿に川瀬廣 市臺仙
圖 。るあで府學の方地羽奥ずらなみのるた心中の治政も今
。るあで址城葉書は丘のふ向 。り通門多は

あに岸左のそは市で川隈武阿はるれ流を央中の圖 市島福
の隈武阿が市島福は圖ち即。るあで畑桑に面一は方前。る
。す示をととこなん盛の越發とるた市都要主るあに野平谷河

山形市は櫻桃を産し米澤市には絹織業が盛んである。

問題 奥羽山脈を界として東西の兩地域を比べよ。

(地形図陸) 近 附 市 田 酒



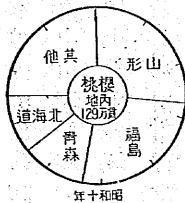
内の其・丘砂岸海くマつに北南の口川・港田酒い近に口川上最
。るれら見がどな線本越羽・田米るがろひに部



海の面湖で湖の間山るがたまに縣森青・縣田秋 湖田和十
八七三)き深、がいなき過に軒方八七は積面、米一百四拔
養の餅。るあて二第園が我でい次に湖澤田の縣田秋は(米
か面方雨のと内馬毛と森青で一の園公立園。るれは行も適
。るあが便のスパ替省ら

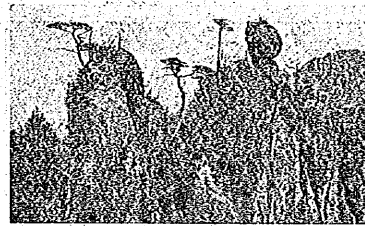
がある。(4)子吉川流域の中心都市は本庄である。

山形縣 (1)西部の庄内平野は米産多く、酒田市は商
港で、鶴岡市は舊城下町である。(2)東部の主要地は
新庄・山形・米澤の諸盆地で、米作養蠶がよく行はれる。



秋田縣 (1)米代川流域は林産、鑛産に富み、川口に近い能代港は木材を集散する。小坂鑛山は銅・金・銀を産し、その北東の十和田湖は風景がよい。(2)雄物川流域の横手盆地には米産多く、秋田平野附近は石油の産出が國第一である。秋田市は縣の中心都市で、土崎港に製油所、鐵道の工場がある。(3)男鹿半島は陸・海・島で、南岸に船川港

行政區劃	
府縣名	府縣名
東京府	東京府
神奈川縣	神奈川縣
千葉縣	千葉縣
群馬縣	群馬縣
埼玉縣	埼玉縣
茨城縣	茨城縣
栃木縣	栃木縣
群馬縣	群馬縣
千葉縣	千葉縣
神奈川縣	神奈川縣
東京府	東京府
府縣名	府縣名



うを蝕侵が岩塊集は景奇の山義集 勝奇の山義妙
が門石岩奇たじ生に然自中山、でのもたつてけ
い多が客光觀でのるあに位位な利便の通交、い多

一、位置區分 本州島が東西方向から急に南北方向に曲る部分を占め古への關東八州の地で、一府六縣に分たれる。
但し東京府に屬する南方諸島伊豆諸島小笠原諸島は地理的に特別の地域であるから最後に述べる。
二、地形 西から北にかけては一帯の山地で、其の南東に廣い平野が太平洋まで廣がつてある。よくまとまつた地域であるが之を(1)西部及び北部山地(2)關東平野(3)南端の半島部の三に分つことが出来る。
(1)西部山地は概ね關東山脈に屬し、南端に箱根山がある。北部山地には三國山脈奥羽山脈阿武隈山脈及び那須火山脈に屬する那須高原

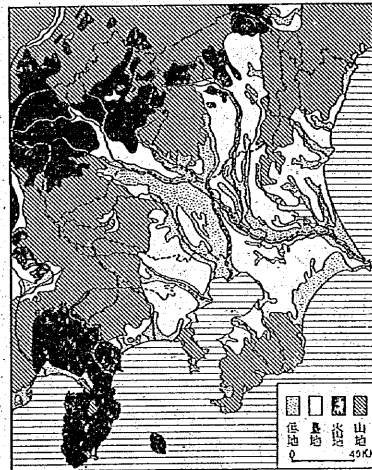


ることた見らか山金の川太縣馬群

第五章 關東地方

面積 三三六万平方
人口 五七五万人 (昭和二十一年)

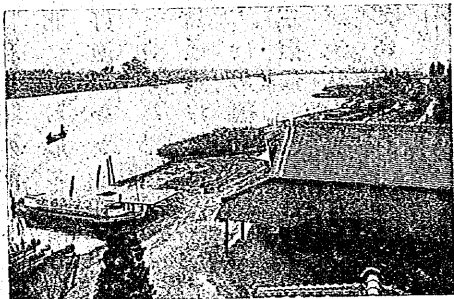
圖面斷と圖形地



實習 附圖にならひ、一〇〇米以上を彩色せよ。

男體赤城榛名妙義等の諸火山がある。是等の火山地方は風景に富み温泉多く、觀光・休養地帯になつてゐる。

(2)關東平野は我が國第一の大平野で、臺地と低地から成り、利根川・那珂川・荒川・下流は多摩川・相模川等茲を流れ、上流は發電に利用せられ、下流は灌漑水運の便が多い。



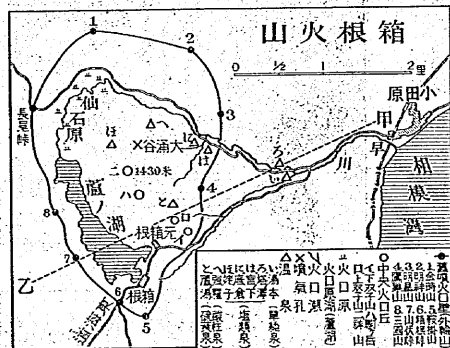
(近附來湖) 觀景の郷水

利根川は古くから阪東太郎といはれ、本流の長さ三二二軒支流は大小二八五を數へ、舟筏を通ずること八百餘軒流域一萬六千方軒實に關東地方の半に當る。源を群馬縣の北東部利根岳に發して南流し始めは概ね群馬埼玉二縣後には茨城千葉二縣の界をなし、銚子の港附近で太平洋に注ぐ。上流には處々に發電所あり、電燈電車等に利用せられる。下流には湖沼多く、水郷風景がよい。河水は一般に灌漑に利用せられるから流域には水田よく開け、米の産出が多い。

孔氣噴の谷大



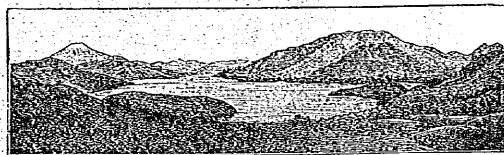
はに(目ツ三らか土)眞寫の近附湖蘆 題問
かるゐてえ見が分部のどの圖地の上



圖面斷るけ於に線乙甲の圖上



湖 蘆



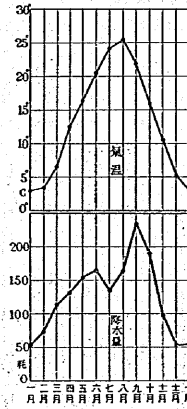
箱根山は二重式火山で、噴火口外輪山の中に中央火口丘噴出し、その間の火口原の一部には蘆湖をたふ。その水は外輪山を破つて海に注ぐ早川火口湖。火山活動の餘勢はなほ噴氣孔や温泉で示されてゐる。昔は道路交通の要所であつたが、今は遊覧客や休養客を多く集めてゐる。

利根川の河口には、大吠崎突出して、交通上の好目標となり、其の南北には弓形の砂濱遠く連り、近海は遠淺の上に、黒潮の影響をうけて、好漁場をなして居る。

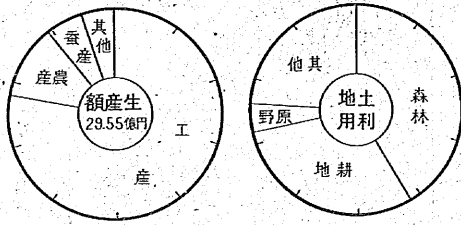
(3) 半島部は房總三浦の二半島で、その間に東京灣を抱く。三浦半島の東岸には良港多く、其の西岸より西方相模灣沿岸一帯の湘南地方は房總半島沿岸と共に氣候溫和風景佳良で休養地帯をなす。三氣候、西と北とは山地をめぐらし、南東の近海には日本海流・黒潮が流れるから氣候は概ね溫暖である。北西部地方は稍大陸性氣候であるが、海岸地方は海洋性氣候である。

四産業 平野には農行はれ低地には米の産多く、臺地には麥大豆蔬菜甘藷煙草(北部の久慈川・阿部川流域と南部の盆地・野麻・附近)等の産が多い。平野の西と北の山麓は養蠶地帯をなし、従つて製絲・機業が盛んである。生絲產地としては前橋・群馬、機業地と

候氣の京東



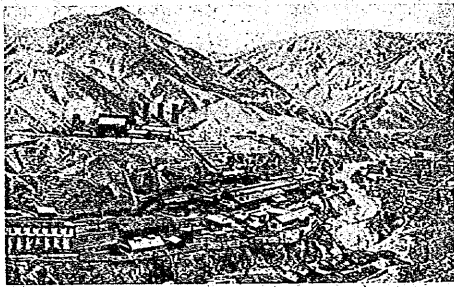
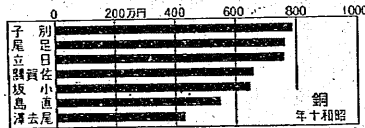
額産生と用地土 (年十和昭)



製絲

ト藥品・雜貨等の産出が多い。又、千葉縣の醬油産出高は我が國第一である。

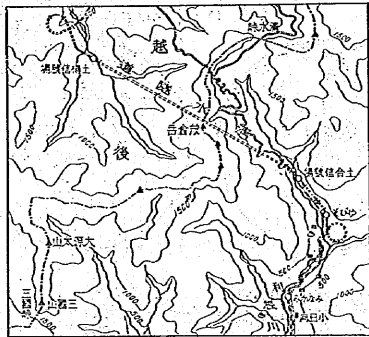
山地の産業中最も著しいのは



實習 簡単な産業分布図をつくれ

問題 この圖にあらはれた地形と道路・鐵道との關係を考へよ。

ルネント水清の線越上

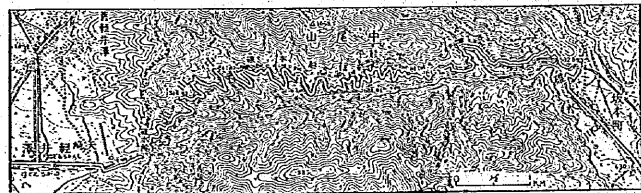


長さ約一〇軒、東洋第一、工費約二〇〇萬圓

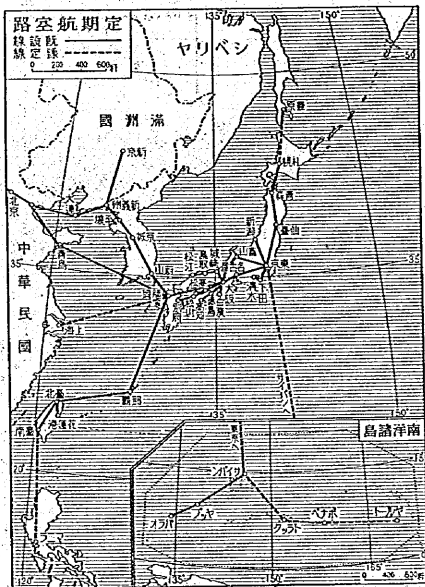
る分くよが形地とるす色着てつよにさ高

鑛業である。足尾は銅を主とし、日立は各地の鑛石を集めて銅・金・銀を製鍊する。又茨城縣北部には石炭の産がある。

近海は水産物に富み、且京濱の大消費地を控へるから漁業が盛んで千葉縣が第一位を占め銚子が第一の漁港である。又東京灣は浅い海で海苔の産が多い。



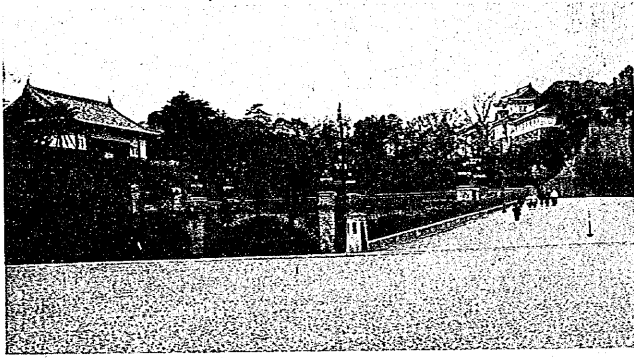
道鐵と路道の峠永確



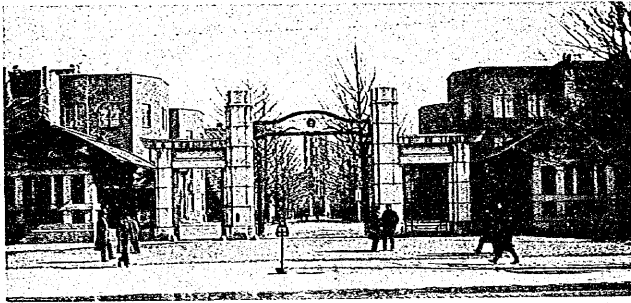
山受信所はがあつて、アメリカ等と通信することが出来る。航空路も東京を中心として次第に開けて來た。

六處誌 關東地方は近畿地方と共に我が國の重要地域で、文化の發達著しく人口密度は各地方中第一で東京を中心として纏まつた一地域になつてゐる。即ち東京の海への門戸として横濱、海の守りと

橋 重 二 城 宮



學 大 國 帝 京 東

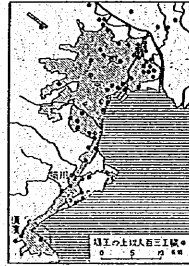


近 附 驛 京 東

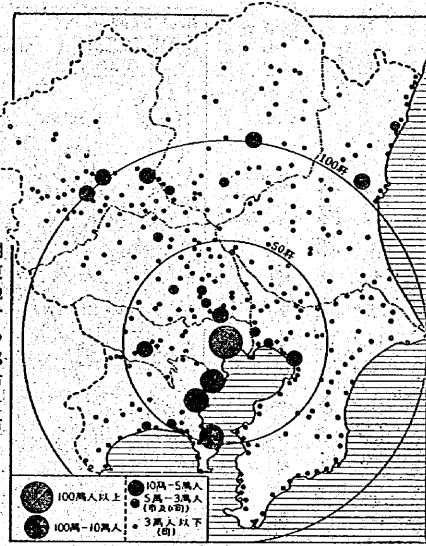


▲問題 この図を
附圖と比べ、1
から8までの臺
地を調べよ。

京 濱 工 業 地 帯



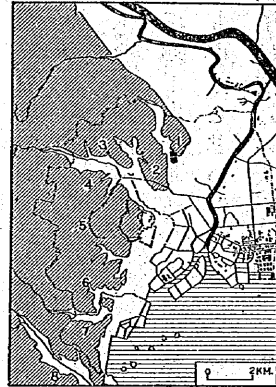
關 東 地 方 の 都 市 分 布



徳川氏の居城

をつくたこ
をの一端に城

武蔵野臺

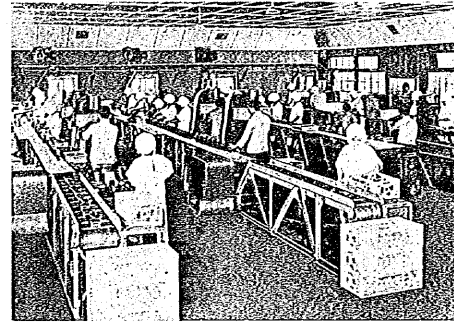


▲形地の京東

して横須賀があり、東京より四通する
交通・通信網は全地域を其の商圏とし、
又海岸及び山地を其の休養地とする。
東京府 (1) 東京市と (2) 其の西に續く
臺地(主に武蔵野)と (3) 山地とから成る。
(1) 東京市は政治軍事學藝商工業交通
の中心地である。

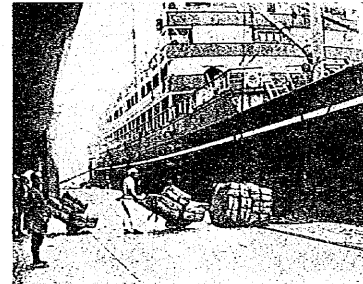
東京市は約四百八十年前太田道灌が

味の素工場



味の素は小麦を主要原料として造られる調味料の一つである。岡は川崎市にある同工場の内部で、婦人も多く働いてゐる。

生糸の出

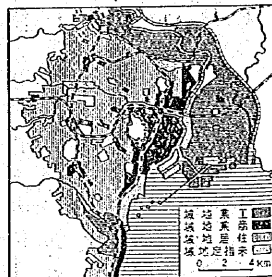


生糸は養蚕の最も盛んな中部地方・関東地方に最も多く産出し、横浜港から主としてアメリカ合衆国に輸出される。右図は横浜港に於ける生糸積出しの状況である。

江ノ島



元本陸から分れたものであるが再び砂洲によつて本陸に繋がれようとしてゐる。岡の右方は七里ヶ濱の西部で江ノ島との間には富士が見える。島には辨財天を祀り風景がよいから観光客が絶えない。



東京都市計

以後は全國の中心となり、市街はほぼ昭和七年擴張前の市域に廣がり、人口五十萬の大都市となつた。明治以後は日本の首府となり、國勢の進歩につれて遂に人口約六百萬の世界的大都市となつた。宮城は市の中央、山ノ手の東端に位し、帝都の大玄関東京驛が正面に控える。附近の丸ノ内、霞ヶ關一帶の都心地域は官衙會社銀行等の近代的高層建築が集中し、晝夜の人口較差は頗る大である。下町の淺草、神田、日本橋、京橋等は商業地域をなし、隅田川以東の江東と、南部の東京灣岸とは工業地域をなしてゐる。山ノ手は住宅地域で諸學校、兵營等多く、土地高燥で交通機關の發達に伴ひ、今も武藏野の佛の濃い新住宅地域が開け、數多の郊外電車と山ノ手線との交叉する所に新宿、澁谷等の新しい小中心地域が出来た。

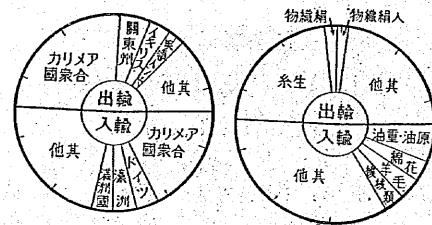
市はまた全國交通の大中心で、東京驛は西日本、上野驛は東日本、新宿驛は中部地方への門戸で、秋葉原驛は東日本、汐留驛は西日本への貨物驛である。山ノ手線は大都市に於ける模式的の環狀線で、地下鐵道は漸次延長し、高速

度の郊外電車の發達著しく、路面は自動車交通が極めて盛んである。近年築港工事進んで、重要な港となり、京濱運河も建設中である。又羽田の航空港は空運の中心をなす。

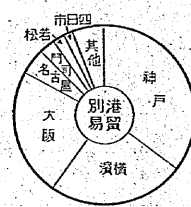
(2) 武藏野は東京をひかへて蔬菜の栽培が盛んである。又山麓地帯は養蠶が盛んで、八王子からは多く絹織物を産する。附近の浅川には多摩御陵立川には陸軍の飛行聯隊がある。

神奈川縣 (1) 東京灣沿岸の横濱市は神戸・大阪と共に我が國三大貿易港の一で、その北東隣の川崎市と共に工業も盛んである。

横濱市は約八十年前貿易港として外國に開かれてから、東京の門戸として急に盛んになった。市街は主に沿岸低地に沿うて延び、次第に臺地上にひろがつ



(年一十和昭) 易貿の港濱横
四萬千九位六入輸・四萬千八位六出輸



(年一十和昭)

(川 野) 造 製 の 油 桶

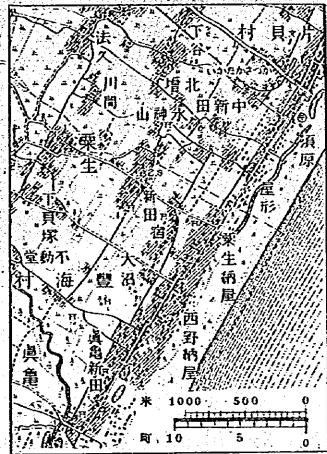


す示を置装るぼしを油桶

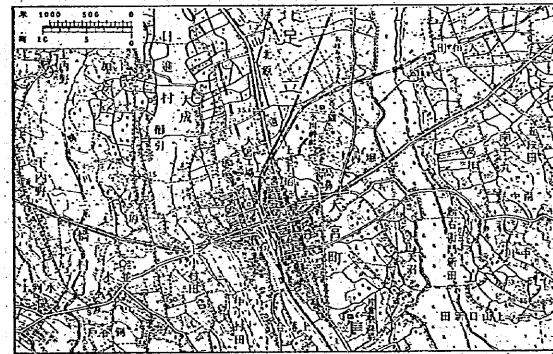
てある。貿易港として必要な設備即ち防波堤・繫船岸・棧橋・倉庫・船渠等備はり内外の大汽船會社の事務所もある。輸出品では生絲が最も多い。尙市内には工業も盛んである。

横須賀市は軍港で、第一海軍鎮守府置かれ、その海軍工廠は規模大で、艦艇の建造が行はれる。その南の浦賀には造船所があり、米艦の渡來で名高い。(2) 相模灣沿岸の湘南地方は京濱に對する休養地帯として榮え、殊に鎌倉は古蹟に富むので觀光客も多い。平塚市は工業の一中心である。(3) 北西山地にある箱根山も風光と溫泉として觀光休養地となつてゐる。

千葉縣 (1) 東京灣沿岸は一帯に遠淺で海水浴場が多い。市川市は東京の隣接都市で、船橋市には無線電信局があり、千葉市には醫科大學がある。(2) 下總臺地の大部分は畑地で、森林や牧場も交つてゐる。



や濱砂の状線直 部一の濱里九十九
るれら見がどな村漁たれ分らか村農



つはが別區のと地臺とる塗に色緑を(地低)川 (湖陸)近彌町宮大
道鐵武總・線崎高・線本北東てつあに上の地臺は宮大。るすりき
道鐵又。るむてつ集が路道の等道山中や(車電)道鐵武西・(車電)
るえ見に中圖も園公宮大・場絲製・場工

西部は陸軍の諸部隊に利用せられ
る。北部の成田は宗・教・都・市・(門)・前・町

として榮える。

(3) 利根川江戸川沿岸低地は米の
主産地で野田町と銚子市には醬
油の産が多い。(4) 九十九里濱の
低地は米作と漁業に著れてゐる。
(5) 房總半島は丘陵がちであるが、
沿岸の館山・北條・勝浦等に房總線

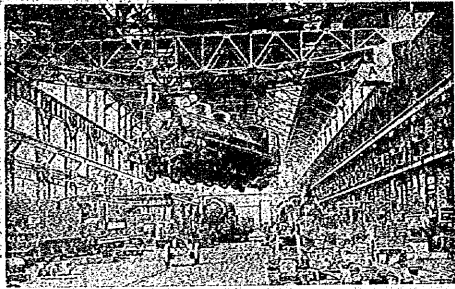
が通じてから休養客が年々増加する。館山と木更津には海軍の航
空隊がある。

埼玉縣 (1) 東部の平野は低地と臺地とから成りここに工業の盛ん
な川口市浦和市東北高崎二線の會する大宮・舊城下・町の川越市・商工

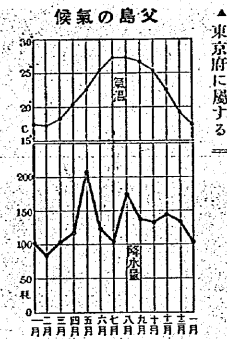
業の一中心熊谷市がある。(2) 西部山地中の秩父盆地は
機業の一中心である。

群馬縣 (1) 南東部の平野には養蠶が盛んで製絲機業が
行はれる。前橋市は利根川の上流に沿ひ繭生絲の市場
をなす。高崎市は商業交通上の中心でその南西の富岡
も生絲を産する。桐生市には絹織業が盛んである。(2)
北西部山地は名山と温泉で觀光休養客をよぶ。

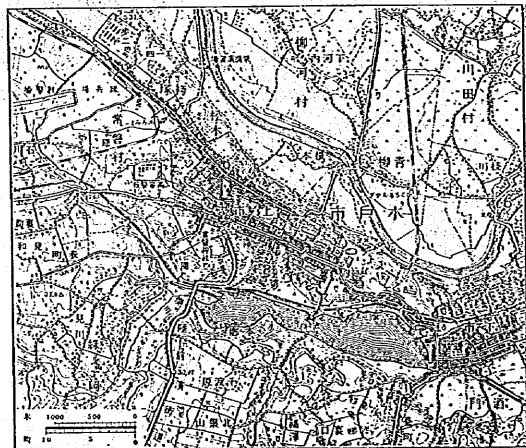
栃木縣 (1) 平野南部の山麓地帯は養蠶機業に名高く足
利市・佐野・栃木市等は之が中心都市である。鬼怒川以東
には煙草以西には干瓢・麻を産する。宇都宮市には第十



場工宮大の省道鐵



み北方久慈川流域の太田は煙草の集散地である。平野南部の土浦は霞浦の湖港で附近には海軍の航空隊と高層氣象臺がある。(2)山地は八溝山脈と阿武隈山脈南端の地域である。八溝山脈南端の筑波山は眺望がよい。阿武隈山脈の東麓附近には



りあが市上^ハに端の地臺の間の沼波千と川珂那 市戸水
。るめ占^{モシ}が市下を地低の東の城舊

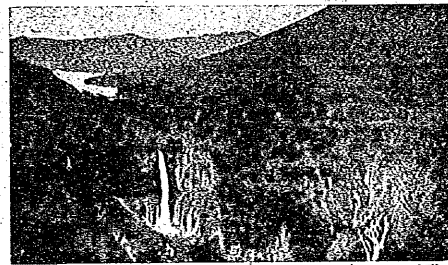
南方諸島 相模灣の南方太平洋中に伊豆諸島小笠原諸島などがある。富士火山脈に属する火山島で、伊豆



煙草の栽培



干 顯 心 益



下右し少のそ、で湖寺禪中はのるえ見に上の左 瀬ノ殿華
部中の説、で部一の山體男は山の方右。るあが瀧ノ殿華に
噴らか山體男でまこそ、はのるち落の瀧の條敷いさ小から
造を(湖止堰)湖寺禪中てめ止堰を谷、し堰堆が岩塔とし出
す。示をとこたつ

四師團司令部がある。(2)山地では日光附近と鹽原溫泉と足尾銅山とが最も著れる中にも日光附近は自然美と



(島大)女む汲水

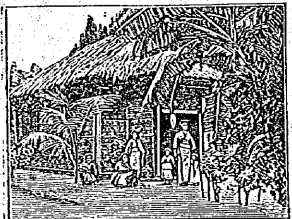
諸島には椿油等の産がある。大島には三原山の活火山があり、八丈島からは絹織物等を出す。

小笠原諸島は遙かに南方にある上に、暖流の影響を受ける

から、氣溫高く熱帯性の生物ナ海産物が多い。

父島の二見港は唯一の良港で、日米海底電線の中継所であり、内地・南洋群島間の連絡地點である。

問題 東京と關東地方の各地との關係を述べよ。



父原笠小は圖の上、人化歸の島父狀の人化歸の種人パッローヨの島又、ひ用を服和は服衣。るあで蕉根屋の家。るう用を服洋な單筒は塗キンベ造木、きふで葉の莖蒲はの右の圖。るあで風洋は内室、でもの方左。ナナバは物植いき大。るあで木若の子郎は

第六章 中部地方

面積 六萬七千平方
人口 二、三〇〇萬人
人口密度(平方
公里)

一、位置區分 中部地方は關東地方・奥羽地方と近畿地方とに挟まれ、本州の中部を占め、行政上は九縣に分たれ、地理上は東海地方・北陸地方・中央高地に分たれる。

行政區劃	縣名	縣廳所在地
靜岡縣	靜岡市	靜岡市
愛知縣	名古屋市	名古屋市
岐阜縣	岐阜市	岐阜市
山梨縣	甲府市	甲府市
長野縣	長野市	長野市
新潟縣	新潟市	新潟市
富山縣	富山市	富山市
石川縣	金沢市	金沢市
福井縣	福井市	福井市

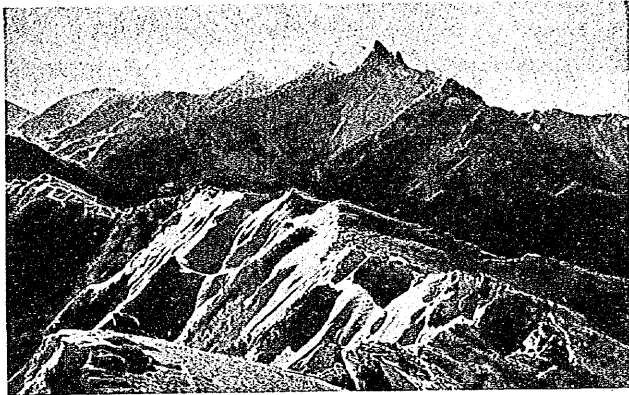
地 山梨縣・長野縣・北陸地方・新潟縣・富山縣・福井縣の三區に分たれる。

二、地形 この地方は南・北・西・東の會する處で、本州中で幅最も廣く、土地最も高い。關東・奥羽兩地方との界に關東山脈・那須火山脈・三國山脈越後



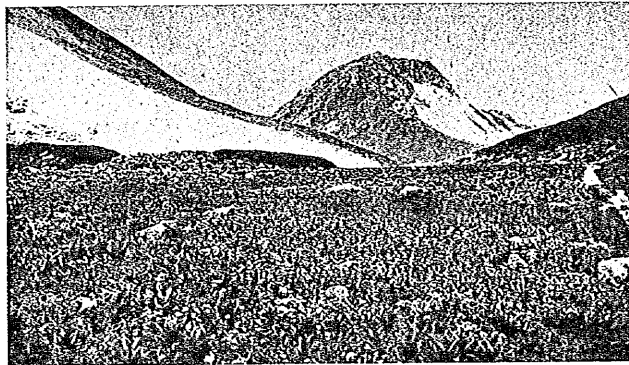
圖形地の方地部中

岳 ケ 鏡



に空青の峰いどるす。米〇八一三さ高で峰高のスプルア北本目
よ見を谷たれま刻く深と様つ立りそそ

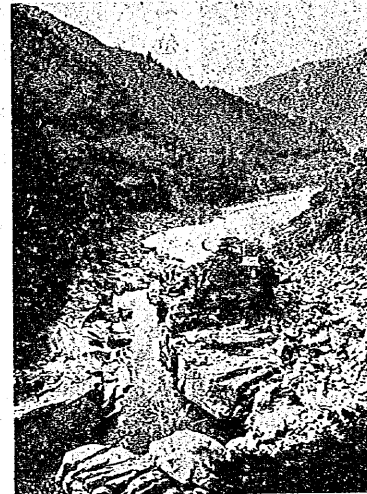
畑 花 御 の 岳 馬 白



時一が物植山高はにッ所い近に頂の山高頃の夏盛
るす景を觀美てつ描き映に

實習 略圖を描い
て山脈・火山脈・
川及び太平洋・
日本海兩斜西の
分水界を記入せ
よ。

第六章 中部地方



本を部一の(めれわ)理節の岩崗花 床の寝寝
るみてつくつを流映てし蝕侵が川會

飛驒高地の北西には、白
山を主峰とする白山火山
脈があつて、西の方山陰地
方に延びてゐる。
川は中央高地に源を發
し、富士・大井・天龍等の諸川
は南流し、木曾川は濃尾平
野を流れて伊勢海に注ぐ。

山脈がある。その西、兩麓山系の間には富士火山脈があつて、内地第
一の高峰富士山(國立)を始め、八ヶ嶽戸隠妙高等の諸火山が聳えてゐ
る。更にその西には、南北に近い方向をとる赤石木曾飛驒の諸山脈
がある。中にも飛驒山脈は最も高峻で、鎗ヶ岳・白馬岳・立山等が聳え
夏尙雪溪があり、高山植物も咲いて、その主部は中部山岳國立公園に
屬する。又茲には御岳火山脈通じ、御岳・乗鞍岳等が聳える。

Figure 1 is a line graph showing the monthly average temperature (in degrees Celsius) for the years 1957, 1958, and 1959. The x-axis represents the months from January to December. The y-axis represents the temperature in degrees Celsius, ranging from -5 to 30. Three lines are plotted: a solid line for 1957, a dashed line for 1958, and a dotted line for 1959. The 1957 line peaks at approximately 26°C in August. The 1958 line peaks at approximately 24°C in August. The 1959 line peaks at approximately 22°C in August. All lines show a similar seasonal trend, with temperatures rising from winter to a peak in summer and then falling back to winter levels.

Month	总人口 (Total)	城市 (Urban)	农村 (Rural)
一	190	80	110
二	130	40	90
三	110	90	20
四	110	190	80
五	190	90	100
六	160	160	100
七	230	130	100
八	230	130	100
九	180	290	190
十	150	120	30
十一	180	80	100
十二	240	230	10

千曲川チク、犀川サイは合して信濃川となつて越後平野を流れ、黒部川、神通川、庄川は富山平野を流れ、共に日本海に入る。これ等の諸川はおほむね急流で、峡谷に富み、水運の便は少いが、次第に發電に利用される。これらの電氣は主に京濱、名古屋、阪神の工業地帯に供給される。

峡谷の中では黒部クベ、富山縣トヨカミ御嶽ミタケ昇仙峽セウセンキョウ（山梨縣、天龍峽、木曾谷、長野縣、恵那峽、岐阜縣）が殊に名高



A black and white photograph of a large volcano erupting. A massive plume of smoke and ash rises from the crater, filling the upper half of the frame. The volcano itself is a large, conical mountain with a visible crater rim. In the foreground, a town or village is nestled in a valley, with several buildings and roads visible. The surrounding landscape consists of rolling hills and fields. The image has a grainy, historical quality.

百四徑往れば呼と釜御は丘口火央中。るす動活に頻年近て由火活い高名は山間淺し甚の動活でろことた見らか澤井輕は岡。るす煙噴に盛し有を口火い割の米十五。るあで様有のきとい

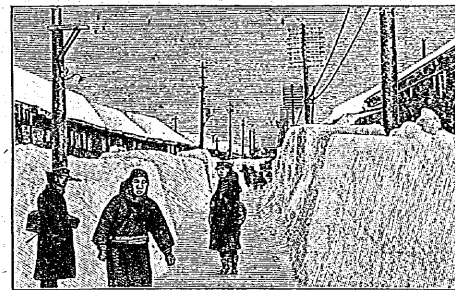
しおが波。たじ通下に下の崖は昔。あるに處る 迫に岸海本日が脈山驛飛は知不親。
あるが名のこでのふいといなら知を親は子。くな暇ふ教に五子親となくてせよ。
いなら通をこでのたれか開が路道や道鐵なうやる 見に中央の圖は今しかし。

風景をもつ。

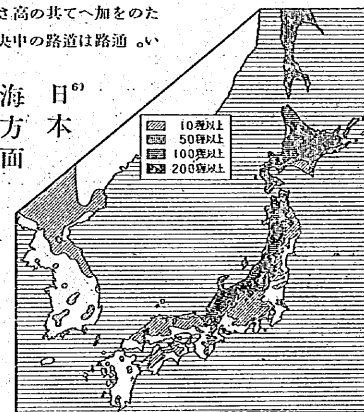
南の支溝渥美灣をもつ伊勢海と、北の小出入に富む若狭灣とは相迫つて本州の地・峽・部をなしてゐる。



十二約さ厚てし氷結面湖季冬 トーケスの湖訪譚
りなと場トーケス好に故。ぶ及にルトーメチンセ
。い多がのもるす遊來は頃の月二・月一



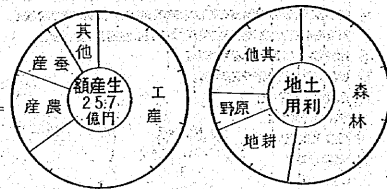
れさ下らか根屋は雪のめ埋を路道・雪深の市田高
し等に根屋の建階二どん殆さ高の其てへ加をのた
。るよにギンガの下軒び及央中の路道は路通。い



積雪の分布(二月)

日本海方面には能登半島突出して富山灣を抱き、太平洋方面には東に伊豆半島があつて、駿河相模の兩灣を分つてゐる。

(年十和昭) 額產生と用利地土の方地部中



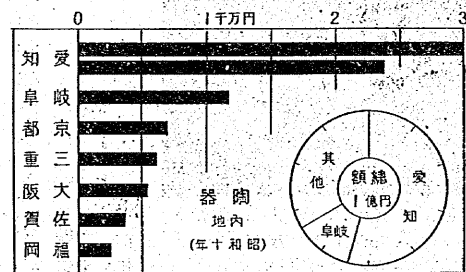
三、氣候 東海地方は位置・地形・海流・風向の關係により氣候一般に溫和で、暖季に雨多く、冬季は晴天が多い。之に反し、北陸地方は冬季に降雪多く、風波が高い。中央高地は、大陸性・高地氣候で、氣溫低く、雨量も少い。

四、産業 この地方は、土地割合に開け、各種の産業がよく發達する。農産では米穀が特に著はれ、越後・富山・濃尾の平野から多く産出する。又南方の暖地には茶果樹の栽培が盛んである。養蠶業は中央高地及び東海地方に多く行はれ、殊に長野・愛知は繭の産額多く、製絲業も従つて盛んである。



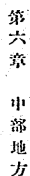
るす適に地斜緩るあ量雨の當相で暖温條氣は樹茶、畑茶
。るあで地産要重の茶出輸、で盛培養はに縣岡靜、らか
。す示を況狀の(刈採機)摘茶の近附岡靜は岡

製造工業は名古屋附近一帯が最も盛んで、織物・陶器・時計等の産が



も盛んである。

は名古屋附近が最も發達する

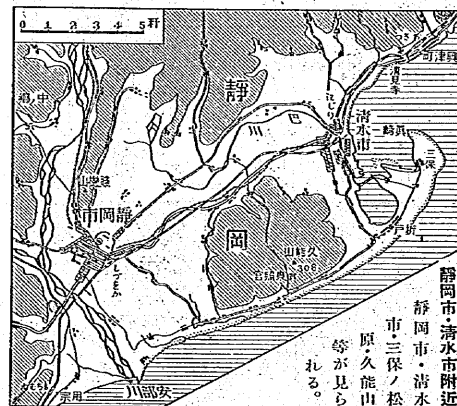


海上交通は太平洋方面に盛んであるが、日本海方面の諸港はアジヤ大陸との連絡上大切である。

六處誌 静岡県 (1) 伊豆半島は火山温泉に富み、熱海市、修善寺最も著はる。南端に近く、下田港があり、諸所に金産地がある。(2) 駿河

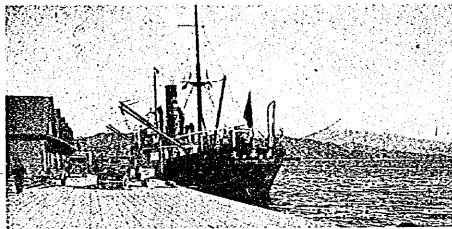


富士山頂火口(約深二三百米・約八米口径) 富士山頂
。(照参明説の輪口)るえ見くよ



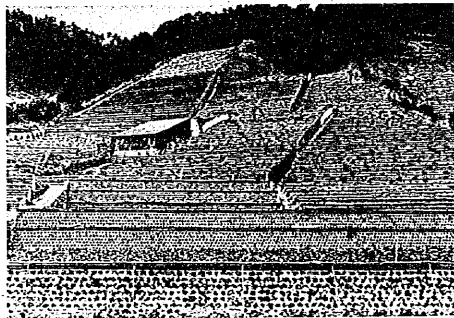
静岡市清水市附近
静岡市・清水市
三保ノ松
原久能山
等が見ら
れる。
灣沿岸は
氣候溫和
風景よく
陸には茶
蜜柑梨等
等の産出
多く海に
は漁利が
多い。
津市は交

清水港



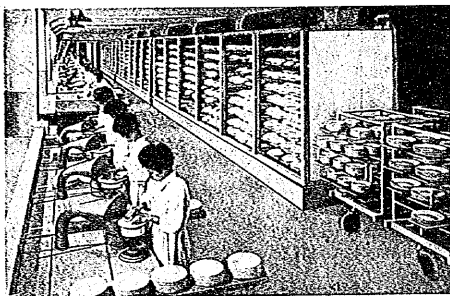
富士山の見える埠頭に横付けされた汽船は、或はアメリカに茶を輸出し、或はシベリヤ、樺太、北海道の製紙用材を運んでくるのである。

苺の石垣栽培



久能山の南麓海岸では高温を利用して苺の促成栽培をやる。岡のやうに南向の斜面に石垣をつくり、石の間に苺を植え、石の加熱を利用する。

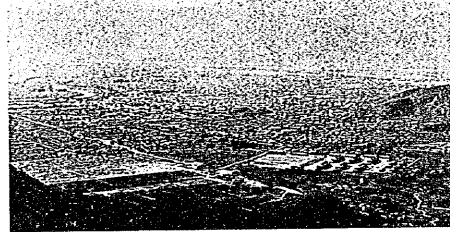
お皿の製造



六四頁のグラフに示すやうに愛知縣は我が國第一の陶器産地である。岡は名古屋市にある工場内部を示す。

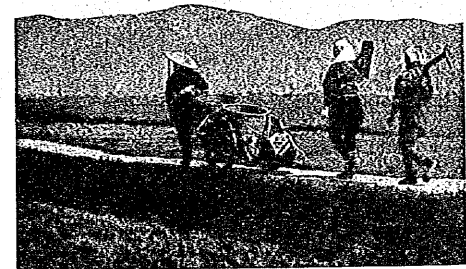
甲府盆地

甲府の東方から甲府盆地を南に望んだところで、遙に御坂山脈が見え、その後ろに富士山も望まれる。



信州高原農民

信州は高原國で、主に農家の副業としての養蚕の盛んなことは、我が國第一である。圖は善光寺平の景観で、男女の農民が桑畑に仕事に出かけるところである。



富士山平野の散居

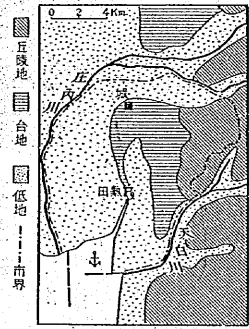
富士平野の西部庄川左岸には多くの農家が米田中に散居して居る。各農家は周囲に杉林を防風林としてめぐらす。圖は井波町と其の前面の散住農家を示す。



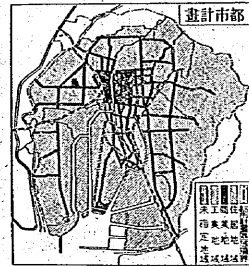
(昭和十三年一月十日)
(第九師司令部許可資料)



第六章 中部地方



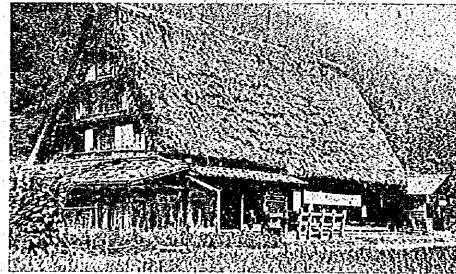
名古屋は三百餘年前、城下町として起り、江戸時代には城から熱田神宮の邊までほぼ三角形に市街が出来てゐた(中圖の地形圖参照)。今もこの大部分が商業地域(下圖)である。現在は市域が大に広がった(十區、面積一五〇万坪、人口約百萬)。陶器・紡織・機械等の大工場は舊市街の北東と南西に多い(六七頁)。外國貿易も築港によつて次第に行はれてゐる。従つて水陸の交通も便利である。なほ市には第三師司令部・醫科大學等がある。上圖は名古屋驛前の大通である。



通上の一中心で大宮附近は洋紙を産する。静岡市では茶の再製及び取引行はれ清水市から之を輸出する。(3)遠州灘沿岸の濱松市附近は工業盛んで綿織物樂器等を出す。三方ヶ原には陸軍の飛行隊があり、濱名湖では養鰻業が行はれる。

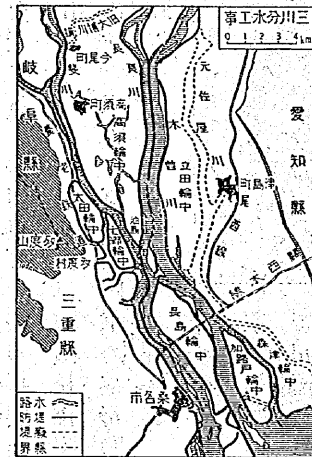
愛知縣 (1)
三河地方の
豊川流域に
は豊橋市矢
作川流域に
は岡崎市が
ある。共に
附近の養蠶
地をひかへ
て製絲が盛

んである。又、岡崎附近は養鶏等も盛んに行はれる。(2)尾張地方の知多半島には醸造に名ある半田市、貿易港武豊がある。名古屋市は米・野菜の大産地、濃尾平野の中心をなし、中部地方第一の商工業都市である。近傍には有松・瀬戸市・一宮市等の工業地がある。



飛騨白川の家

岐阜県 (1)美濃地方の主要地は濃尾平野の部分である。大垣市は織物を産し、岐阜市は鵜飼に名高い、長良川に臨み、織物紙製品等を出す。岐阜の東方は陸軍の飛行隊北東方には美濃紙の

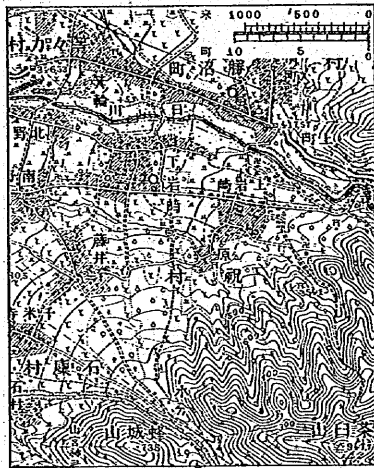


▲大垣市の附近に赤坂(大理石の産地)・関ヶ原古戦場・養老ノ滝がある。

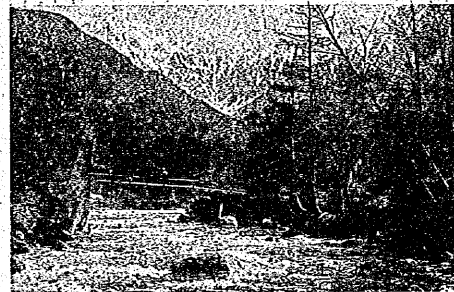
集散地、美濃町がある。鐵道中央本線に沿ふ多治見附近からは陶器の産が多い。(2)飛騨地方は中央高地に属し、一帯に土地高く、山深く、交通不便であるが、高山線の開通によつて開發が次第に進むであらう。高山市はその中心都市で、附近には養蠶及び林業が行はれる。山梨縣 (1)桂川流域の郡内地方は養蠶行はれ、生絲・絹織物(絹)の産がある。(2)富士川流域の甲府盆地は米作、養蠶、葡萄栽培にあらはれる。甲府市はその中心都市である。

桂川の發源する山中湖及びその西方の河口湖等の富士北麓附近は景色がよい。

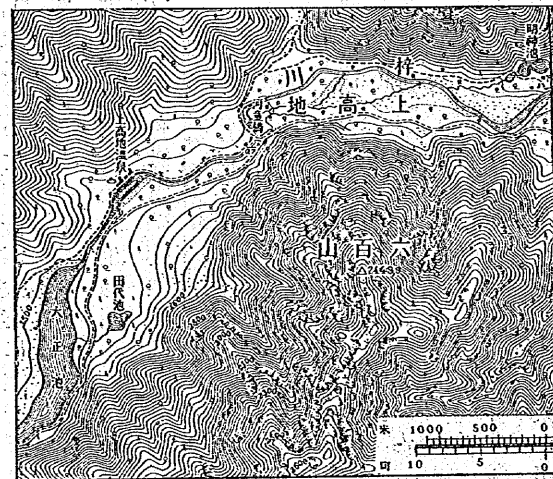
長野縣 一般に養蠶が盛んで、各地に製絲工場が多い。(1)木曾川流域、木曾谷は風景



(地形図) 近附沼勝



(橋高穂と川梓) 地高上



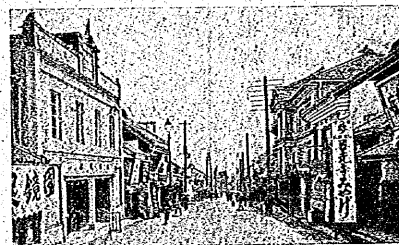
(図形地河川) 近附地高上

と美林に名高い。(2)天龍川流域は伊那谷と諏訪盆地とに分れ、飯田市は伊那谷の中心都市である。又、諏訪湖畔の岡谷市は製絲業の大中心をなす。(3)信濃川上流の犀川・千曲川流域には所々



善光寺平(右)と長野市(下)

下図は停車場から善光寺に通ずる道路で道の突當りが善光寺である。宿屋・名産屋等の多いのを見よ。宗教都市の特色が表はれてゐる。右図で長野市の位置を見よ。



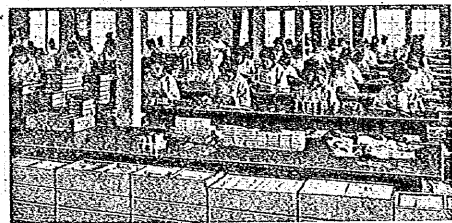
に平とよぶ盆地がある。松本市・上田市・長野市は夫々の平の中心都市をなす。長野市は宗教都市・佛都である。

新潟縣 (1)北東部の越後平野は米の主産地で東山西山には石油の産出が多い。信濃川河口の新潟市

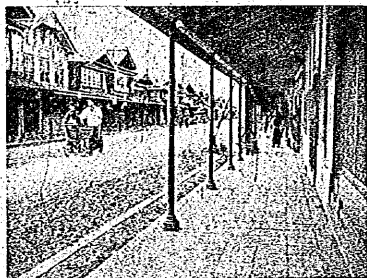
は縣廳・醫科大學等の所在地で、日本海岸中の古い開港場で、工業も興つて來たが、質



富山近附に見た立山連峯



。ろことるゐでん包を薬丸が工女 所薬製の山富



はに軒、けむを風破に路街は家 街市岡長
てれら造がのもなうやの下廊ふいとギンガ
。るあでらかい多が雪に冬。るわ

の相川附近からは金を産する。

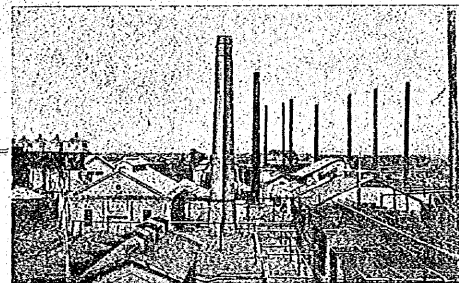
富山縣 (1) 富山平野¹⁸の米の産地で吳羽^{クハ}丘陵^へ以東の平野の中心は神通川に臨んだ富山市^{トヨヤマシ}であつて、特に賣藥の産に名高い。富山平野西部の中心は高岡市^{タカオキ}で、商業が盛んである。北



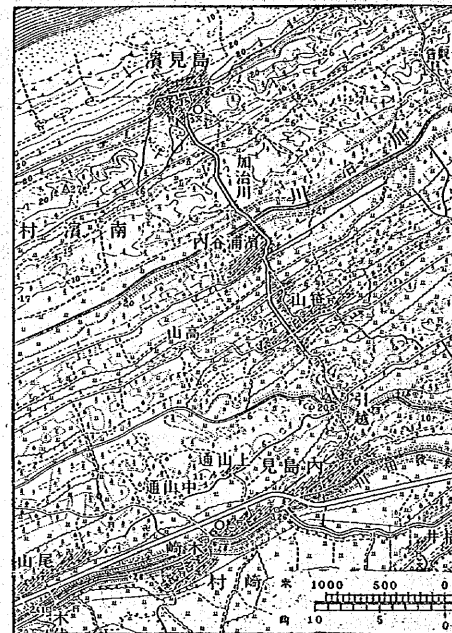
富山山近



富山製藥所 女

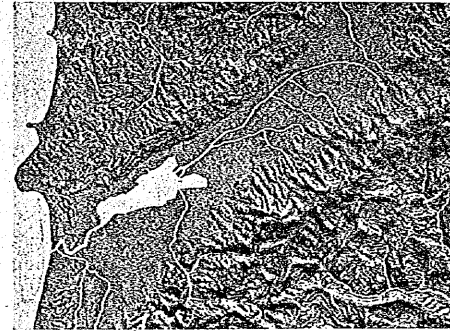


上み汲でブンボロか井油石の近附を油原 所油製湯新
重・油燈・油輕、てへ加を熱り送に所油製の此で管鐵け
。つ分に等油



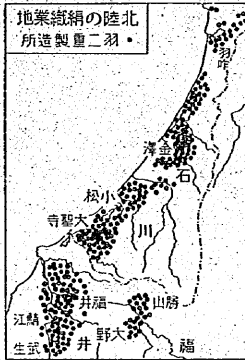
を方東の川賀阿、(岡形地測陸)丘砂岸海の野平後越
ん並に事見が列地低の間の其と列丘砂の條數。す示
るすりきつはが觀量の其とるす色着を田米。るゐで

易は振はない。近時、北朝鮮との間に定期航路が開かれた。信越本線に沿ふ長岡市と三條市とは商工業の二中心である。(2)西部の高田平野は荒川流域を占め、こゝに高田市がある。(3)佐渡島には中央に小平野を挟んで、二列の山脈がある。兩津夷は東京の良港で、西岸



(よべ比と図附) 溝地昨羽

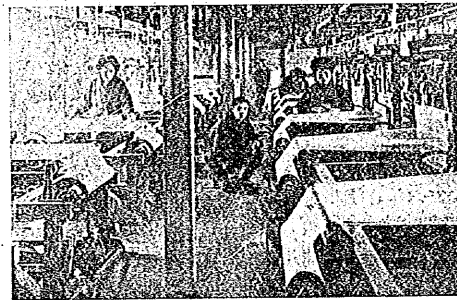
におこつてゐる。
石川縣 (1) 丘陵性の能登半島には羽咋
地溝の東端に開港場七尾と、北岸に漆器
の産地輪島とがある。(2) 加賀地方の金
澤市は日本海沿岸第一の都會で、師團司
令部、醫科大學等があり、漆器、陶器等を産
する。金澤市附近から小松、大聖寺附近
は絹織物、人絹織物の製造が盛んで、又小
松附近は九谷焼産地の中心をなす。山
代、山中は何れも名高い温泉場である。
福井縣 (1) 北部の福井、平野、大野盆地には羽二重人絹織物、富士絹等
の機業が盛んで、福井市はその中心をなす。南方の武生は紙蚊帳を
出す。(2) 若狭灣沿岸は小出入に富んで、風景はよいが、後背地が狭い
ため、敦賀の外は大きな港は發達してゐない。その中で小濱がやゝ



地業絹綿の陸北
所造製重二羽・

び北朝鮮諸港との間に定期航路がある。
問題 東海地方中央高地、北陸地方を對比せよ。

著れてゐる。敦賀市は貿易港で、對岸ウラヂボ、ストック及



(市井福) 場工重二羽

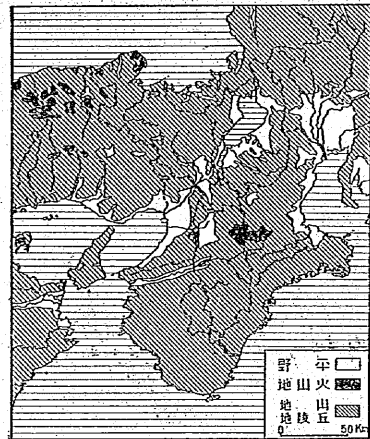
行政区劃	府縣名	府所在地
滋賀	大津市	大津市
京都	京都市	京都市
大阪	大阪市	大阪市
兵庫	神戸市	神戸市
奈良	奈良市	奈良市
和歌山	和歌山市	和歌山市
三重	津市	津市

第七章 近畿地方

面積 三九、六〇〇平方人
人口 三、九〇〇萬人
人口密度(平方人)

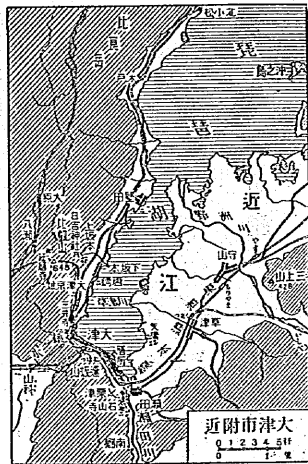
一、位置區分 近畿地方は古への畿内及び附近の地方で、本州の東西方向部の中央を占め、行政上は二府五縣に分たれ地理上は北西部中央部南部の三區に分たれる。

二、地形 (1)北西部は中國山脈の東部で高原性山地をなし、海岸平野



近畿地方の地形圖

は南方の播磨平野が主である。若狭灣沿岸は小出入に富むが、播磨灘沿岸は概ね砂濱である。(2)中央部には伊吹鈴鹿笠置生駒金剛和泉等の低い地、壘山脈多くは南北に走り、其の間に陥没で出来た近江伊賀京都奈良の盆地及び伊勢平野大阪平野がある。琵琶湖は我が國最大の湖で、その水は淀川となり、京都盆地大阪平野を流れて大



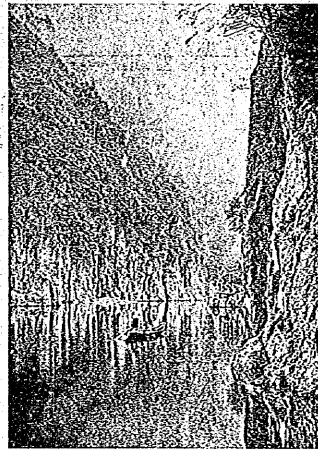
琵琶湖 面積六七五平方軒湖面は海拔八六米である。近江盆地の諸水はこゝに集まり瀬田川となつて流れ出る。下関の如く南郷に洗堰を設けて、水量を調節し、又こゝから宇治川水力電気會社の宇治川發電所へ水を分つ。湖上の交通は大阪市を中心とし、大津京都間には疎水がある。漁利も多い。又風景のよいので名高い。



南郷の堰湖

三、氣候

日本海岸の氣候は北陸地方に似、中



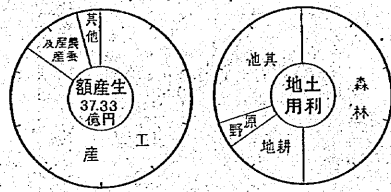
丁八瀬 北山川が峽谷を所すにある。数町の間の勢水が緩やかで水をはへた。雨の岸樹木石之に映じて曇り色がよい。

央の盆地はやゝ大陸性であるが、伊勢海大阪湾・播磨灘の沿岸は溫和である。紀伊半島は本州の最南端に當る故、氣溫高く降水量多く、植物も亞・熱・帶・性・のものがある。

實習 左の數字で六一頁のやうな氣溫降水量比較表をつくつて説明を加へよ。

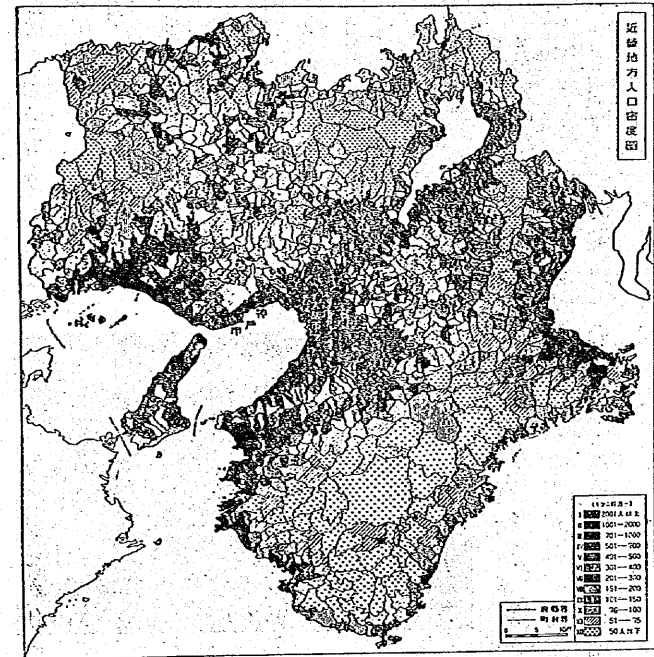
氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
宮津	五.五	六.五	七.五	八.五	九.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	九.五	八.五	七.五	六.五	八.五
大阪	五.五	六.五	七.五	八.五	九.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	九.五	八.五	七.五	六.五	八.五
湖岬	七.五	八.五	九.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	九.五	八.五	七.五	六.五	八.五
降水量	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
宮津	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五
大阪	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五
湖岬	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五	一〇.五

四産業 この地方は我が國で最も早く開けた處であるから、人口稠密で、産業もまたよく發達する。諸平野は米・麥・蔬菜等を産する。京



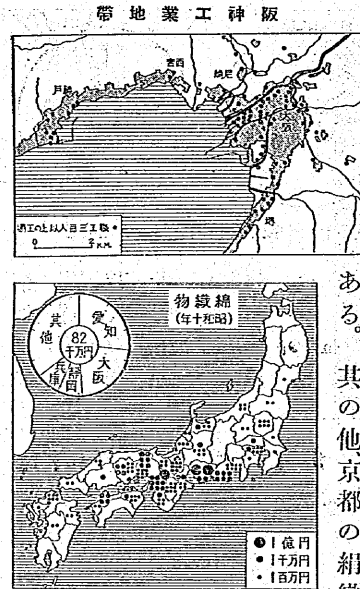
(昭和十一年) 近畿地方の土地と生産額

都附近の茶・竹・筍・松茸・大阪和歌山附近の蜜柑・葡萄等は共に栽培盛んである。南部の山

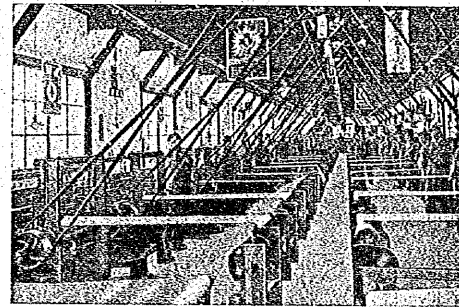


地は氣候が溫暖多雨であるから樹木よく繁り、杉の良材を出す。鑛産は少く、生野

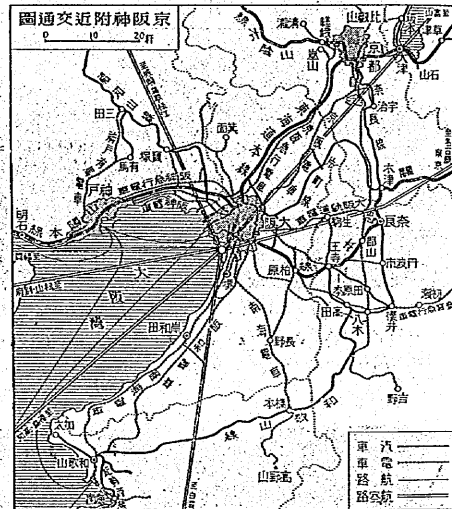
兵庫の銅・金・銀・明延^{スズ}・兵庫の錫が稍著はれてゐる。沿岸は水産多く、殊に熊野灘・志摩半島の沿岸は漁獲物^{水産物}が多い。大阪を中心とする大阪湾沿岸地方は我が國の大工業地帯で、綿絲・綿布をはじめ、メリヤス・毛織物・マツチ・肥料・薬品・機械・雜貨等の製造が盛んである。其の他京都の絹織物・染物・陶器等の工



ル・滋賀縣の人造絹絲・麻織物等が著しい。大阪は東京と相並んで、内國商業の一大中心で、又神戸・横濱と共に外國貿易の大中心である。

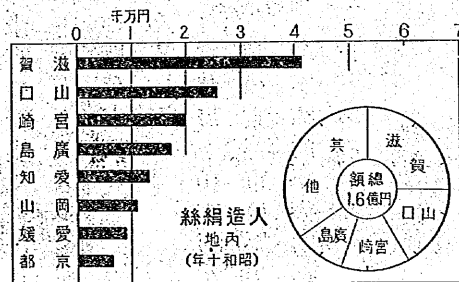


(都京) 場工織陣西



よせ入記に上圖を同時するに點地な主ちか阪大 習實

達し、神戸・大阪は内外航路の重要な起點となつてゐる。航空路は大阪を中心として東京・福岡等に通じ、無線電信は大阪中央電信局^{知愛}、兵庫縣小野受信所^{知愛}で對歐・對南洋通信を取扱ふ。



六處誌 滋賀縣

琵琶湖の東部は平野稍廣く、米麥の産多く、茲に長濱の産地、米原、彦根市、八幡等がある。湖南の大津市は湖上運輸の起點で、人造絹絲の産多く、京都との關係が深い。其の北西の比叡山には延暦寺がある。



大津市附近。琵琶湖の東部は平野稍廣く、米麥の産多く、茲に長濱の産地、米原、彦根市、八幡等がある。湖南の大津市は湖上運輸の起點で、人造絹絲の産多く、京都との關係が深い。其の北西の比叡山には延暦寺がある。



比叡山の麓に延暦寺がある。山の上には山本總の宗廟天で利古。す示を線ルブーケの(面方都京)口

京都府 (1) 京都盆地の京都市は歴史的美術的學術的都市である。

京都市は盆地の北東隅、山河襟帶の地に桓武天皇都を奠めたまひて以後、明治に至るまで一千餘年間帝都の地

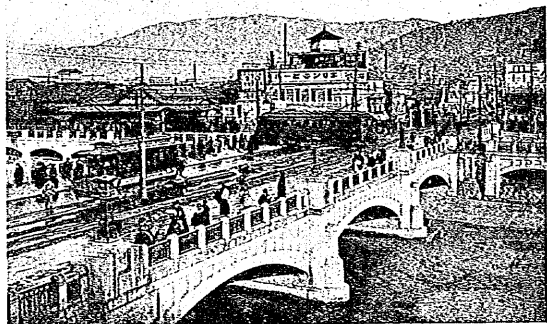
京都御所
正面は南の正門で建禮門。
その後の承明門。



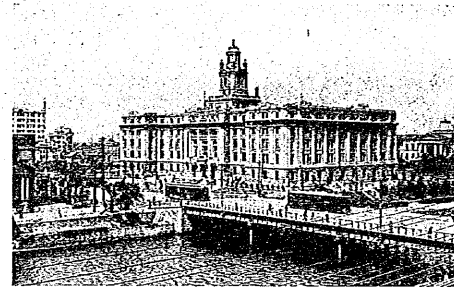
桃山御陵
明治天皇を祭り奉る。



京都市街
四條大橋を示す。川は賀茂川。

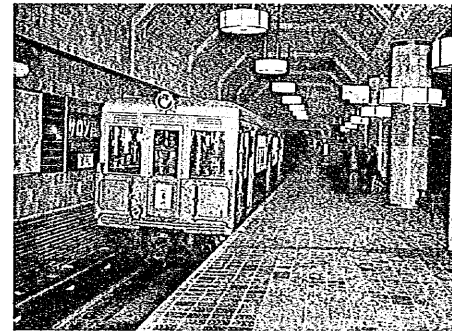


大阪市



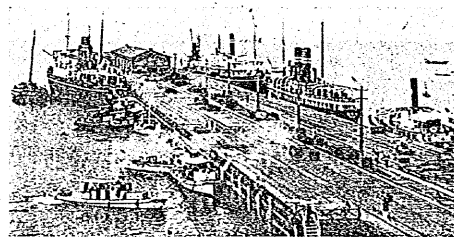
大阪の都心。中ノ島にある。圖は其の全景で、川は土佐堀川、橋は淀屋橋。市役所の向ひの建物は日本銀行大阪支店。

地下鐵道

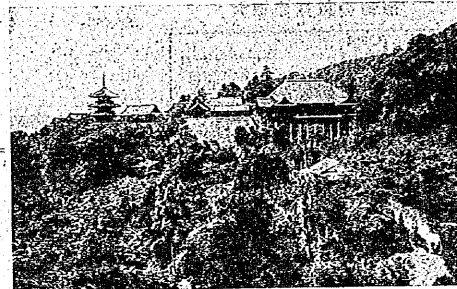


大阪驛から南に通ずる地下鐵道で、都心部の船場・島之内の地下を走つてゐる。

大阪港



大阪港はもと安治川口を利用し築港によつて面目を新にした港である。そして客船航路もあるが、むしろ貨物の出入を主とする港である。



清水寺 京都の山中にありて眺めよ。

であつた。市街は東に移り古の左京が今の中心となつてゐるが條劃よくとのひ交通の發達にとまひ今や市域大に擴がり面積二八九方呎七畝、人口百萬となつた。市の内外は風景よく、且史蹟社寺が多いから觀光客は四時絶えない。美術工藝は古來榮え西陣織八二夏友禪染清水焼等の産がある。市は關西の學府をなし大學をはじめ各種専門學校博物館等がある。なほ市には京都府廳第十六師團司令部も置かれてゐる。南部の伏見は今は京都市の一部をなす。

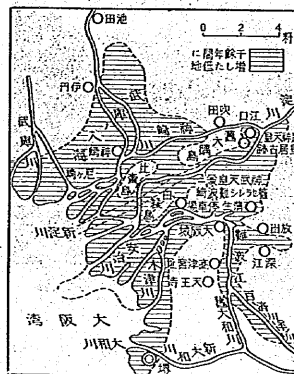
(2) 丹波丹後の高原には養蠶行はれ福知山市はその中心で、峯山附近は縮緬を産出する。(3) 若狹灣沿岸の中舞

鶴は海軍の要港で、宮津は開港場、その近くに天橋立の勝地がある。大阪府 全國府縣中面積は最小であるが人口は東京府に次いで第二位である。大阪府は各種の工業が盛んで、商業もその繁榮東京を凌いで帝國の首位にある。従つて交通も盛んである。

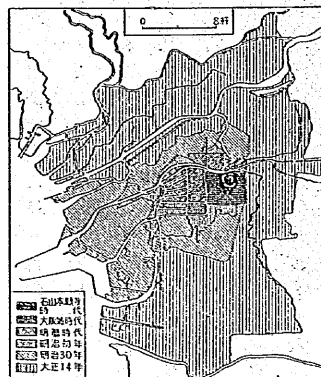
大阪市は瀬戸

内海の東端、淀川の三角洲平野にある。市街は約四百年前、當時の淀川河口南方の低い丘陵の端に本願寺の門前町

形地の近附市阪大



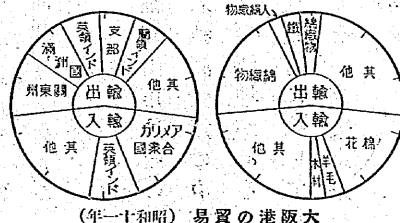
達發の域市阪大



圖劃計市都阪大



として起り、ついで豊臣氏のときは城下町として榮え江戸時代には純粹の商業都市として約四十萬の人口があ



(年一十和昭) 易貿の港阪大

つた。明治以後水陸交通の發達につれ商工業は盛榮え市域も次第に擴がり、今や約三百萬の人口を有する世界的の大商工業都市となつた(十五區面積一八五方軒。中ノ島から南へつゞく邊は都心で、大きな會社商店等が多い。造幣局陸軍工廠紡織藥品肥料硝子セルロイド其の他の大工場は北部から西部に多く、東部から南部方面は住宅地が多い。市内は運河縦横に通じて水運の便よく築港も出來て外國貿易は神戸横濱に次ぎ主に内地沿岸航路の起點になつてゐる。陸上交通も鐵道電車の發達によつて頗る便利である。な

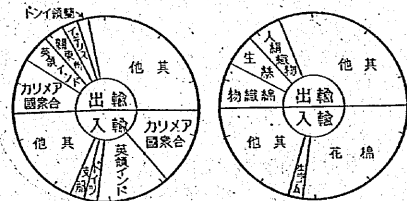
低市には府廳第四師團司令部大學等がある。

大阪市の南にある堺市は綿絲足袋等の工産多

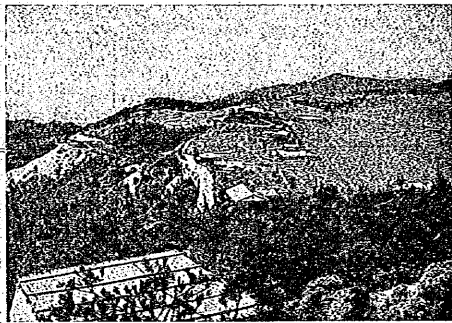
く、岸和田市附近には紡織が行はれる。布施市と

豊中市は何れも大阪近郊の住宅都市である。

兵庫縣 (1)大阪灣沿岸の神戸市は我が國第一の貿易港で工業も盛んである。



(年一十和昭) 易貿の港戸神



六甲山の上のフルゴ場

神戸市は六甲山脈の南側の細長い海岸平野を占める。港は和田岬と舊湊川三角洲舊生田川三角洲によつて、兵庫神戸の二灣に分れる。兵庫の方は古く開けたが今は内國航路に用ひられる。神戸の方は横濱と同じく約八十年前に外國に開かれてから急に盛んになつて、全市の中心をなし港の諸設備よくとなふ。造船所紡織マツチ其の他の工場も多い。市街は海岸から山麓へ商業區住宅區と移つて行くが、山が急なので海岸に沿うて東西にのびてゆく。之を八區に分ける。西端の須磨區は風景氣候のよい住宅地で、その東の林田區は工業區である。市の人口約九一萬面積八二方料。縣廳商業大學市外等

もある。

神戸市と大阪市との間は氣候風景共によく交通も便利であるから、住宅地として發達し、工業も所々に起つて居る。尼崎市は綿絲布



言野川の流上より伐り出し杉・檜を等袋。に流すことである。

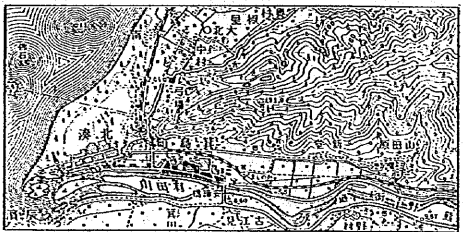
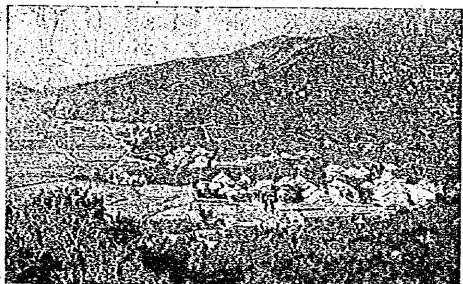
肥料硝子等を出し、西宮市は清酒業の中心である。(2)播磨灘沿岸は農業が盛んで、工業も所々に起つてゐる。東部に明石市、中部に姫路市、第十師團司令部、西部に龍野^{龍野}、赤穂^{赤穂}産地がある。(3)日本海斜面の但馬は養蠶と牧牛に著はれる。豊岡は杞柳細工を産し、その北の城崎は温泉で名高い。(4)淡路島は農耕よく開け、洲本^{洲本}、由良^{由良}等の小都市がある。



大和西瓜の収穫に並べたて

奈良縣 (1)北部の奈良盆地には西瓜賣藥を産する。盆地内には京都盆地と同じく歴史上の遺蹟が多い。奈良市は盆地の北東隅に位し、春日神社、東大寺正倉

院、帝室博物館、女子高等師範學校等がある。盆地の西部には郡山、金魚、法隆寺、南部には神武天皇の御陵、橿原神宮、談山神社等がある。(2)南部山地は吉野杉の産地でその入口の吉野は吉野朝廷の舊蹟と櫻花とて名高い。和歌山縣 (1)紀川流域の門戸、和歌山市には綿ネル機業行はれ、名勝地、和歌浦がある。海南市は漆器傘を産し、東にはるか離れて高野山がある。(2)それより南は大部分山地で、有田



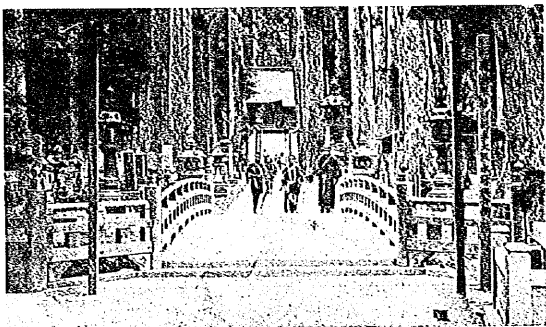
紀州蜜柑 左上図は有田川沿岸の蜜柑畑を示したものである。この附近は紀ノ川沿岸と共に紀州中その栽培最も盛んである。山に階段のやうになつてゐるのは皆蜜柑畑である。河岸平野は米田となり、聚落は山麓帯にある。下の地形図と比べよ。

吉野山

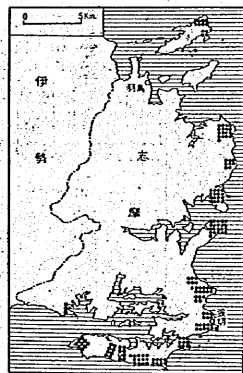
「花よりあくるみよしの」の中の千本の櫻の満開の景観で、西方から四月中旬に寫したもの。左方中腹にあるのが如意輪寺である。



奈良公園の入口で、左に見えるは興福寺の五重の塔、右の方の家は宿屋。猿澤池には鯉や亀が多くて、遊覧客の興へる所に集つてくる。春秋の晝は給のやうである。



高野山は約八百米の高原上にある宗教都市で、金剛米寺を中心に多くの増坊と民家とがある。この岡の橋は弘法大師廟の前の玉川に架する。是より以内は木立深く最も清浄の區域である。



(八十二點一) 布分の女海

川流域は紀州蜜柑の本場として名高く、熊野川口の新宮市は木材の集散地である。沿岸は一般に漁利に富む。住民は進取の氣象旺盛で海外に發展するものも多い。

三重縣 (1) 伊勢平野はこの縣の主要地で、主な都市は南北に並ぶ。桑名市は揖斐川の口にあつて鑄物を産し、四日市市は開港場で、綿絲布陶器等を出す。津市は商業の中心の松坂市と共に、綿織物を産する。宇治山田市は神都で、参拜人が四時絶えない。近傍に二見ヶ浦の勝地がある。

(2) 熊野灘沿岸は小出入多く漁業盛んで、眞珠の養殖も行はれる。志摩半島の鳥羽は自然の良港、波切は漁港である。

(3) 伊賀地方の上野は伊賀盆地の中心都市で傘の産が多い。

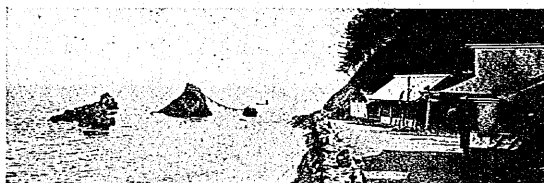
問題 近畿地方の北西部中央部南部を比べよ。

伊勢神宮の神苑



樹老は内境。い厚てめ極が敬崇の民國は廟大勢伊
で部一の苑神の宮内は國。るあで城の淨清てつ茂
す示を場洗手御の川鈴計十五

二見ヶ浦



通が車電間のそてつあに方東軒六約らか市田山治宇
も望遠のらかここ。るあで岩婦夫い高名は國。るず
いよかなかな

女海



ゐてつとを等メカワエザサが女海で岸海の島半摩志
るあでることる

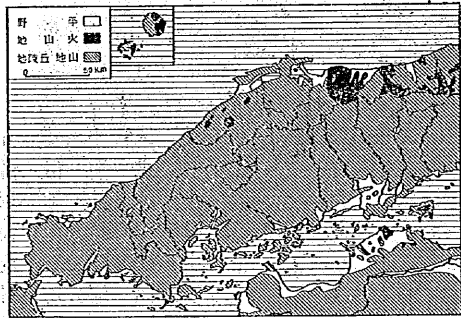
第八章 中國地方

面積 三三九方千米
人口 三〇〇萬人
人口密度 (方千米)
一八人

一位置區分 本州の西端に位し、瀬戸内海を隔てて四國・九州と相對してゐる。行政上は、五縣に分たれ、地理上は、山陰・山陽の二區に大別される。

二地形 高原性の中國山脈廣く東西に連なる故、平野一般に少く、分水界は概ね北に偏し、山陰・山陽の兩地方を分つ。尙山陰地方には白山・火山脈に屬する大山・公山・三瓶山等がある。川は自ら南北に分流し、日野・斐伊江の諸川は日本海に、吉井・旭川・邊太田の諸川は瀬戸内海に注ぐ。日本海岸は中部の島根・半島附近の外は出入少く、隱岐の外は島も少いが、瀬戸内海は屈曲に富み、島も多く、碇泊地が少くない。又、波穩かて古來交通上の要路をなし、船舶の往來が多い。

中國地方の地形圖

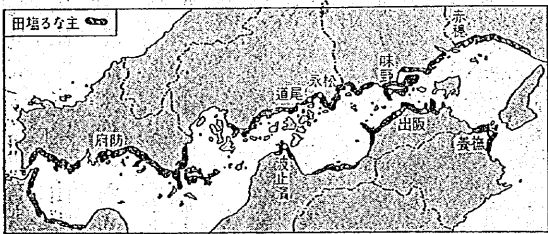


行政區劃	
府縣名	所在縣
岡山府	岡山市
広島府	広島市
山陰府	松江市
山陽府	姫路市

瀬戸内海と仙島



鹽田の分布



瀬戸内海

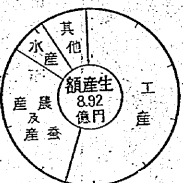
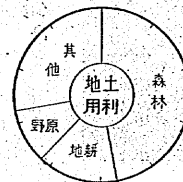
瀬戸内海は土地が落込んで出来たもので、數多の島はその残りである。風景がよいので、その中部は國立公園となつてゐる。内海は半島や群島に界せられて、大阪灣・播磨灘・備後灘・安藝灘・廣島灣・伊豫灘・周防灘に分れる。沿岸は氣候溫暖で交通の便がよいから、各種の産業發達し、殊に製鹽は内地總額の約九割を占める。海は靜かで、交通や漁業も盛んである。附近の人々は海に親しみ、海外に移住し、又遠洋漁業・航海業に従ふものが少くない。

三、氣候 山陰地方は冬季北西風多く吹き、雪を伴ひ、寒暑の差は少いが、一年を通じて雨がが多い。山陽地方は氣候一般に溫和で、割合に雨少く、製鹽に適するが米作のための溜池が多い。

實習 左の數字で、二六頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
廣島	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四
山陽	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四
山陰	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四	五・四
降水量	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇	一・〇

四、産業 山陰地方は交通不便で、中央の文化に遠ざかつてゐたため、山陽地方に比べて人口密度、産業の進歩が劣つてゐる。農業よく發達し、米、麥、果實等の産多く、又山陽の中部地方からは繭を出す。養蠶も次第に行はれ、



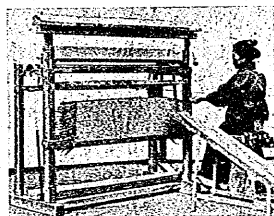
額産生と用利地土の方地國中 (年十和昭)

山陽地方に比べて人口密度、産業の進歩が劣つてゐる。農業よく發達し、米、麥、果實等の産多く、又山陽の中部地方からは繭を出す。養蠶も次第に行はれ、

り刈草蘭



りお表蠶

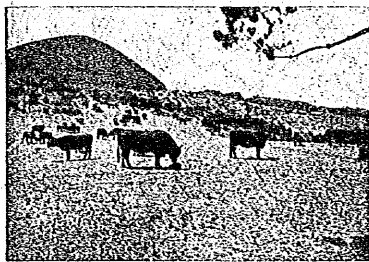


牧牛も高原に盛んである。鑛産は山口縣の石炭や各地の花崗岩が主なものである。内海沿岸の各地には製鹽行はれ、水産は日本海、内海共に多く、山口縣の鯛、隱岐の鰯、廣島の牡蠣、名高く、朝鮮近海に出漁する。

開港場
徳山・尾道・下関・山口・萩・宇野・濱田

るものも少くない。工業は次第に發達し、農産・工業は全國の首位を占め、又綿織業を大規模の工場が各地に設けられてゐる。内國商業は概ね大阪の商圏に屬し、外國貿易は徳山に稍盛んである。

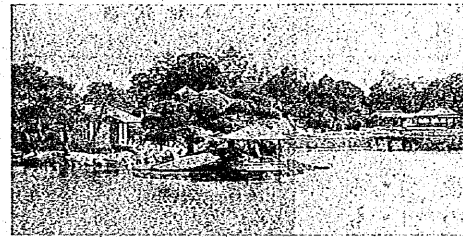
五、交通 本州の幹線山陽線は山陽を縦貫し、山陰線は山陰を貫いて互に連絡する。又、下



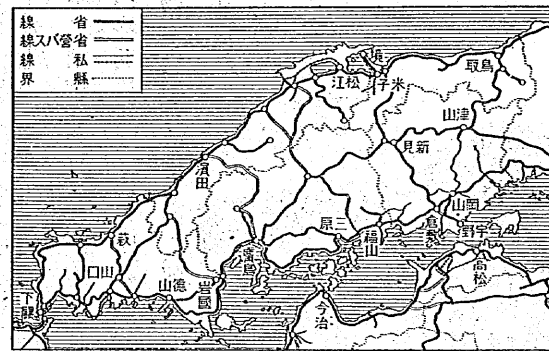
(近附の山高彌縣山岡)牧・放

關から鐵道連絡船で九州朝鮮の鐵道との連絡もよい。高原を南北に横ぎるものには、東に因備線中國鐵道伯備線西に山口線美禰線があり、高原内の盆地を東西に連ねる鐵道も次第に延び、之と相まつて自動車交通も發達してゐる。海上交通は山陽に盛んであるが、山陰は之に反する。

六處誌 岡山縣 (1) 諸川の下流には平野開けて米麥葡萄實等の栽培が行はれる。岡山市は旭川に跨り、商業交通文化の中心をなし、纖維工業等も盛んで

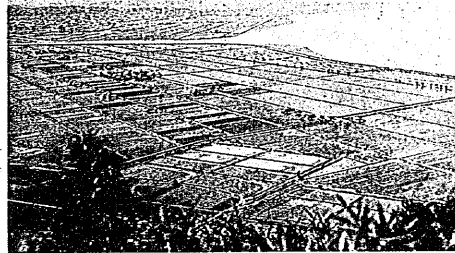


高名て以を美の工人。るあに部東北の市山岡・國樂後街市。るえ見が関守天の城舊はにふ向。るあで岡公い。るあでのたし達發てしと町下城に方西の城のこに主は



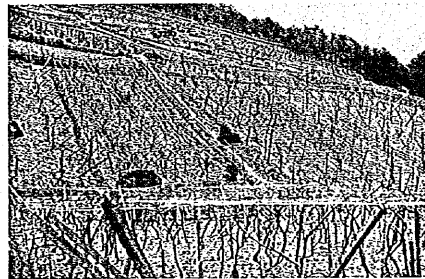
圖布分道鐵

場 農 島 兒



左圖は一〇三頁の地形圖の下方圖外にある常山から見た景観で、右方が兒島灣、中央で之に注ぐ川が倉敷川。川より手前は高崎農區である。

岡 山 附 近 の 栗 樹 園



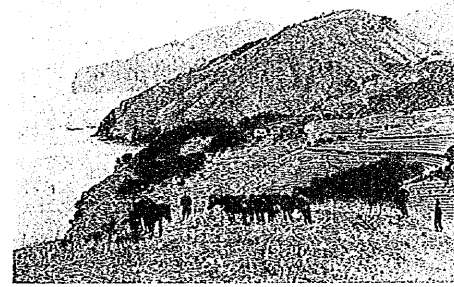
岡山縣南部の丘陵地には桃・梨・葡萄・柿等の栽培が盛んである。岡は山腹で開墾して梨を作つてゐる状況を示す。

臺 吉 秋



山口縣の秋吉臺は長さ二〇軒、幅八軒の石灰岩臺地である。岡はその一部で、臺地狀の地形や、石灰岩塊が多く轉がつてゐることや、樹木の少いことなどが見られる。

煙 牧 の 岐 隠



牧場とは土地が或期間には牧場となり、他の期間には畑地となるものである。左図は隠岐の島前にある牧場で、牛の牧場と畑地とが見られる。

洲 角 三 の 野 平 雲 出

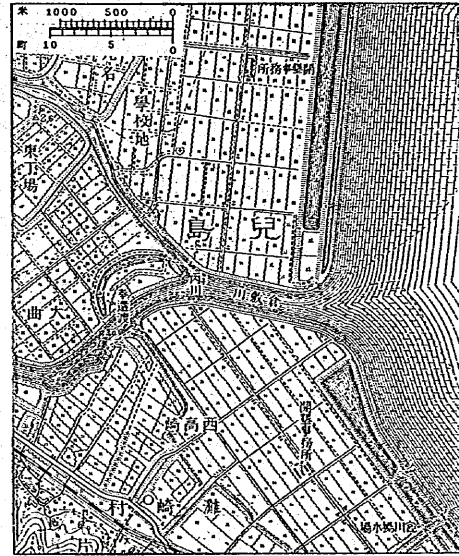


斐伊川の三角洲が宍道湖に延びてゐるところ。

家 農 の 野 平 雲 出



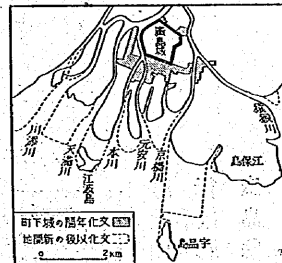
島根半島と中国山脈との間には中海や宍道湖を含む低地帯(地溝帯)がある。出雲平野は宍道湖の西方にあつて斐伊川・神門川の造つた沖積平野である。左図は中国の三角洲上に散居する農家で、西と北には防風林(松)がめぐらされてゐる。



(図形地測陸) 拓千の灘島兒
のもたし拓千の組田藤に年五四らか年二三治明
ぶ及に歩町七四三一地耕で

醫科大學がある。倉敷市も商工業交通の一中心をなし綿布綿絲人造絹絲等を生産する。その西の玉島笠岡にも紡績業が起つてゐる。兒島灣内には干拓地開け、宇

野は四國への連絡港である。(2)高原内では主として農業と牧牛が行はれ、津山盆地勝山盆地の中心都市は津山市と勝山である。廣島縣高原山地廣く耕地の少い割に人口密度が大であるから、農業は多角的になり、工業も次第に起つてゐるが、一方に海外への出移



市の前年十三百は國のこ 市島廣
。す示を達發の地土の後のそ、と街
ひに上洲角三のこはほは街市の今
。るゐてつがる

太田川の三角洲を占め、中國第一の都市で、第五師團司令部文理科大學等があり、商工業も盛んである。その港(宇品)は日清日露等の戦役に軍隊輸送の重要地點となつた處である。その南西方に日本三景の一の嚴島がある。(2) 高原では牧牛行はれ三次盆地の中



養園を鶏・牛・豚・羊細で場畜種、場牧塚七
。るゐてし

民もかなり多い。(1) 海岸地方の備後方面には工

業都市の福山市、三原市と、商港の尾道市がある。

安藝方面には呉と広島とがある。呉市は有名な

軍港で、第二海軍鎮守府と大規模な造船所、製鋼所

があり、西方の江田

島には海軍兵學校

がある。広島市は

太田川の三角洲を占め、中國第一の都

市で、第五師團司令部文理科大學等が

あり、商工業も盛んである。その港(宇

品)は日清日露等の戦役に軍隊輸送の

重要地點となつた處である。その南

西方に日本三景の一の嚴島がある。

(2) 高原では牧牛行はれ三次盆地の中

心に三次がある。

山口縣 (1) 山陽方面では錦帯橋で名高い岩國

附近には人絹工業起り、徳山市には海軍燃料廠

や曹達工場がある。防府市附近は製鹽の中心、

宇部市は石炭の産多く、山口市は山口盆地の中

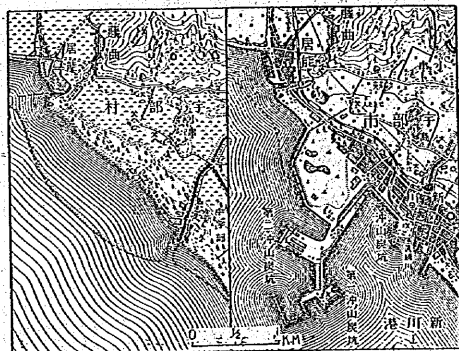
心である。下關市は瀬戸内海西方の門戸をな

し、水陸交通の中心で、水産物の集散も多い。市

に屬する彦島には工場多く設けられ北九州工

業地帯の延長をなす。(2) 山陰方面の萩市は明

治維新の功臣を輩出した舊城下町で夏蜜柑の



量測の年一十正大は國右、年十三治明は國左 市部宇
に急年近てつな伴に發開の田炭部宇は市本。るあで國
。るれら知が事たつなにん盛

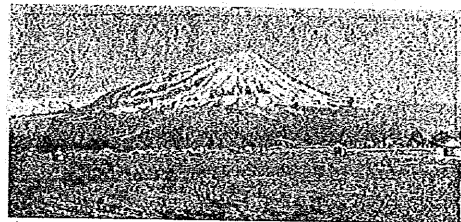
産が多い。

島根縣 (1) 出雲地方の松江市は宍道湖を控へて風景がよい。湖西

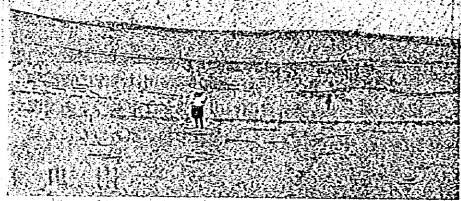
には平野ひらけ、その北西隅の大社には有名な出雲大社がある。(2)

石見地方の濱田は開港場で、この方面第一の都市である。(3) 隱岐島

は島前島後に分れ、近海には鳥賊の漁獲多く、島後には西郷港がある。鳥取縣 (1) 東部千代川流域の鳥取市は製絲業が行はれる、(2) 中部天神川流域の倉吉はその中心都市で、東方に三朝温泉がある。(3)



(ることた見らか驛山大) 山 大



(方北の取島) 丘砂坂濱

西部日野川流域の米子市は商工業交通の中心、夜見濱の先の境は貿易港である。問題 山陽地方と山陰地方とを比べよ。

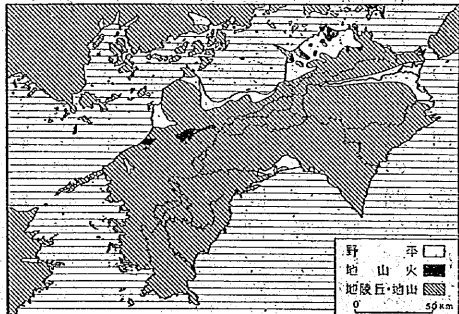


あでることた見を分部の東の街市らか址城舊 市江松
が山火山大の高最國中に造又え見がれ流の川橋大。るえ見

行政区劃	
縣名	縣所在地
徳島	徳島市
香川	高松市
愛媛	高松市
高知	高知市

第九章 四國地方

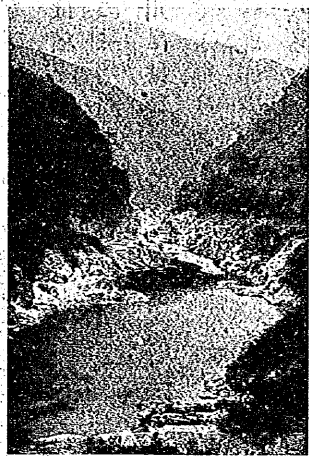
面積 六七五方軒 人口 一、五〇〇万人 (人口密度 二方軒)



一、位置區分 四國地方は近畿地方と九州地方との間にあつて、中國地方と瀬戸内海を隔てて相對し行政上は四縣に分たれ、地理上は北四國海峽と南四國海峽とに分たれる。
二、地形 域内は一般に山多く、四國山脈をびえてゐる。四國第一の長流吉野川は横谷又は縦谷をなして東に流れ、下流に三角洲を作る。其の他土佐灣に入る川には稍大なるものもあるが、内海に注ぐものは何れも長さが短い。
北四國には讃岐高嶺の二半島が出て居るし、島も多く、諸海峡は潮流が急であ

る。南四國には室戸足摺の二岬が土佐灣を抱いてゐる外は出入少いが西方の豊後水道沿岸は屈曲極めて多く最も變化に富んで居る。

三、氣候 北四國は山陽と同じく氣候溫和で降水量少く、従つて沿岸は製鹽に適する。南四國は紀伊の海岸に類似位置地形、海流季節風の關係で氣溫は一般に高く降水量は暖季に多い。従つて此の方面は森林に富む。



奥の其で(危歩小)壞崩小 流峽の川野宮。路道ふ向に知高は(岸左)方右、壞崩大が

實習

左の數字で二六頁のやうな氣溫降水量比較表をつくつて説明を加へよ。

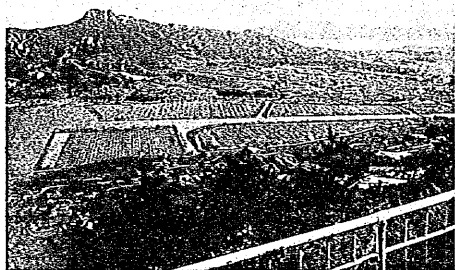
氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
高知	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一六
多度津	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一六

山 鏡 石



四國山脈は東方には剣山(一九五五米、四國最高點)附近の高峯があり、西方には石鏡山附近の高峯がある。石鏡山は四國第二の高峯で高さ一九二二米である。

山 劍 五



五剣山(三七〇米)は屋島（三三〇米）の東方にある。兩者の間にある一小灣は源平の古戦場である。今は海岸に鹽田が開けてゐる。右側は屋島の上から、此の古戦場を隔てて五剣山を望んだところである。

柱 土



讃岐山脈の南麓、徳島縣脇町の北東方に左圖のやうな土柱がある。土柱は雨水の侵蝕によつて出来たものである。

鹽田中に横につくつた溝は海水の通路で、砂の高く積み上げてある處は溜井と云ひ、鹽分の附いた砂を集め更に其の上から海水を注いで鹽分をこす。これを管で家のある所に集め、更に煮て鹽分を結晶せしめる。

鯉節を作るには先づ鯉の頭を切り落し、脊骨を抜き、一匹の魚から四片をつくる。脊の方を雄節オスノヒ、腹の方を雌節メノヒといふ。これを煮籠ニルコにならべ、一時間半位煮てから水に入れて小骨を抜き乾かして造る。

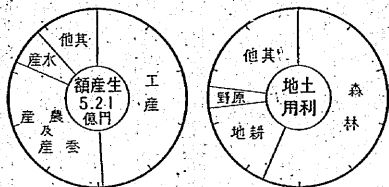
別子銅山の鑛石を鐵索と鐵道とによつて新居濱に運び出し、更に船で四坂島に送つて製鍊するのである。

011

降水量 高知 奄美 大分 熊本 鹿兒島 宮崎 鹿児島 那覇

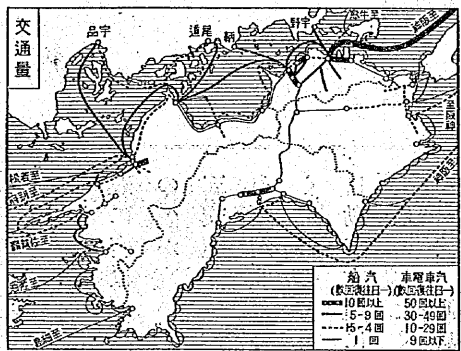
四産業 北四國には、農業及び製鹽業が盛んで、南四國には林業、漁業が著しい。鑛業は別子に行はれ、高知、愛媛二縣では和紙の産出がある。綿機業愛媛縣 徳島縣も亦重要な産業である。漁業は沿岸各地一般に行はれ、殊に南四國は鯉、鮎の漁獲多く、土佐節の名が高い。

五、交通 鐵道は位置地形の關係上、發達は遅れてゐるが、北部の豫讃線は高德線、德島線に連絡し、近く土讃線とも連絡した。なほ鐵道交通の不足は自動車交通によつて補つてゐる。海上交通は他地要なので、よく發達し、殊に北四國の方に盛んである。



(昭和十一年) 四國地方の土地利用と生産額

六、處誌 德島縣 (1) 吉野川地溝が主要地で、米・麥・烟草・蘭蔬菜等の産



交通量と地形との関係を示す図



徳島市の右方山脈の中を流す川

が多い。その門戸の徳島市は大阪との取引行はれ、綿織物を産する。小

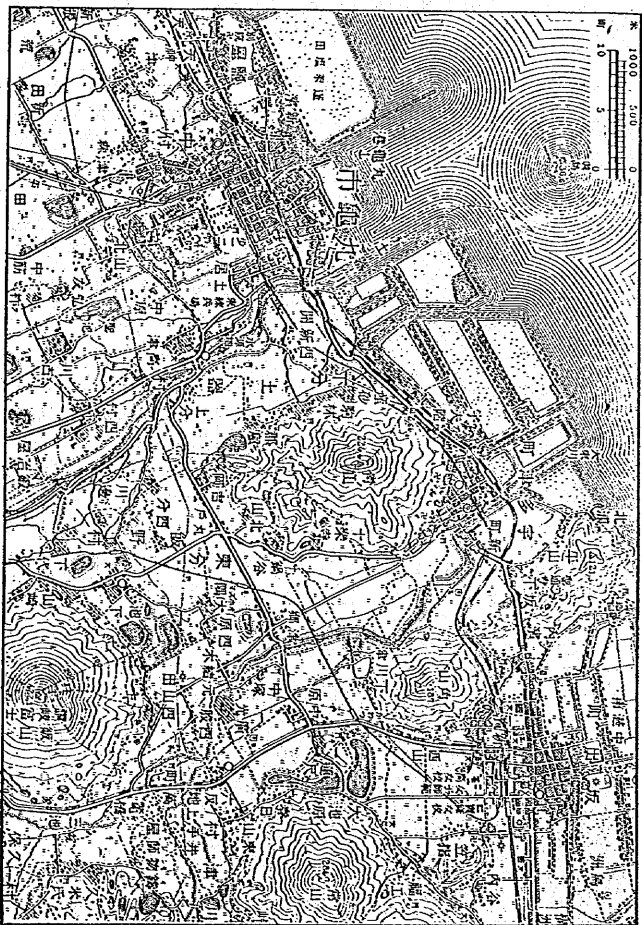


通達姿

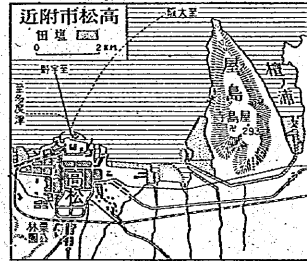
松島は市の外港をなす。市の北方、鳴門海峡に臨む撫養附近には鹽の産が多い。吉野川中流には脇町・池田の小都市が並んで居る。(2)南部の海岸附近は米・蜜柑・宿等を産し、水産業も盛んである。

香川縣 本縣は面積は小さいが、農業よく發達し、農産工藝も盛んで、人口の密度が大きい。(1)讃岐半島の中部海岸の高松市は内海航路の要津で縣の中心都市である。その西の製鹽地坂出及び丸龜市、多度津港は豫讃線に沿ひ、第十一師團司令部の所在地、善通寺・金刀比羅宮のある琴平は土讃線に沿ひ、且、電車

丸龜市・坂出町・飯ノ山(讃岐富士)・鹽田等が見られる。



丸龜・坂出附近(陸測地形圖)



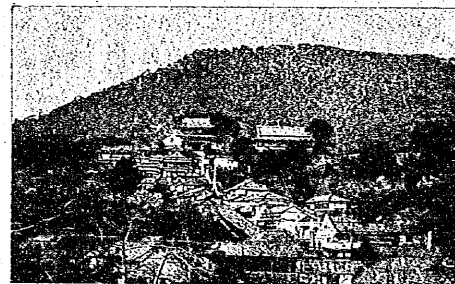
高知市松高 近附市松高
。るあが址城舊に南ぐすの港の市松高
場車停く近に港。るあで町下城舊も市
高へ東らか南、線設豫へ西、てつあが
や園公林果も車電。るあてじ通が線徳
場戦古は島屋。るあ通に等平琴・島屋
。い高名でと望眺と

の連絡もある。(2) 属島中の小豆島
は風景に富み、醬油を産し、直島には
銅の製錬所がある。

愛媛縣 (1) 伊豫灘斜面中豫の松山

市は伊豫を

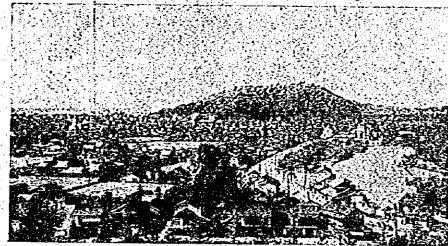
産し、その門戸に高濱・三津濱東には道
後温泉を控へてゐる。(2) 燈灘斜面東
豫の今治市は工業市で開港場である。
新居濱市には化學機械工業が行はれ
る。(3) 豊後水道斜面(南)豫は海岸の出
入は多いが、山がちで、水産物・繭果等
を産し、宇和島市・八幡濱市が主な都市



本。る祀を皇天徳崇・命主物大は宮羅比刀金 町平琴
務社の家。の園。いなえ見はに園てつあに腹中の山は殿
。るあで部一の町前門、と等門・所

である。

高知縣 高知平野が主要地である。気温が
高いので年二回米を作ることが出来るし、早
生の蔬菜を阪神地方等に出す。高知市は阪
神との航通が便利である。又、西方、仁
淀川流域の伊野と
共に和紙を産する。
沿岸一帯には漁利
多く、山地には林業

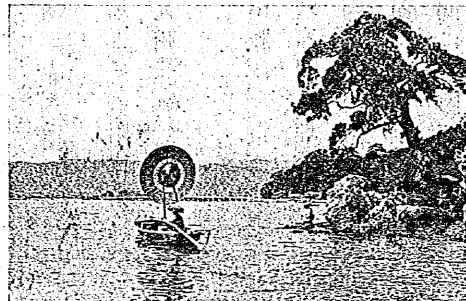


市山松 高知市松高
。るあで町下城舊も市
高へ東らか南、線設豫へ西、てつあが
や園公林果も車電。るあてじ通が線徳
場戦古は島屋。るあ通に等平琴・島屋
。い高名でと望眺と

が行はれてゐる。

問題 各自一縣づつ調べて發表せよ

(全生徒四國に分れて)



近附市知高

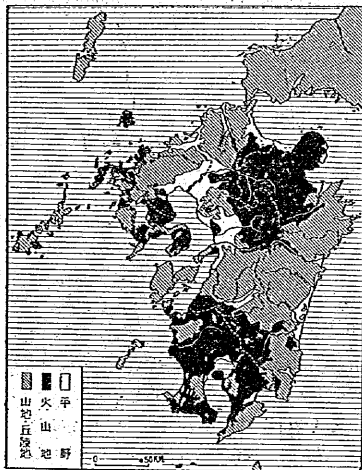
第十章 九州地方

面積 圖説方軒
人口 三二萬人 人口密度(方軒)

行政區劃	縣名	所在地
福岡	福岡市	福岡市
佐賀	佐賀市	佐賀市
熊本	熊本市	熊本市
大分	大分市	大分市
宮崎	宮崎市	宮崎市
鹿児島	鹿児島市	鹿児島市
沖縄	那覇市	那覇市

一、位置・區分 九州地方は本土西端の九州島とその附近の島嶼とから成り、行政上は八縣に分たれ、地理上は北九州(佐賀・福岡・大分・熊本)と南九州(宮崎・鹿児島・沖縄)とに分れる。

二、地形 北部には中國山脈の續きの筑紫山脈、東西に走り、數多の小山塊に分れ、石炭を埋藏すること多し。南部には四國山脈の續きの九州山脈が、北東より南西に走り、高峻の山地をなす。兩山脈の間には阿蘇火山脈があつて、阿蘇山、御嶽、兩子、鶴見、由布、九重、雲仙、多良の諸峯之に屬し、勝景温泉に富み、南部には霧島火山脈があつて、霧島山、櫻島、開聞岳を噴起し、更に薩南



九州地方の地形圖

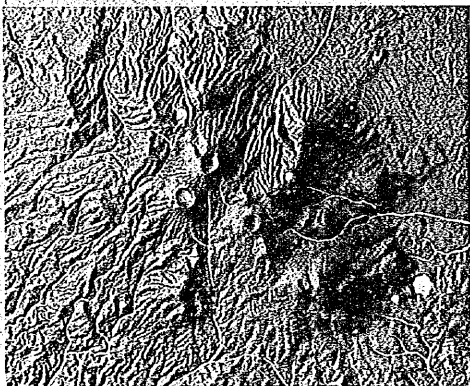
の小山塊に分れ、石炭を埋藏すること多し。南部には四國山脈の續きの九州山脈が、北東より南西に走り、高峻の山地をなす。兩山脈の間には阿蘇火山脈があつて、阿蘇山、御嶽、兩子、鶴見、由布、九重、雲仙、多良の諸峯之に屬し、勝景温泉に富み、南部には霧島火山脈があつて、霧島山、櫻島、開聞岳を噴起し、更に薩南



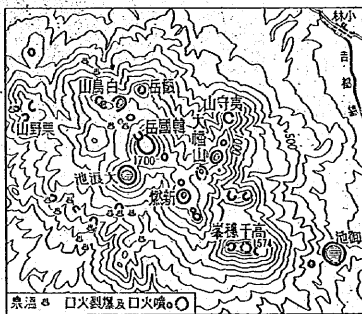
諸島の内帯に數多の火山島を造つてゐる。主な川は阿蘇火山脈と九州山脈を分水界として諸方に流れ、球磨川は峽流をなし、筑後川の



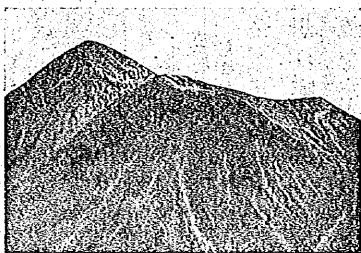
霧島火山群



形づくり、中に軍港佐世保及び商港長崎がある。南部には大隅薩摩の二半島がでて鹿兒島灣を抱き北東には國東半島出て、その南方豊後水道に面する所は小出入が多い。ただ日向灘に面するところは



霧島火山群の中郡山と(左)御鉢



青島の島(島崎林)

單調である。近海には島嶼多く、北西に壹岐對馬平戸五島西に天草嶺の諸島南西には薩南諸島琉球列島(琉球者を併せてが長く連なつてゐる。
三、氣候 九州地方は一般に溫暖で、北九州は冬季も降雪少く、南九州は氣溫高く、降水量が多くて、蒲葵の如き熱帶植物が自生する。更に琉球弧では亞熱帶氣候になつてゐる。

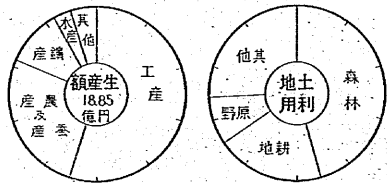
實習 左の數字で六一頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

氣溫	一月											
	福岡	大分	長崎	鹿兒島	福岡	大分	長崎	鹿兒島	福岡	大分	長崎	鹿兒島
氣溫	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇
降水量	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
一月	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇	五.〇
二月	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇	六.〇
三月	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇	七.〇
四月	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇	八.〇
五月	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇	九.〇
六月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
七月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
八月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
九月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
十月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
十一月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇
十二月	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇	一〇.〇

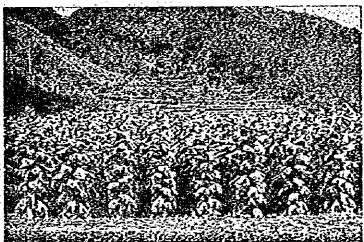
四、産業

北九州は土地概ね低く、且、海岸の出入が多

いから水陸の交通が便利な上に、アジア大陸に近くて古くから文化輸入の門戸となつたから、人文の進歩著しく、人口稠密、都邑よく發達し、産業も我が國の主要地域の一である。南九州は北九州に比べると、土地概ね山がちで、且、中央に遠いため、



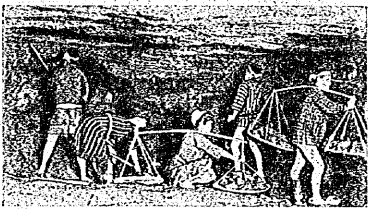
(年十和昭) 額産生と用地土の方地州九



(分國縣島兒鹿) 煙草煙

北九州の如く、産業が發達しない。農業は二毛作行はれ、北九州の筑紫平野と熊本平野には農産多く、良質の米を産する。又、南九州及び琉球弧には甘藷、甘蔗、煙草、早生蔬菜等の畑作物が多く、熊本、鹿兒島、宮崎の三縣には牧畜が盛んで、琉球には養豚が行はれる。林業は南九州の山地に發達し、木材、木炭、椎茸等を出す。鑛産は北九州の石炭及び大分縣の金銅、鹿兒島縣の金が名高い。殊に石炭は我が國產出額の半ば以上

るみてい働も子女 部内の坑炭



(年十和昭) 額産の炭石

國	縣	長崎	熊本	鹿兒島	山口	福岡	大分	佐賀	南九州
地内									

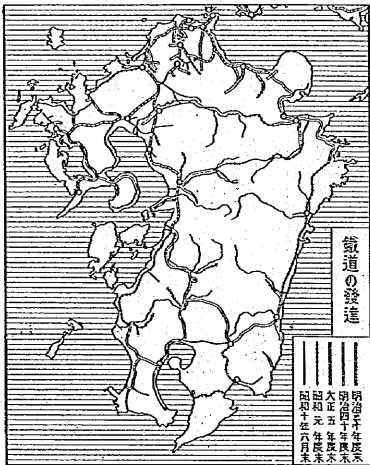
(年十和昭) 額産の金

分大	鹿兒島	熊本	北九州	香川	秋田	其他	朝鮮	台灣
地内								

を占め、門司、若松、三池等から積出され、又北九州にある八幡製鐵所を始め、各種の工場に使用せられる。工業は北九州工業地帯の外、有田、佐賀の製陶、長崎の造船、久留米、福岡の機業、延岡、水俣、熊本の肥料、大分縣の疊表等がある。水産業は一般に盛に

開港場
門司・若松・長崎・
三池・博多・鹿兒島・
三角・那覇・薩原・
唐津・住ノ江・口ノ

んで、長崎縣が第一位である。内國商業及び外國貿易も亦北九州に盛んである。
五、交通 鐵道、鹿兒島本線、日豊本線、長崎本線は幹線をなし、前二者は相連つて九州を一周す



鐵道の發達

明治二十年
大正五年
昭和元年
昭和五年
昭和十年

る。北九州には鐵道よく發達し、殊に工業地帯附近は鐵道網をつくつてゐる。東西横斷には北九州に久大線、豊肥線があり、南九州には日豊本線と連絡する肥薩線、吉都線がある。海上交通も北九州に盛んで、門司・長崎が主な港である。

六處誌 福岡縣 本縣は位置、地形の良きこと、石炭の多産等のため、九州中産業最も進歩し、農産多く、又各種の工業が盛んで、北東部は大工業地帯となり、都市の發達も著しい。(1)北東部の門司市は下關と相對する開港場で、石炭の積出多く、鹿兒島線の起點である。それより南西には小倉、戸畑、八幡、若松の諸工業市並列し、八幡にある製鐵所は規模が殊に大きい。遠賀川流域の筑豊炭田の石炭は、主に若松市と門司市とから送りだし



福岡市の南東に太宰府神社がある。

てゐる。直方市、飯塚市

は炭田地域の中心都市である。(2)北西部の福岡市は九州第一の大都市で、博多を開港場とし、盛んに商工業を営んでゐる。又學藝の中心をなし、九州帝國大學がある。(3)南部の主要地は筑紫平野である。

この平野は筑後川、矢部川等の流域で、佐賀縣南部に亘り、九州第一の大平野をなし、米、麥、菜種等の農産が多い。久留米市はこの方面第一の都市で、足袋、紺タイヤ等を産し、第十三師團司令部



(地形地調録) (近附河柳) 部一の野平築筑

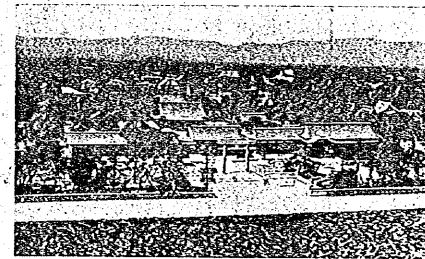
部がある。南端の三池炭田は我が國第一の炭田で、大牟田市はその門戸をなし工業榮え、石炭積出しの盛んな三池開港場を控へてゐる。

佐賀縣 (1) 東南部は有明海斜面に屬する。筑紫平野西部の中心に佐賀市がある。有明海の北岸では牡蠣等が養殖され住江からは石炭が積出される。

(2) 北西部海峽斜面には唐津伊萬里の灣入があつて、灣頭には夫々同名の港市をもつ。唐津市は唐津線終點の開港場で、石炭の積出が多い。有田は有名な陶器産地である。

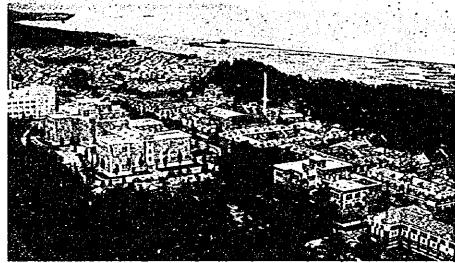
長崎縣 (1) 半島部は丘陵がちで、海岸線の出入著しく、近海は漁利が甚だ多い。長崎市は開港場のうち最も歴史が古く、醫科大學や三菱造船所がある。島原半島には雲仙岳聳え、東岸には島原がある。

佐



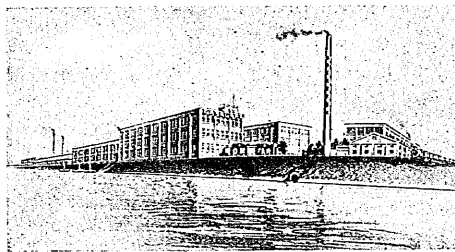
佐賀市城址から北にむく。前景は鍋島公園。佐賀神社の境内にある。

九州帝國大學



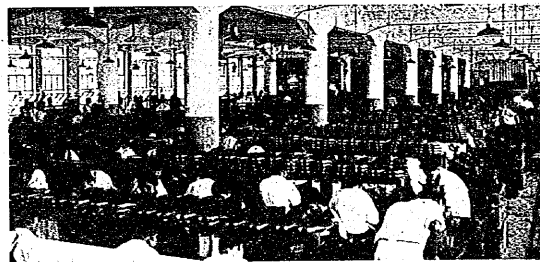
醫・工・農・法文の四部から成る綜合大學で、福岡市の北東部から郊外にまたがる。松原と海とに囲まれた清淨な地域を占める。

足袋工場



右圖は久留米市にあつて筑後川に臨む工場である。工場には原料の布を機械で縫る機械工場とミシンで縫ふ裁縫工場とがある(下圖)。此の労働に従ふものは主に女子である。

足袋工場内の様子



左圖は阿蘇の中央火口丘の一つである中岳の噴火の状況。噴火は時によつて盛衰がある。

A black and white photograph showing a group of about seven people standing in front of a large, low, domed building. The building has a flat roof and a small arched entrance. The people are dressed in light-colored clothing, some wearing hats. The background features rolling hills under a clear sky. The image has a grainy, high-contrast quality.

雲仙岳は複式火山で、温泉もあり、園のやうなゴルフ場もあつて、夏季には支那在住の外國人の避暑客等で最も賑ふ。

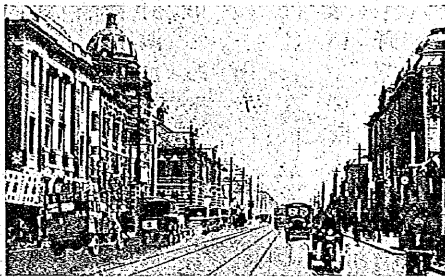
An aerial photograph of a coastal city, likely San Francisco, showing a dense urban area with a prominent bridge crossing a large body of water. The city is built on a hillside, and the water is filled with boats and ships. The image is in black and white and has a grainy, high-contrast appearance.

長崎は江戸時代にも支那・オランダと通商してゐたので、その遺跡・遺物が多い。図は港の北東部を示す。

二六

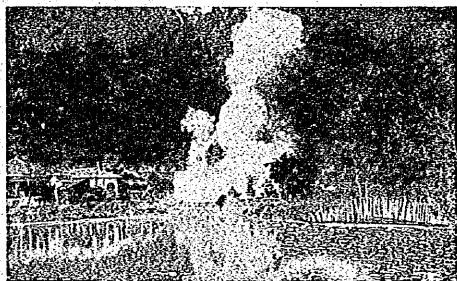
世保市は軍港で第三海軍鎮守府がある。
 ② 屬島のうち五島列島の近海は水産物に
 富み、福江富江は漁業の中心をなす。壹岐
 對馬は日本海の口を扼し對馬は特に水産
 に著はれ嚴原の開港場がある。

熊本縣 (1) 熊本平野は縣の主要地で肥後米や粟の産が多い。熊本市は白川に臨む舊城下町で第六師團司令部、醫科大學等がある。宇土半島の三角は開港場で球磨川の八代は半紙及びセメントを出す。(2)

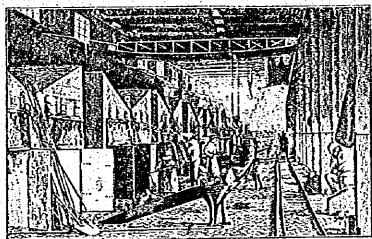


城は岡。るあで市都心中の野平本熊は市本熊 市本熊
。るあで山岡花の西南の市は山の面前で街市新の方南の

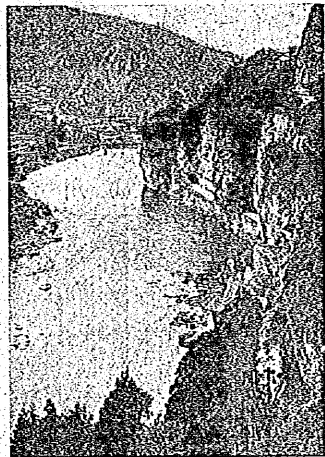
東部から南部にかけては一帯に山地で北に阿蘇火¹¹⁷山南に入吉^{ヒトコシ}盆地がある。鐵道肥薩線はこの南方の山地で一部ループ式線路となつて、鹿兒島縣に入る。(3)天草島は二島から成り、無煙炭、陶土を産する。牛深が第一の港である。



別府の海地獄 別府市は鶴見岳の東麓にある港で、附近多量に温泉があり、湯の量も多い。風景も氣候もよいので四時入浴客が絶えない。國の海地獄は市の西北約六軒のところにあつて、小さい火口に海水のやうな色の熱湯をたゞへてゐる。



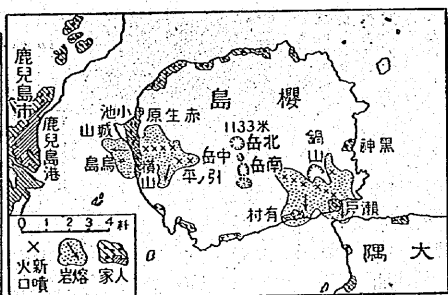
佐賀關鐵道所 我が國西部の諸鐵山の鐵石を處理するために設けられたものである。佐賀關港は數千噸級の汽船の出入自在で鐵石の運搬に便利なため此の地が製鐵所に選ばれた。同は工場内部で粗鋼を作る爐である。



。示を近附(右)門洞の青 溪馬耶
を景寄の此てけ受を蝕水が岩境集
。るあでのたつく

表の産多く、(3)周防灘沿岸には宇佐八幡宮がある。(4)豊後水道は耶馬溪の勝地、東方には宇佐八幡宮がある。

大分縣 (1)別府灣沿岸の別府市は温泉に富む休養都市である。その東方の大分市は交通上の一中心をなす。東端に近い佐賀關には壯大な製鍊所があつて、銅金の産出が多い。(2)國東半島には壘



噴と(上)阿地の時常火噴の年三正大 山火島櫻
みでん止どん殆は火噴は今。す示を(左)況狀火

沿岸はリアス式の小灣に富み、水産物セメント蜜柑を産し、臼杵、佐伯等の港市がある。(5)西部は一帶に火山岩の山地で、所々に小盆地開く。その中、日田盆地が最も著はれる。

宮崎縣

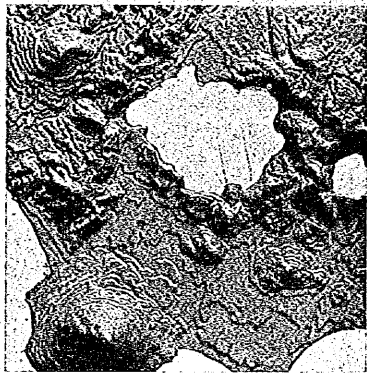
本縣は皇祖發祥の地であるが、海岸は單調で、山地多く交通不便であるから開發が遅れてゐる。宮崎市は大淀川の下流にまたがり、上流に都城市がある。五箇瀬川口にある延岡市には人造絹絲肥料の産がある。



(米百四そんき長)橋橋るあてけかに川淀大 市崎宮
。るあでることだん望を市崎宮てて距を

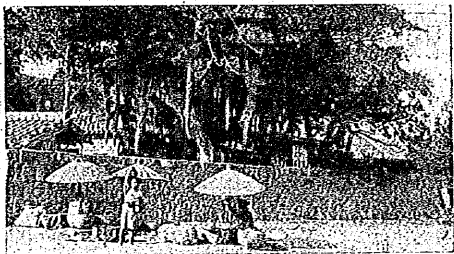


開門岳附近
上下の二圖を
比べよ



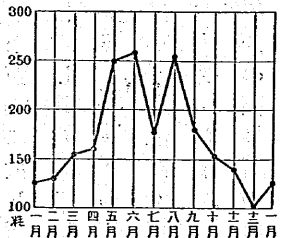
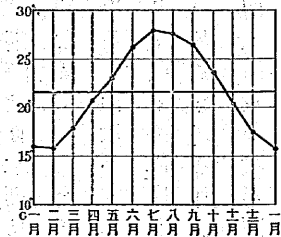
鹿兒島縣 (1) 鹿兒島灣斜面の鹿兒島市は明治維新の功臣を輩出した舊城下町で、開港場になつてゐる。櫻島に面して風景もよい。北方の國分附近等には煙草を産し霧島火山の裾野では牧場が盛んである。南方の指宿附近は温泉に富んでゐる。(2) 東支那海斜面には鹿兒島本線通じ、川内出水等の都邑をつらねる。本縣には金山多く、中にも串木野が著はれる。(3) 太平洋斜面の有明灣頭には平野開け、志布志が其の中心都市である。(4) 屬島のうち薩南諸島の種子島は砂糖を産し、屋久島は屋久杉の産を以て名高く、大島からは砂糖大島紬を出す。

沖繩縣 (1) 北部に沖繩諸島、(2) 南部に先島諸島、(3) 東部に大東諸島が



琉球家の豪家を示す風雨が多い家。木は榕樹であつて、石をめぐりて居る。

ある。氣候、亞熱帯性で、生物は本土と大に趣を異にし、植物には榕樹芭蕉等よく茂り、動物には飯匙蜆、沿岸には珊瑚礁がある。農業は甘藷甘蔗蔬菜を第一とし、養豚も行はれる。産業は振はない割合に人口密度が大であるから、出移民が多い。



(下) 降水量と(上) 温度の季節

習が内地と異なるものもあるが、今は概ね内地風に改まつた。那覇市は開港場をなし、王城のあつた首里市と共に泡盛漆器等を産する。琉球海溝を隔てて琉球弧の東方にある北大東島からは燐礦を出す。

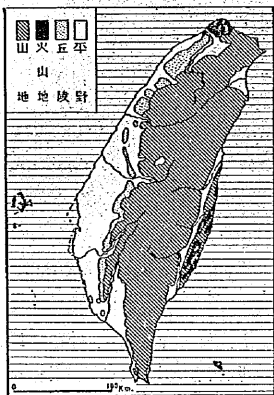
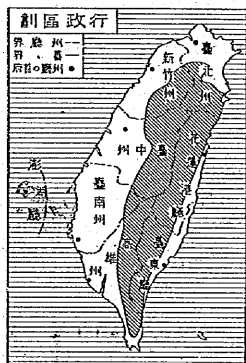
問題 一、南北九州を比べよ。二、琉球弧について調べよ。

第十一章 臺灣地方

面積 臺灣地方 人口 臺灣人 人口密度(平方人)

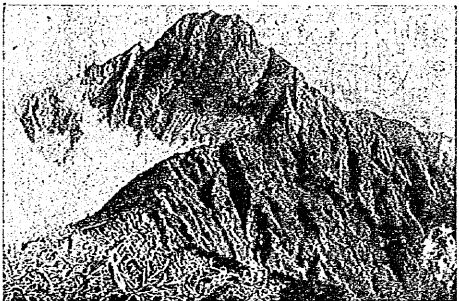
行政區劃	
州廳名	所在地
臺北州	臺北市
新竹州	新竹市
臺中州	臺中市
臺南州	臺南市
高雄州	高雄市
屏東縣	屏東市
花蓮縣	花蓮市
台東縣	台東市
澎湖縣	馬公市

臺灣は今より約四十年前日清戦役の結果我が國の領有となつた熱帯植民地で、臺北に總督府を置き地方を五州三廳に分けて之を治める。又臺北には臺灣軍司令部を置き、基隆澎湖島には要塞を設け、澎湖島には海軍の要港を置く。



臺灣の地形圖

一位置 臺灣は日本列島の南西端に位し、西は臺灣海峡を隔て、支那と相對し、其の間に澎湖諸島がある。南はバシー海峡を隔て、フィリピンに隣り、東は太平洋に、北は東支那海にのぞむ。二地形 高峻な臺灣山脈が中央から東に偏して、南北に走り、我が國第一の高峯新高山を



新高山 北をから見たことである。

*貯水池と水路のことである。

用の埤圳を設けて利用する。海岸は極めて單調で、東海岸は概ね絶壁をなし、西海岸は遠浅で、砂濱渦多く共に船を寄するに不便で



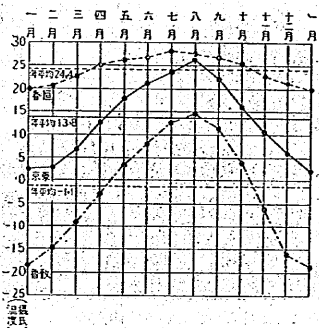
ある。ただ基隆は自然の良港であるが高雄は鴻を利用し築港によつて良港となつた。

三、氣候生物 北回歸線に跨つて熱帶性氣候である。季節風によつ

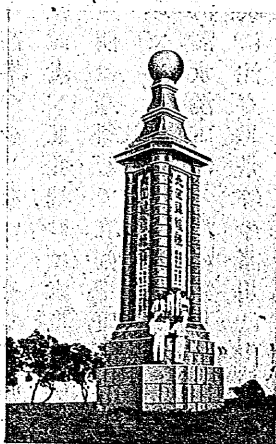
實習 左の數字で二六頁のやうな氣溫降水量比較表を作つて説明を加へよ。

氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
基隆	一五・五	一六・一	一六・三	一六・四	一六・五	一六・六	一六・七	一六・八	一六・九	一七・〇	一七・一	一七・二	一六・六
臺南	一六・九	一七・〇	一七・一	一七・二	一七・三	一七・四	一七・五	一七・六	一七・七	一七・八	一七・九	一八・〇	一七・四
臺南	一七・七	一七・八	一七・九	一八・〇	一八・一	一八・二	一八・三	一八・四	一八・五	一八・六	一八・七	一八・八	一八・二
降水量	一八・〇	一七・八	一七・七	一七・六	一七・五	一七・四	一七・三	一七・二	一七・一	一七・〇	一六・九	一六・八	一七・二

北回歸線標

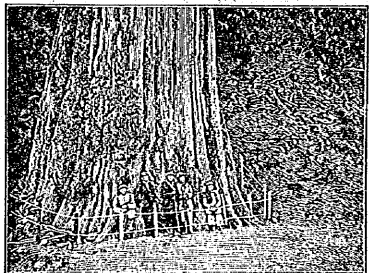


近附中央と端兩北南國が我てつよに同上の其と度温均平年(1)の(京東・香・泰・恒)知を差の度温の冬・夏(2)、北變の間年一國が我(1)てつよに之。る來出がとこる冬が方の夏は差の度温の方地端兩北南のに較一は太緯(2)。り知をとこい少もりよ化變の度温の間年一もかし、くく度温、し示をとこるあで候氣帶寒てくき大が一もかしで温高に較一し反に之は海臺(3)をとこるあで候氣帶熱で小化變度温の年を線曲の間中の者二前は京東(4)又。す示をとこるあで候氣帶温しは現



て乾季雨季の別生じ、北部と南部とは反對になつてゐる。

植物は熱帶性を示し山地には樟等が茂り平地には榕樹、檳榔、椰子、龍眼、芭蕉等水邊にはマンダローブがある。動物には家畜に水牛等



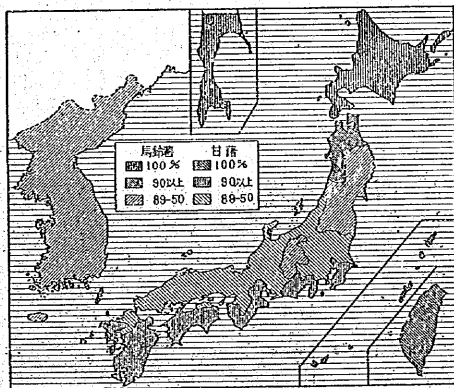
連に側西の山高新は山里阿 檣巨の山里阿
北南、杆八西東、しなを林森大の帯一りな
を林帶温の等樹・檣紅・柏扇。る互に杆十二
。るす探伐で營官の府督總



らせ培養に南以部中に主は(つ二の端右)且文 實果の臺灣
州中臺は(つ二左のそ、梨鳳)ルブツナイバ。いよが味風れ
貨果島本は(上左)オナバ。す出積てしに諸確で主が州雄高
次に之州南臺・州雄高しと地產主を州中臺で一第が額產中
で種一の柑蜜は(つ二の下左)柑手佛。す出積く多へ地内き
。い多に方地部南は(央中)眼龍。いまうとるとす漬糖砂は皮
。るへ加に中の子葉又しと用食を肉

がある。

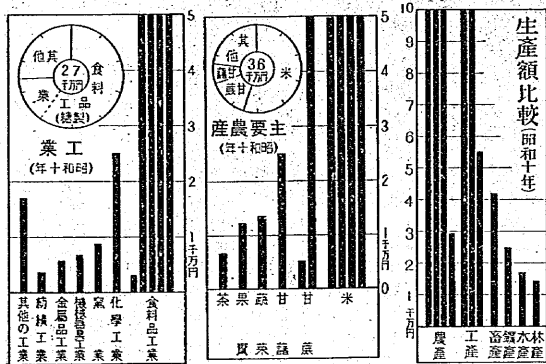
四、産業 農業は主産業で、主として西部平野に行はれ、米



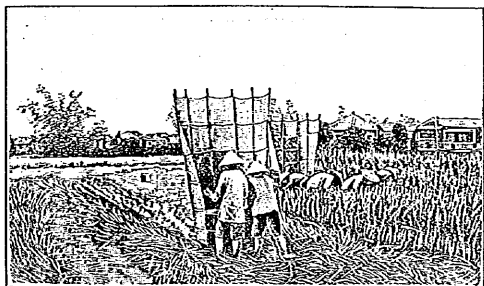
を%何各中額産たせ合を者二の産鈴馬と諸甘
を示をかるめ占

實習 産業分布圖
を作れ。

甘蔗甘藷を三大農産とし、この外果實茶の産多く、豚の飼育が盛んで、水牛家禽の飼養も行はれる。山地は森林に富み、阿里山等から良材を出す。樟より樟腦樟腦油を製し、その産額世界第一である。鑛産は北部の石炭金銅等名高く、北西部の油田も有望である。西海岸は雨量少く、日射強く、風が多いから天日製鹽に適する。水産業は北東部と南西部に行はれる。工業も次第に發達し砂糖を第一とし、そ



米 作



上圖は水田を耕すところ使役する動物は水牛、下圖は收穫の状況である。米作は本島第一の作物であるから、灌漑の便ある所は大抵水田にする。多くは一年に二回の收穫がある。産出額九百萬石ほどで、移出は四百萬石餘である。

茶



茶の栽培區域は比較的温氣に富む中部以北の地方で、臺北新竹の二州を主とし、年數回葉をつみ烏龍茶包種茶紅茶等に製造する。

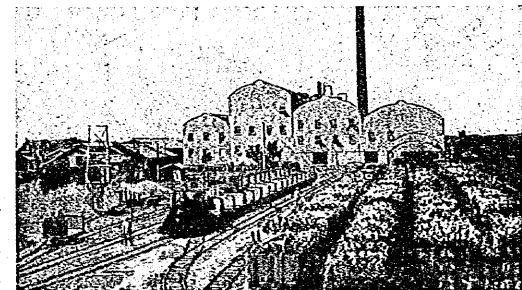
甘蔗園



甘蔗運搬（水牛使用）

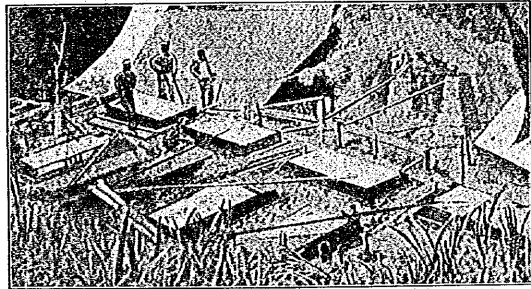


製糖工場



甘蔗は米につぐ農作物で南西部が主産地である。日本領となつてから政府の指導によつて發達したものである。苗は主にジャワ種を改良したものである。灌漑や排水の設備もよくとつた。上圖は甘蔗の畑で、成熟すると刈りつて貨車や、中國のやうにして工場に運び、工場でこれをしぼつて粗糖（赤砂糖・精糖をつくり、主に内地に出す。内地の製糖會社はこの粗糖から精糖（白砂糖）をつくるのである。製糖業は臺灣第一の工業で總生産額の六割を占めてゐる。

の他茶鳳梨罐詰アルコール樟腦及び樟腦油の製造が行はれる。



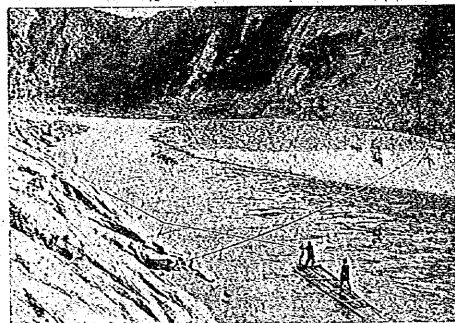
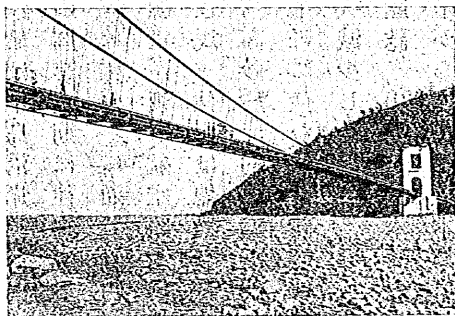
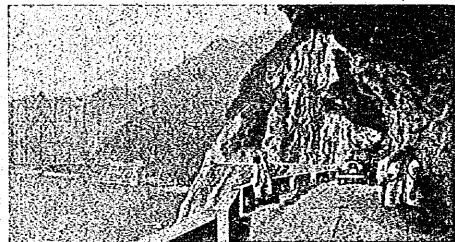
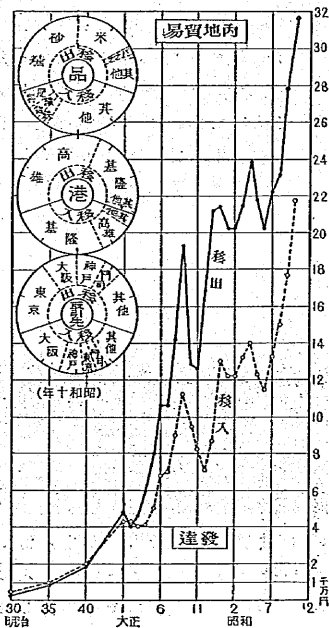
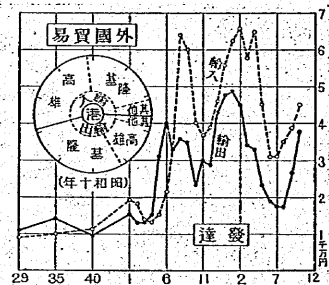
で産特の島本に殊洋東は腦樟 一場工製粗の腦樟
防や用藥とも。るす出製で近附地山の部北部中
ロールセがたつか少が要需は頃たみてつなと用農
督總は腦樟。たし増が要需に急來以明發のドイ
入を片木の樟に釜の方右の圖。るあで賣專の府
にめだ水の方左で皆は腦樟たし發蒸とすむてれ
るあでのるま固てつ入



は法製。るあで南以部中岸海西は地産の饅湯臺 鹽製日天
つ待をのるなくこの分窺れ入に池溜蒸を水海づ先で製日天
るあでのるめしせ品結てし移に池品結を之て

開港場
基隆・高雄・淡水
特別開港場
安平
後龍・鹿港・東石

商業は内地との取引が最も盛んで砂糖米・バナナ鳳梨罐詰等を出し、肥料織物鐵木材・紙乾鹽魚等を入力する。外國貿易は滿洲支那米等との間に行はれ茶樟腦右炭等を輸出し、豆糟硫酸アンモニア大豆黃麻袋等を輸入する。開港場のうち盛んなのは基隆・高雄である。

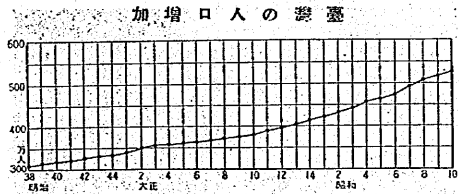


道跡と鐵線橋 東岸の花蓮港・蘇澳間の懸崖下に二〇〇軒の良道が通じた。上図はその一部である。下図は其の道路のほと中央臺北州と花蓮港間の界を流れる大濁水溪の急流に架せる吊橋(長さ五五〇米)である。

竹筏 本島特有のもので全部竹で作る。動搖が少く安値であるから各地で利用せられる。

五交通 在來の交通機關には内地と異なるものが多い。鐵道は西部の平野に發達し、基隆から高雄にいたる南北の縦貫線と數多の支線

とがある。南西部の製糖盛んな地方には、甘蔗運搬専用の私設鐵道が多い。臺東平野には臺東線があつて、自動車で花蓮港・蘇澳間を結んでゐるが、全島一周及び横斷鐵道はまだ出來ないので、東西の交通は不便である。

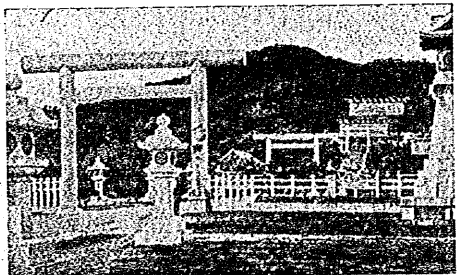


汽船は本島沿岸及び内地南支那北支那南洋群島との間を定期に往來する。海底電線は淡水から長崎・琉球・福州(廈門)に通じ、無線電信局は臺北等にある。無線電話及び航空路も内地と連絡してゐる。

六住民 住民は總數五百餘萬その中内地人は二十七萬、高砂族は約十五萬、其の他は支那族で概ね西部の平野に住む。高砂族は教化次第に進み兇暴性が漸次減少した。

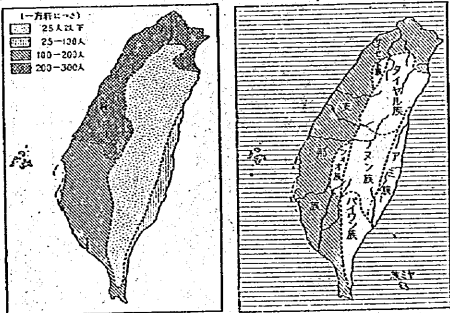
七處誌 (1) 西部は本島の主要地である。基隆市は、内地からの門戸、且本島第一の開港場で、茶樟腦等を

臺灣神社 臺北停車場の北方にある官廳大社で、大日命・大國魂命・少彥名命を祀り、又、故北白川宮能久親王の英靈を奉祀する。土地高燥で展望がよい。



輸出する。臺北市は臺北盆地に位し、臺灣第一の大都市で、本島の政治・經濟・文化の中心をなす。北西の淡水河口には

人口密度 人種分布



上左図は人口密度図で、支那族は西部の平野に密集して人口の密度大きく、高砂族は主に山地に散住して人口の密度は非常に小さいことを示す。高砂族は七種ほどに分たれるが(上右図)、最北部に住むタイヤル族は最も兇暴である。

タイヤル族の人々の生活



淡水がある。

臺北から

南すると新

竹市臺中市

彰化市があ

る。更に南

方の嘉義市

は阿里山の

木材を集散

する。臺南

市は支那領

時代の首都

で、南部の大

中心である。

臺南市街



高雄市は基隆に次ぐ



臺南市附近 (臺海地形図) 臺南市の一部・安平港・魚塭・鹽田等から見られる。

良港で、築港新に成り、砂糖米等の積出が多い。その東方の屏東市には製糖行はれ、陸軍飛行隊もある。恒春は本島最南の都市である。(2)東部は交通不便で開拓がまだ進まないのて、人口も少く、産業も振はない。都市では北の宜蘭平野の宜蘭蘇澳、臺東平野の花蓮港臺東がやゝ著れてゐる。

(3)澎湖諸島は海蝕で分離した臺地狀の低い火山島から成り、その中、澎湖白沙漁翁の三島は内に澎湖灣を囲み、灣内の馬公には海軍の要港を設けて臺灣海峡を守る。

問題

- 一、我が國の熱帯植民地としての臺灣を調べよ。
- 二、臺灣と樺太とを比べよ。

第十二章 朝鮮地方

面積 三三六、〇〇〇平方
人口 三、〇〇〇萬人 人口密度(平方
里)

行政區劃	道名	所在地
慶尚南道	釜山府	釜山府
慶尚北道	大邱府	大邱府
全羅南道	光州府	光州府
全羅北道	全州府	全州府
忠清南道	大田府	大田府
忠清北道	清州府	清州府
京畿道	京城府	京城府
江原道	海州府	海州府
咸鏡南道	咸興府	咸興府
咸鏡北道	南浦府	南浦府
平安南道	平壤府	平壤府
平安北道	新義州府	新義州府
*内地の市郡(島)町村に當る		

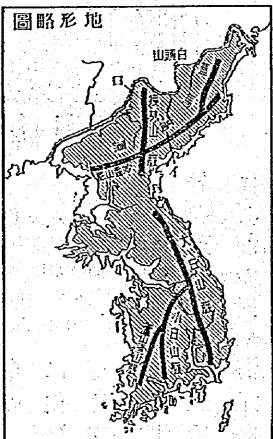
朝鮮は我が國と古くから密接な關係があつたが、明治四十三年我が國と併合した。京城に朝鮮總督駐在して政務を統轄し、地方を十三道に分け、各道に知事を置き、道の下に府郡(島)邑面がある。軍備は龍山に朝鮮軍司令部があつて、龍山と羅南に二個師團を備へ、又鎮海に要港を置く。地理上南部慶尙全羅忠清各南北道中部京畿江原黃海の三道北部平安咸鏡各南北道の三區に分たれる。

一位置 朝鮮は日本海と黄海との間に突出する東亞の一大半島で、鴨綠江、豆満江を境として大部分は滿洲國に、一部はソビエト聯邦に連る。

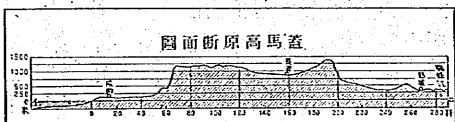
二地形 一帯に山がちである。滿洲と



のそ、りならか岩崗花、で山名の一第鮮朝 山剛金
らあを景奇の々種、れさ饑使てう沿に(めれわ)理節
。す示を部一の剛金海は圖。すは



下圖は左圖のイロ線に沿つて作つた斷面圖で、約一千米の蓋馬高原の狀況がよくわかるのである。この高原は妙香山脈から北の方鴨綠江、豆満江にひろがる大高原で、西の方は表面やゝ不規則で、高さ約六百米である。尙、大白山脈とそのつゞきの狼林山脈とは半島の主な分水界をなしてゐる。

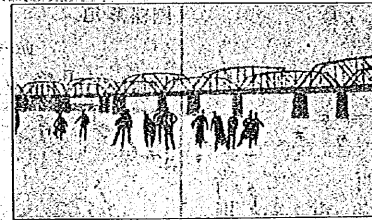


の界には長白山脈が北東から南西に連り、中には半島の最高峯白頭火山が聳える。その南方に蓋馬高原がある。南部は大白山脈東岸に沿うて縦走し北端に近く金剛山がある。川は北境の鴨綠江、豆満江の外、漢江、錦江、洛東江が何れも四百軒以上の長流である。中にも鴨綠江は、長さ約八百軒我が國第一の長流で、流域に森林地を控へる。その他の

諸川の沿岸には小平野所々に開け、農業が盛んで、交通も割合に便利である。

東岸は山脈海に迫つて斷崖多く、永興灣の外著しい出入はないが、西岸と南岸は出入や島嶼が甚だ多い。しかし西岸は遠淺で、潮汐の

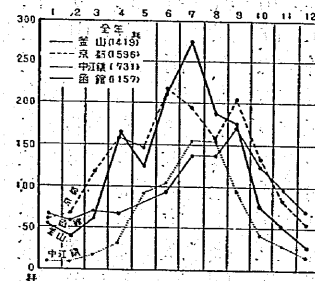
實習 主な河と分水界とを圖示せよ。



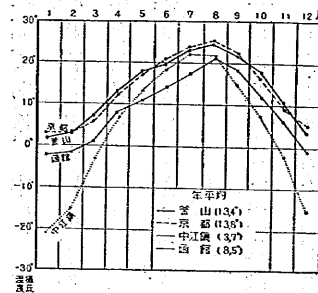
ケ三二冬はで北以部中の鮮朝 氷結の江漢
のる來田が來往の馬人てつ凍が水河間の月
突過らかい寒に様のは冬の鮮朝。るあで
るくつに内室を備設寒防ふいと(ルondon)

干満が大きいので、仁川港には閘門式船渠がつくられてゐる。
三氣候、南は海洋性に從ひ次第にアジア大陸の影響をうけて、大陸性氣候となり、寒暑の差甚しく、一般に雨量少く、且冬は北部の河や海岸が凍る。
四産業 農業は半島の主産業で、米を始め大豆、麥、類煙草等の産多く、開城附近の人蔘、南部地方の綿も名高い。家畜は牛豚の飼養が第一で、皮

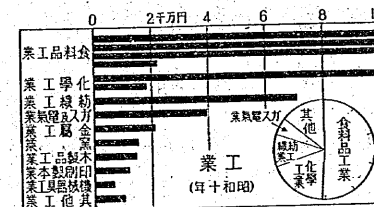
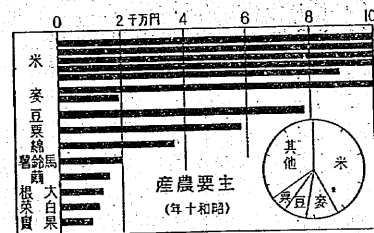
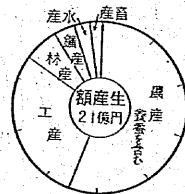
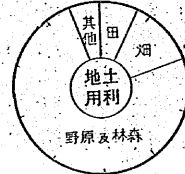
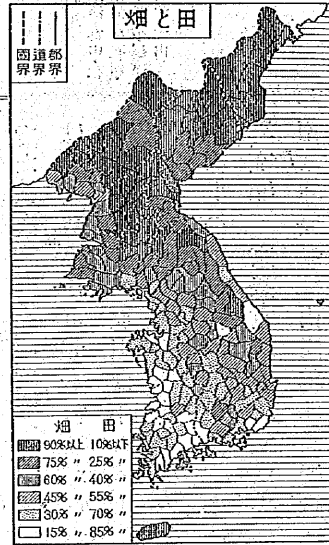
較比量水降



較比温氣



べ比をとと地二の地内の度緯同と之と地二の端兩北南の鮮朝
候氣性洋海てく差大と都京は山釜の方南。るあでのもた
るあで候氣性陸大とるべ比に館爾は鎮江中の方北がるあで



米の収穫



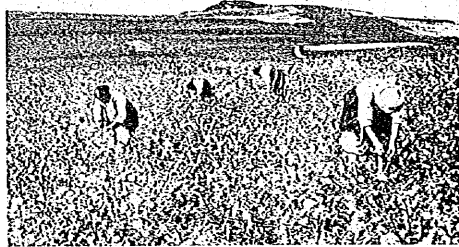
地形氣候の關係で南部中部には米の産は多いが北部には少い。昭和十年の産額約一千八百萬石その内移輸出は約九百萬石に上る。左図は農家の米收穫の状況である。

人蔘畑



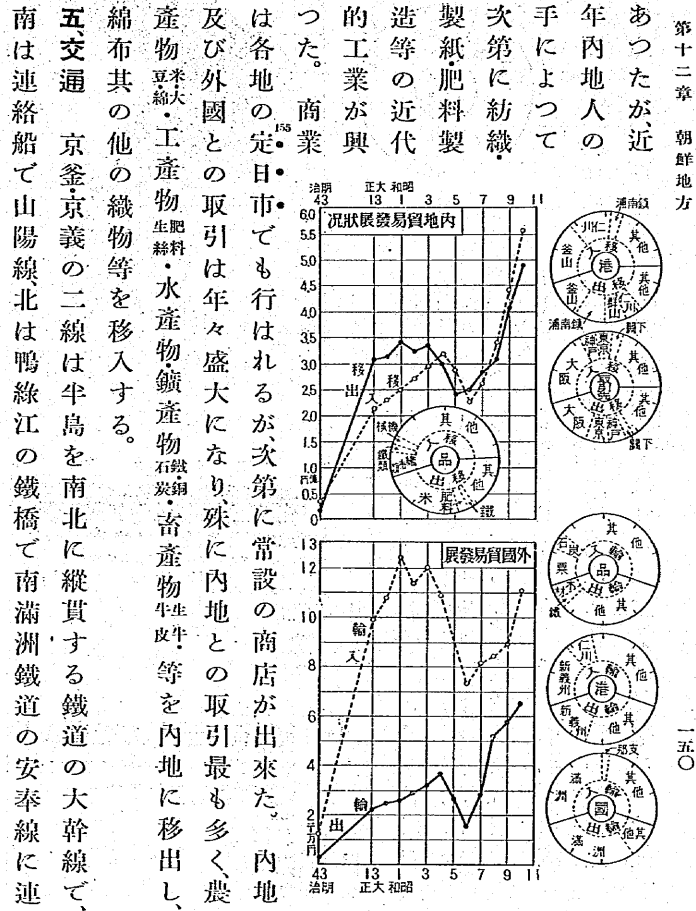
人蔘は古くから薬用として尊ばれてゐる。右図は開城の人蔘畑を示す。莖葉を並べて多くの屋根を作りその下で人蔘を育てる人蔘は總督府の専賣品である。

綿の収穫



綿は成鏡南北道以外殆んど到るところに栽培されるやうになつたが、全羅南道・慶尙南北道及び平安南道が其の主産地である。左図は綿を收穫してゐるところである。

開港場
釜山 木浦 蔚山 仁川 鎮南浦 新義州 龍岩 雄基 羅津 清津 咸津 元山

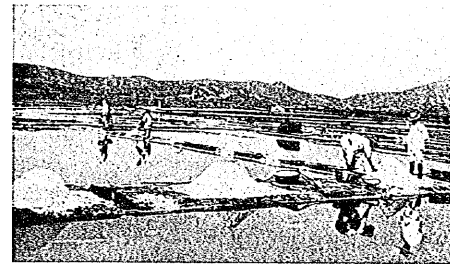


釜山魚市場



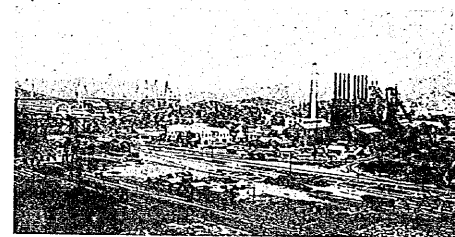
釜山は漁業の中心にあるので魚類の集散が多い。右側の市場に集まるタヒ・サハラ・ヒラメ・アジ・サバ・ブリ・タチウオ等を鮮内内地・満洲等に送る。

鹽田

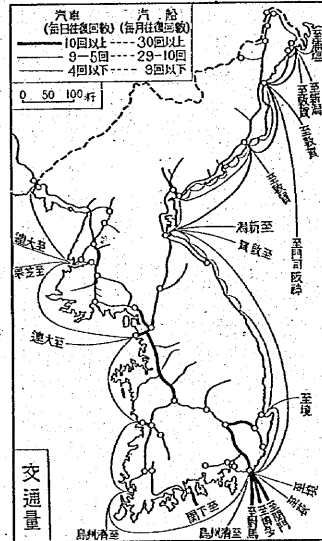


鹽は人蔘・煙草・阿片と共に政府の専賣品である。左側は鎮南浦（平安南道）西方の廣梁海鹽田（天日製）で官營のものである。朝鮮では年々鹽の生産約二億斤に對し三億五千萬斤消費するので、不足分は満洲・支那等から買ふ。

兼二浦製鐵所



兼二浦は平壤と鎮南浦の間にあつて大同江に臨む。右側はその製鐵所で、黄海道に産する鐵礦を原料にする。



要道路も次第に改修され定期自動車も通

じて交通の便

がよくなった。

汽船は釜山仁

川鎮南浦元山

清津羅津雄基

等を中心とし、

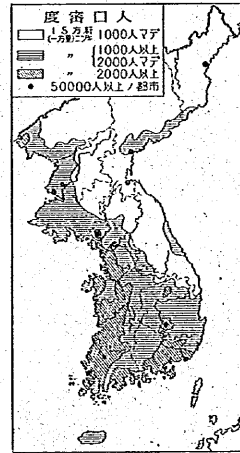
第十二章 朝鮮地方

(庭家の流上)人鮮朝



濯洗の人婦鮮朝

線朝鮮鐵道線がある。主其の他湖南線度全線東海線京圖線に連絡する。國の京圖線に連絡する。線は豆滿江の鐵橋で滿洲に連る京元線咸鏡線北鮮絡する。又京城より北東



半で線一たいひに東南から西北
がるれき分等二いほは積面の島
つなに合割の五・三と一は口人
關のと度密口人と形地。るみて
よ見を係

沿岸各港を連ね、また
内地滿洲支那ウラチ
ポストクとの航通も
行はれてゐる。

六、住民 住民は總數
二千餘萬、密度は北東

部に小さく南西部に大きい、全半島を平均すると内地の半に過ぎない。固有の朝鮮人は容貌體格等内地人によく似てゐる。教育も次第に面目を改め、學校の設備も漸く整つた。移住内地人はその數約六十萬、多くは都市に住む。

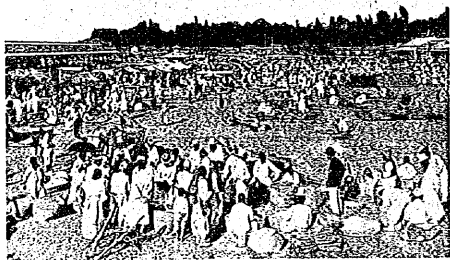
七、處誌 (1) 南部 慶尙全羅忠清各南北道、所謂三南の地で、氣候は半島中最も海洋性で、土地割合に開け、米綿等の産多く、人口密度も高い。南東端の釜山は内地との交通貿易上最も大切な半島第一の開港場で、貨客の出入が甚だ多い。鎮海灣内には、鎮海馬山の良港がある。

平壤の新市街



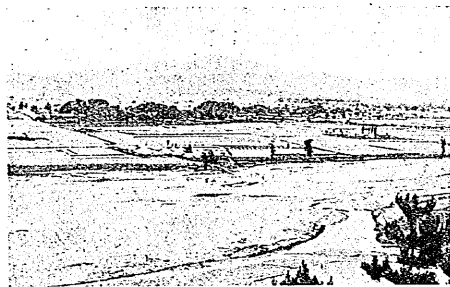
平壤の市街は大同江の右岸に臨み、北部は舊市街、南部は新市街である。圖は繁華な大和町通りである。

大邱の市



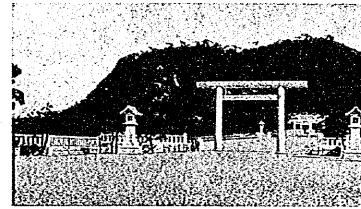
大邱の市は東門市と西門市とが透つた目に毎月六回、計十二回開かれる。その外陰曆十二月中別に藥令市がある。

慶州



慶州は一小盆地の中心都市で、四方山にかこまれ、三方川をめぐらす要害の地である。圖は西方から見たところで、中央に古墳群(新羅王の墓)が見え、市街は其の左方(北方)に連なる。

朝鮮神宮



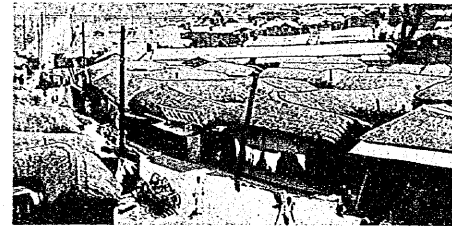
京城の南山にある
官幣大社で天照大
神及び明治天皇を
祀る。外苑からの
眺めがよい。

京城の黄金町

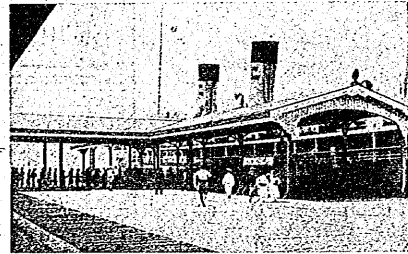


南大門通から東に見たとこ
ろで右側の建物は日本生命
保険会社のビルディングであ
る。

京城の鮮人街



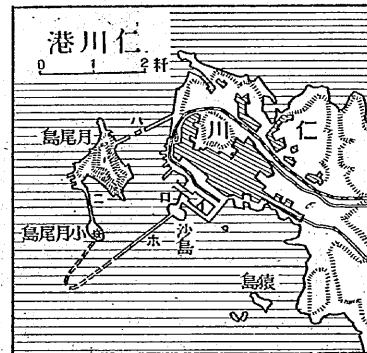
藝妓の家が狭い道の
両側に並んでゐる。
上の圖と比べて新舊
市街の著しい対照を
見よ。



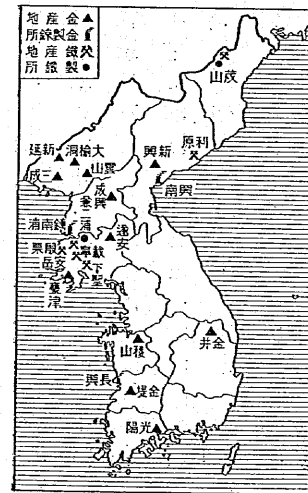
釜山港（釜山港）

鎮海は海軍の要港である。大邱は洛東江流域の中心市場
で、農産物の集散多く春秋の大都市に名高い。その東方の慶
州は新羅の舊都で古蹟に富む。錦江榮江山流域の湖南平
野は朝鮮第一の農業地で灌漑工事も進み、米綿等の産が多
い。大田・公州・金州・光州は何れも農産物の集散地である。
西岸の群山・木浦は米綿の積出多く、又近海漁業の中心をな
す。

(2) 中部 京畿・江原・黄海三道の地である。江原道は概ね
山地であるが、他の二道は平野所々にひらけ、殊に京畿道は
久しく半島の中心をなしてゐる。京釜線に沿ふ水原には農事試験
場があつて農事改良の中心である。京城は李朝五百年の舊都、朝鮮
第一の大都市で、半島の政治文化・交通・商工業の大中心である。その
一部の龍山には第二十師團司令部置かれ、工業も盛んである。西方
の仁川は半島第二の開港場で、閘門・式船渠の築港が出来て、従來の不



千の汐潮、あるあで港貿易の二第鮮朝 港川仁
第國が我てつあがとこぶ及に上以米十は差の満
(イ)の圖に様同と港池三度丁でこそ。るあで一
米八深水・坪萬三積面)クッドの式門開なうやの
け設を(る來出け付横を隻三船の級噸千五四・條
造を堤波防に(ホ)(ニ)(ハ)へらさを分部の(ロ)
る護を之てつ



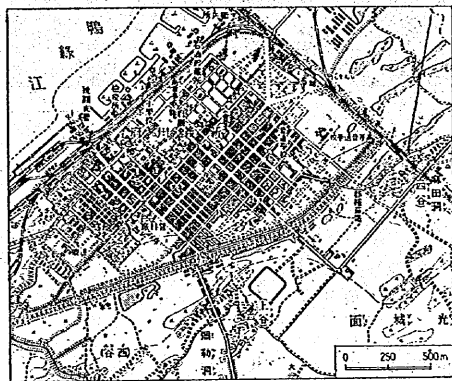
業鑛の鮮朝

便を除いた。京城の北西の開城は高麗の舊都て、人蔘の産地として著はれてゐる。黄海道は鐵金の産に富み兼二浦には製鐵所があり、海州には道廳がある。又江原道の首都は春川である。

(3) 北部 (イ) 北西部は平安南北道の

地で、大同江流域が主要地をなす。平壤は流域の中心都市で、附近からは石炭を産し、水陸交通の要點に當り、商工業が盛んで、その門戸には鎮南浦の開港場

(圖形地鮮朝) 州義新



がある。平安北道には雲山大楡洞等の金鑛がある。新義州は鴨綠江を隔てて滿洲の安東に對する開港場で製材製紙が行はれる。

(ロ) 北東部は咸鏡南北道の地で大部分は蓋馬高原に屬し、海岸附近が主要地をなす。元山は東岸屈指の開港場、羅南は第十九師團司令部の所在地、清津、羅津、雄基の三港は滿洲の東の門戸をなす。近時、高原を北

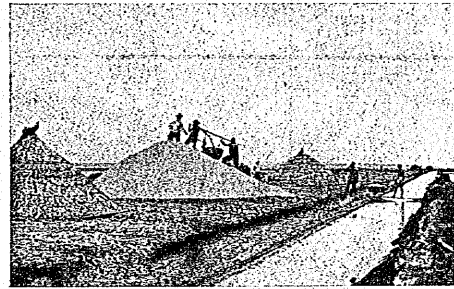
流する長津江、赴戰江に堰堤を築きて南流せしめ、松興その他に發電所を設け、興南の窒素肥料工場等に送電してゐる。

問題 植民地としての朝鮮の價值如何。

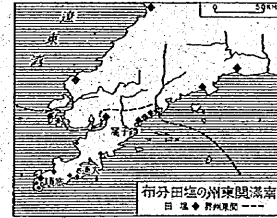
第十三章 關東州

面積 二萬五千方里
人口 二二萬人
人口密度 (二五〇人/方里)

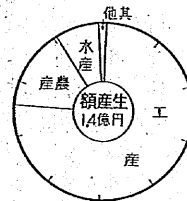
關東州は遼東半島の南端を占め、面積は伊豆半島の約二倍である。我が國は日清戰役の結果、一たび遼東半島を獲得したが、三國干渉により之を清國に還附した(明治二十九年)。然るにロシアは關東州を租借し鐵道の敷設權等を得た(明治三十一年)。日露戰役の結果、我が國は是等の權益を承け、大正四年日支條約により關東州の租借期限は二十五箇年から九十九箇年(一九九七年)までに延長された。昭和七年滿洲國獨立後は



雨量が少いから天日製の鹽を製する。製鹽は冬と七八月の雨季以外のときに行ふ。鹽田は貯水池・蒸發池・結晶池から成る。上圖は結晶池から採つた鹽を積んでゐるところである。

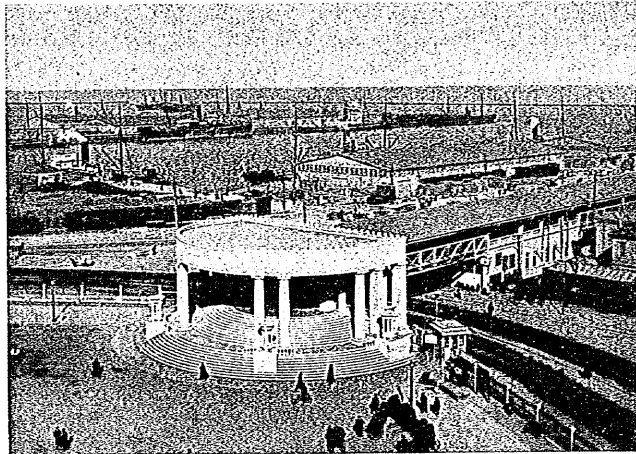


から九十九箇年(一九九七年)までに延長された。昭和七年滿洲國獨立後は



關東州の生産額 (昭和十年)

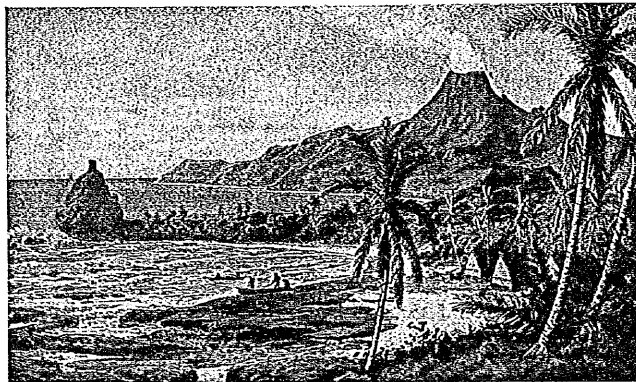
大連



(昭和十二年十一月十五日)
大連市街の一角

我が國が租借した大連の地、地租は第一の港貿易の中心に、大連市の市街にあつてゐる。

パガニ島



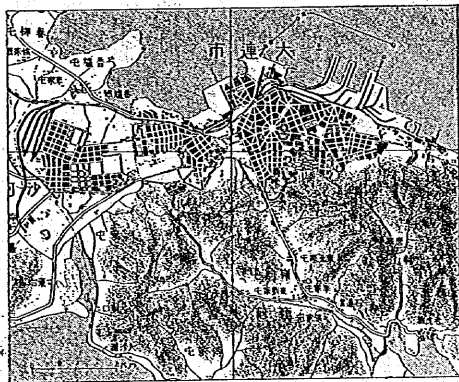
我が國が委任統治南洋の島、パガニ島の北部に火山のあつてゐる。火山の山頂は、シヤ・波岩・山、其の家のどなえを見る。

同國より是等の權益を得て居るのである。

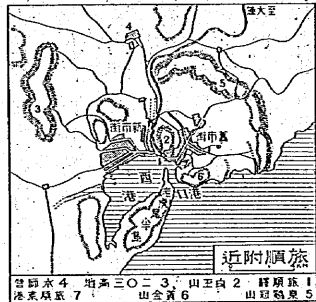
地形は一般に丘陵性で海岸は出入に富み、金州では地峽をなしてゐる。氣候は大陸性で夏季以外は雨量少く、蒸發量も大であるから天日製鹽の産が多い。土地よく開發され、農牧は普く行はれる。

人口百餘萬、その大部分は滿洲人で、内地人は約十六萬居住し、主に公務商工業等に從事する。關東州廳を大連に置いて統治してゐる。

大連市は滿洲の門戸をなす大貿易港で、防波堤、埠頭等の設備が大きい。滿鐵はここから起り、滿洲内部其他との陸上交通が便利な上に、神戸・門司其他支那や外國諸港との間には汽船の往來が盛ん



大連市



る。金州は金福鐵道の分岐點で附近には果樹栽培行はれ、南山は日露戰役の激戰地である。

て貨客の出入多く、滿洲貿易の大部分はこの港の占める處である。市街は洋風の建築で設備よく整ひ、人口約三八萬内、内地人一四萬朝鮮人三千、關東州廳滿鐵本社があり、豆粕豆油小麥粉等の製造も盛んである。旅順市は要害の地を占め、日清日露の戰蹟多く、教育の中心地をなし、海軍の要港である。

第十四章 南洋群島

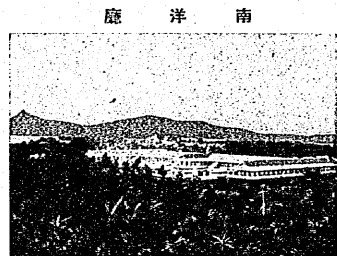
面積 三〇萬平方
人口 二〇萬人 人口密度 (一平方)

南洋群島はミクロネシアの大部分を占め、小笠原諸島の南方に當り、遙に太平洋上に散在する群小島で、赤道の北に當り、東西約四千餘、南北約二千餘の海面にひろがつてゐる。之を自然の上からマリヤナ・カロリン・マーシャルの三群島に分ける。

Caroline Marshall

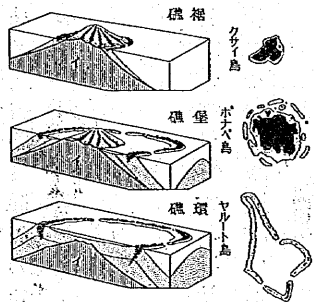
この群島はグアム島領の外は、もとドイツ領であつたが、世界戰役中

Ocean



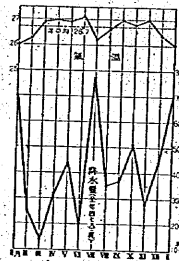
。るにあに島ルーロコの中島諸オラバ

我が國が之を占領した關係で、戰後國際聯盟から委任統治を引受け、我が領土の一部として、南洋廳を置き、その下に六支廳を設けて統治する。マリヤナ群島はほぼ南北に列り、少しく東方に張出してゐる火山列



珊瑚礁の種類

島で中には活火山もあるが、珊瑚礁はただ裾礁としてあるだけである。カロリン群島は其の南方に散在し、主な島は火山島であるが大分水蝕をうけ、珊瑚礁は裾礁や堡礁になつてゐる。只ヤップ島だけは古い水成岩から出来てゐて、珊瑚礁に囲まれてゐる。マーシャル群島は二列の珊瑚礁の環礁も少くない。



ラバオ島の気候

全部熱帯にあるから熱帯性気候であるが、海洋性気候であるため、一年中の温度は變化少く、且雨量は多いが、空はよく晴れ、海風は常に吹いて、不健康地

ではない。

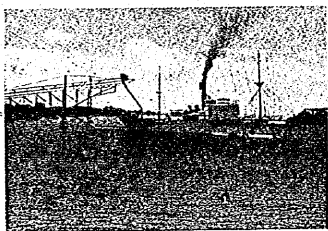
産業の主なものゝ農業で甘蔗¹⁶⁷コブラが其の重要物産である。その他果實蔬菜^{Copra}タピオカ等を産する。水産業は盛んで將來益有望^{Tapioca}

製糖工場



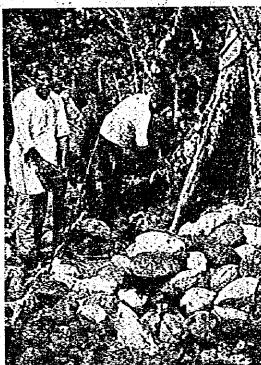
南洋興業株式會社の工場はナンパ島にあり。ナンパ島はナンパ島の南にあり。ナンパ島はナンパ島の南にあり。

橋の積込



ナンパ島

コブラの製造



コブラの製造はナンパ島の主要産業である。コブラはナンパ島の主要産業である。コブラはナンパ島の主要産業である。

である。産には糖工産には砂糖等がある。貿易は主に内地との間に行はれて

あるが、その額は少い。

横濱との間には定期航路が開かれ、海底電信と無線電信によつて内外に通信する。

土人は約五萬、ミクロネシア人で、文化の程度は低い。移住内地人は約五萬、主に官職や實業に従事してゐる。

問題

- 一、南洋群島と日本内地との關係を調べよ。
- 二、南洋群島の氣候が住民産業に及ぼす影響を考へよ。

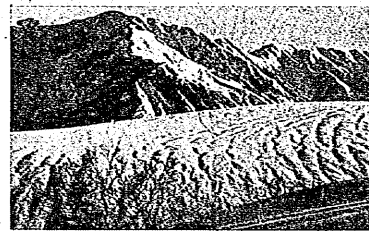
ナンパ島・バラオ・ナンパ島・トラック・ボナベ・ヤルトが開港されてゐる。

第十五章 總括

第一節 地文

一地形 日本列島及び朝鮮半島は山や丘陵が到る所に起伏し、河や平野の大きなものが少い。

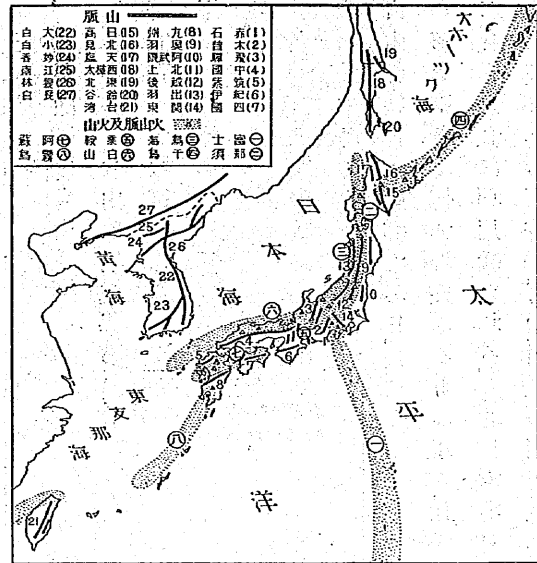
山脈と火山脈 日本列島を造る主な山脈は、中央部に噴出する富士火山脈を界として、北彎・南彎の二山系に分たれる。北彎は樺太から南に延び、北海道に蝦夷山脈を起して本州に入り、北上山脈・阿武隈山脈・奥羽山脈・越後山脈及び關東山脈等の低い山脈となる。南彎は外帶・内帶の二列から成り、九州山脈・四國山脈・紀伊山脈及び赤石山脈は外帶に屬し、筑紫山脈・中國山脈・飛驒山脈・木曾山脈は内帶に屬する。是等の山脈中、飛驒山脈は最も高



（岳日大と原ヶ陀彌）山立

峻で、三千米以上の高峰が少くない。

以上の山脈の外、日本列島には火山の噴出頗る多く、縦横に通ずる



日本及び火山の山脈

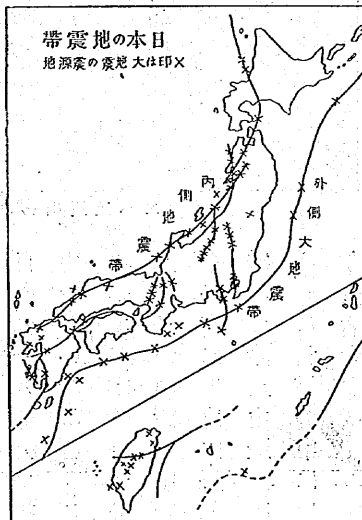
數多の火山脈がある。中にも著しきは富士火山脈で、脈中の富士山は單式火山の標式的形をなし、長い裾野をひいてゐる。この他、北日本には千島那須島海の諸火山脈、南日本には白山・阿蘇霧島の諸火山脈がある。これ等の中には今尚活動するものも

ある。

我が國には火山活動以外に地震多く、火山學、地震學の研究資料が豊富である。又溫泉多く療病等に用ひられる。

臺灣の主な山脈は臺灣山脈、朝鮮半島の主な山脈は大白山脈、妙香山脈等である。

河と平野 何れも大なるものなく、且急流のため水運の便は少いが、發電灌漑に利用せられる。北日本中その主なものは、石狩川とそれに養はれる石狩平野や、山脈の間を流れる北上、阿武隈、信濃等の諸川である。尙この地域の南部には我が國最大の關東平野があつて、利根川斜に之を貫流し、交通灌漑の利が多い。南日本には木曾、淀、筑

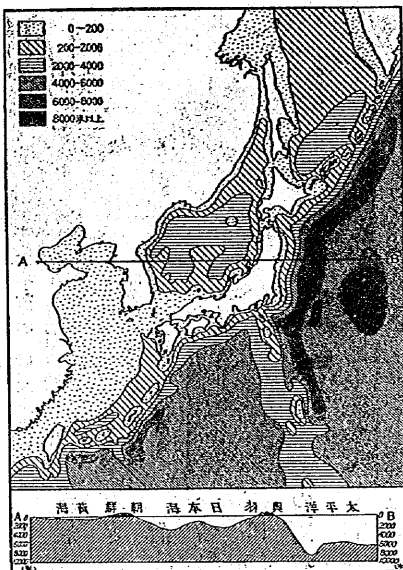


後の諸川があつて、濃尾、山城、大阪、筑紫の諸平野を養ふ。

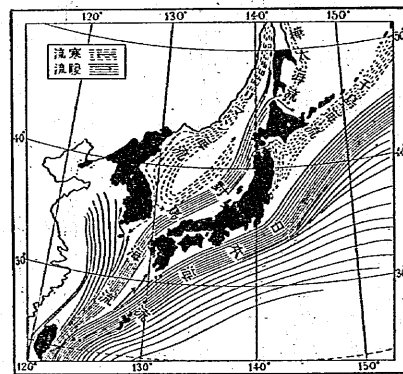
臺灣には西部に濁水溪等の流域に大平野がある。朝鮮には四百軒以上の川が六つもあるが、到るところ山がちで大平野はない。

湖沼中、琵琶湖、霞浦等は舟運、漁業、灌漑の利が少くない。

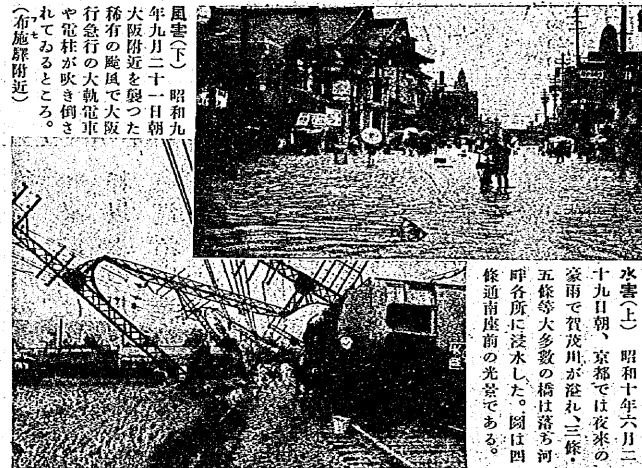
三、海岸近海 我が國は島と半島とからなるから、海岸線が頗る長い。



日本近海の深度



日本近海の海流



風雲(下) 昭和九年九月二十一日朝
大坂附近を襲った
稀有の颱風で大阪
行急行の大軌電車
や電柱が吹き倒さ
れてゐるところ。
(布施屋附近)

水害(上) 昭和十年六月二
十九日朝、京都では夜來の
豪雨で賀茂川が溢れ、三條
五條等大多数の橋は落ち河
畔各所に浸水した。圖は四
條通南座前の光景である。

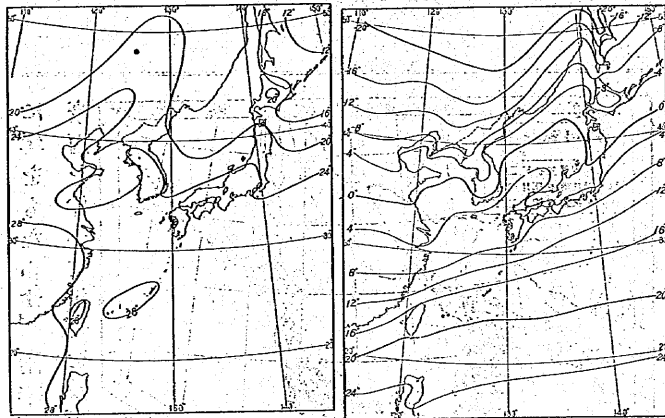
潮汐干満の差は各地一様でなく、仁川附近が最大で十米に及び、佐渡では三分の一米に過ぎない。

沿海には寒暖の二流がある。日本海流は一名黒潮といひ、その支流對馬海流と共に暖流に屬し、千島海流は親潮といひ、リマン、樺太の兩海流と共に寒流に屬する。これ等の海流は氣候・水産等に關係することが大きい。

三氣候 臺灣の一部を除く外は溫帶に位し、氣候概して溫和である。しかし土地南北に擴がり、地形複雑なる上に、寒暖二流の影響をうけるから、氣候は各地一様でない。風は夏季偏・南風が吹いて、太平洋岸に多くの雨を降らし、冬季は反對に偏・北風多く、日本海岸地方

線、溫等月七

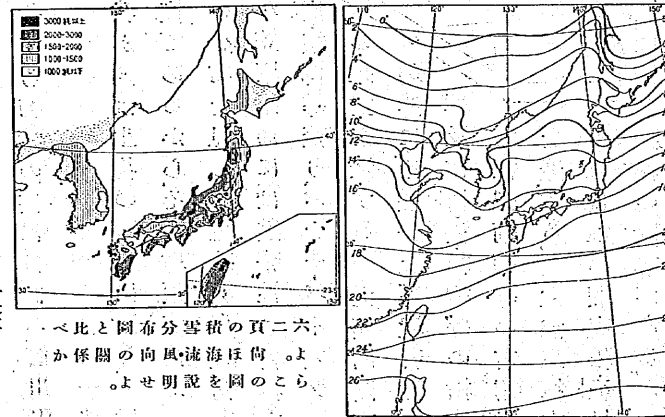
線、溫等月一



第十五章 總括

量、水降年

線、溫等年



一七三

べ比と岡布分雪積の頁二六、
か係關の向風流海ほ向。よ
よせ明説を岡のこら

に雪をもたらし。雨季節風の交代する初秋の候には、時々颱風襲ひ、豪雨を伴つて災害を及ぼす。

四、生物



我が國は生物の發育に適し、氣候地
形が多様であるから、その種類が甚だ多い。
植物の分布を見ると、琉球列島の南部、臺
灣、小笠原諸島には熱帯性の榕樹林、投
樹、檳榔等茂り、バナナ、パイナップル等
の果實を産する。九州、四國、本州
朝鮮には暖帯及び溫帯性の樟
樟及び榲桲、杉、檜等の樹木、蜜
柑、桃、梨、葡萄等の有用果實
を産する。北海道樺太に
は寒帯性の蝦夷松、榎松、落
葉松の森林がある。

動物は植物の如くその變化が著しくない。北海道本州朝鮮には
馬、牛、豚の如き有用家畜飼はれ、臺灣には水牛を使役する。尙、朝鮮に
は虎、北海道樺太には熊がある外、北方近海には鰻、鰺、鰯等がある。近
海は諸種の魚族に富み水産が頗る多い。

第二節 人 文

一、住民 大和民族はアジア人種中の最優等種族で、國民の大部分を
占め、忠君愛國の精神に富み、夙に支那、印度の文化を入れ、近く西洋文
化を輸入して、今や、その文化はヨーロッパ種族に劣らない。この他、朝
鮮族、支那族、アイヌ族等があつて、言語、風習等を異にするが、次第に大

和民族と同化するやうになつた。



民族別人口比較

人口は總數約一億萬人を數へる。その内、内地
は約七千萬人で、平均密度一方、千に約百八十一人
である。尙、人口の増加も著しく、内地だけで年々

九十餘萬人増加する。従つて移民の必要が大であるが在外内地人は僅に九十餘萬人に過ぎない。

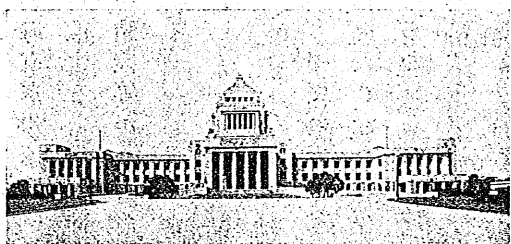
宗教中佛教は最も弘く行はれ、神道・キリスト教を信ずるものこれに次ぐ。國民は敬神の念厚く、神社が甚だ多い。教育はその制度よく整ひ、初等中等高等教育の機關よく完備し、その普及・學藝の發達、目を逐うて盛んである。

二、政治 我が國は上に萬世一系の天皇を戴く立憲帝國で、國體の美なることは世界萬國にその比を見ない。

天皇は萬づの政を總べさせ給ひ、その下に立法・行政・司法の三機關が設けられてゐる。

立法部 立法部は貴族院と衆議院とか

帝國議會の議事堂

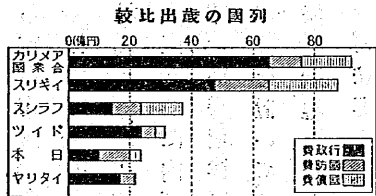


ら成る帝國議會で、主に法律・案及び歳計を審議する。

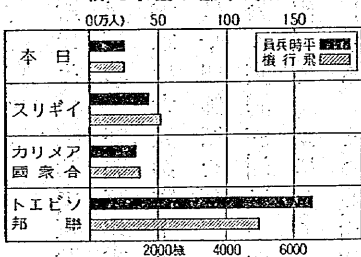
行政部 中央政府に内閣及び内務・外務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・遞信・鐵道・拓務・厚生等の十三省がある。内閣總理大臣は各省の大臣と共に内閣を組織し、政務を執る。地方は三府・四十三縣・北海道・樺太・臺灣・朝鮮に分ち、府縣に知事、北海道樺太に長官、臺灣及び朝鮮に總督を置いて、地方の政務を掌らしめる。又關東州租借地と南洋委任統治地とは各長官を置く。

司法部 裁判所はその機關で、區裁判所、地方裁判所、控訴院、大審院の階級がある。又臺灣・朝鮮・關東州・南洋には特別の司法制度がある。軍備 我が陸海軍は大元帥陛下の統率し給ふ所で、徴兵制度を布く。陸軍は内地に十四師團を配置し、別に東京に近衛師團を置く。又朝鮮には二個師團、臺灣・滿洲及び北支那には守備隊を駐屯せしめる。海軍は帝國領海を三區に分ち、各區に一個の軍港を設け、軍艦を配屬して警備せしめる。その他國防上重要な地には要塞・要港等の

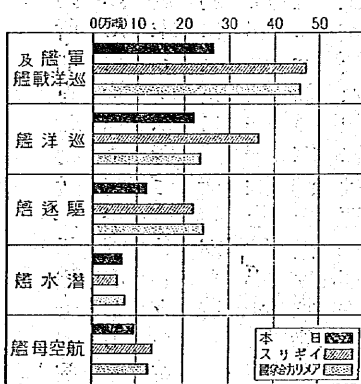
設備がある。
我が國は列
國と對等の條
約を結び、その
數は五十餘國
で概ね互に大



較比軍陸の蘇米英日

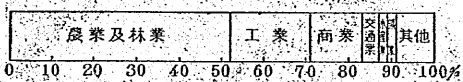


較比軍海の米英日



使・又は公使を派して國交を修める。又別に要地には領事を置いて通商及び居留民の保護に當る。財政は國勢の發達に従つて膨脹し歳出は二十億圓以上になつてゐる。國債の額も少くない。三産業 我が國は古來農を以て本とし國民の過半は之に従事する。しかし耕地が割合に少く農産も

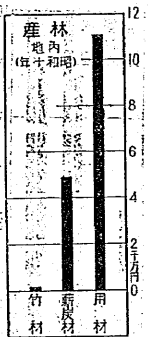
(地内) 割合の口入別業種



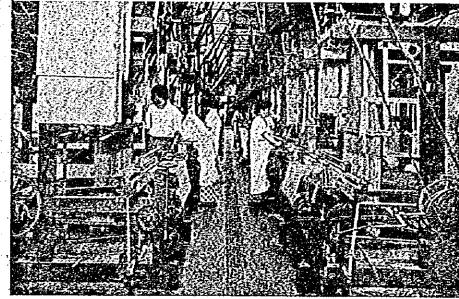
人口に比べて少いから外國から輸入する農産物が少くない。農業用肥料の國産も多くなつたが、輸入額も少くない。養蠶業は著しく發達し殊に中部關東の諸地方は盛んである。従つて生絲絹織物の産額多く中にも生絲の輸出高は世界第一で支那の上に位する。

牧畜業は發達しないので羊毛皮革等は外國から多く買ふ。我が國土の半は森林で杉檜松類の産が多い。然しなほ多量の木材を輸入する。木材を原料とするパルプ及び

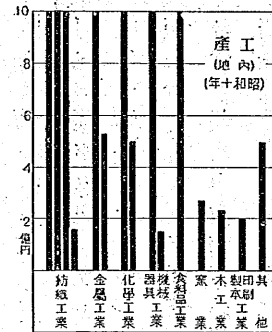
製紙業は近年北海道樺太に發達した。水産業は甚だ有望で漁區南北に擴がり、その生産額世界第一で支那南洋等に輸出する。



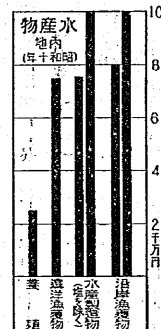
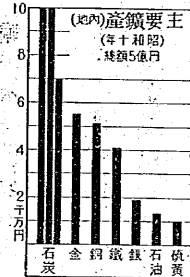
一 鑛産の第一は石炭で輸出もされる。しかし鐵鑛・石油の産出額が少くて、多量に外國から買はねばならぬ。工業は近時急速の進歩をなし、大規模



(生柄縣馬群) 場工織絹



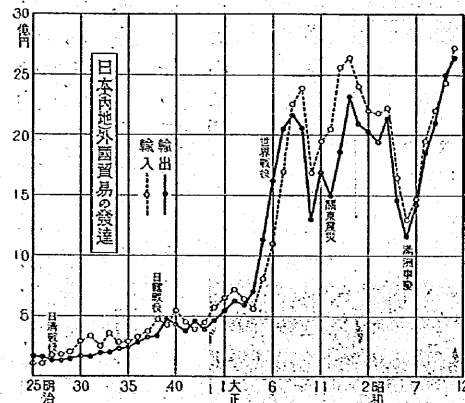
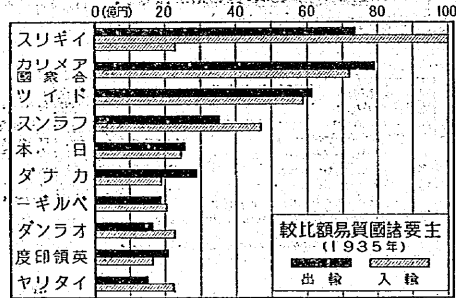
の工場各地に起り、殊に東京・大阪・名古屋附近及び北九州は主な工業地帯で、製品の種類や産額が多い。然し多くの工業原料を輸入しなければならぬ。

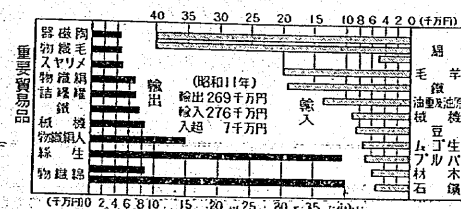


輸入しなければならぬ。都市は各地方商業の中心をなす。殊に東京・大阪の二市は國內商業の三大中心で、名古屋も近時勃興して中部

地方の中心となつてゐる。

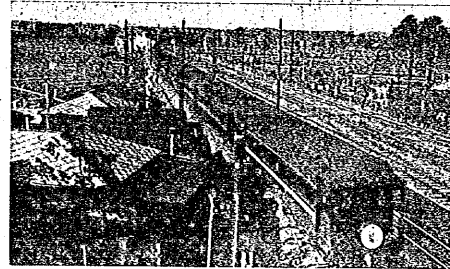
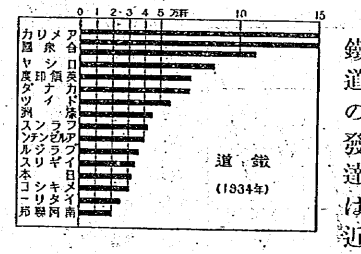
外國貿易は内地は四十餘の開港場で行はれ、貿易額年々増加し、輸出入總額は昭和十一年には約五十五億圓に達したが、世界戦役後は著しい輸入超過である。そしてその輸出品の多くは製造品で、輸入品の多くは原料品である。開港場中、最も盛んなのは神戸、横濱・大阪で、輸出入額の八割餘を占める。朝鮮の貿



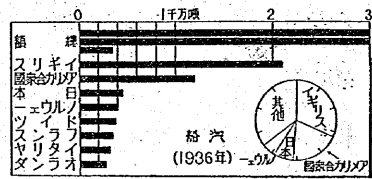


年著しく内地の總延長二萬餘料に及びその大部分は國有である。この他朝鮮に四

易額は約二億圓臺灣の貿易額は約八千萬圓である。
四交通 内地の道路は國道及び府縣市町村道に分つて次第に改良せられ自動車も到るところに通じてゐる。



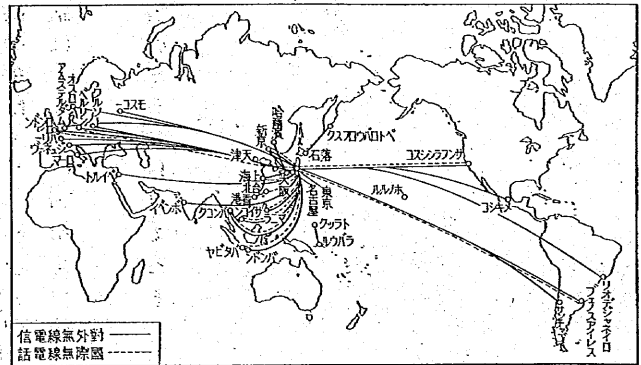
(車列行急最る走を道海東)「めいぶつ」急特
(近附驛澤縣川奈神)



千餘料臺灣に三千餘料樺太に三百料南滿洲には千餘料の鐵道がある。又主要都市とその附近には大抵電車がある。海運も近年長足の進歩をなし汽船の總噸數四百餘萬噸世界第三の

海運國である。日本郵船會社大阪商船會社等は沿岸航路は勿論滿洲支那シベリヤ南洋オーストラリア印度ヨーロッパアフリカ南米北米に航路を開いてゐる。

郵便電信も萬國聯合に加はる外そ



話電及び信電線無際國の本日

の機關よくと、のひ、主要都市には電話の架設せられぬところなく、次第に長距離に通じ、無線電信無線電話は世界的に利用せられるやうになつた。

航空路も次第に開かれて、定期の旅客輸送も行はれてゐる。

子女新日本地理

終

昭和十二年九月二十五日印刷
昭和十二年九月三十日發行
昭和十三年三月二十日訂正再版印刷
昭和十三年三月二十五日訂正再版發行

定價金八拾七錢

著者 西田與四郎

發行者 東京市神田區駿河臺三丁目一番地
目黒甚七

印刷者 東京市京橋區銀座西三丁目三番地
高橋郁

印刷所 東京市京橋區銀座西三丁目三番地
三協印刷株式會社

子女新日本地理

著作權
所有

發行所

東京市神田區駿河臺
三丁目一番地

目黒書店

(東京) 電話神田 一〇五八番
振替口座 二八〇九番

